平成 30(2018)年度
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

柏原市

目　次

第1章　調査の概要 **1**
1. 調査目的 1
2. 調査方法 1
3. 回収状況 1
4. 報告書の留意点・見方 1

第2章　就学前児童調査の結果 **2**
1. ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて 2
2. 定期的に利用しているサービスについて 15
3. 病気になったときの対応について 22
4. 定期的に利用したいサービスについて 27
5. 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中における定期的サービスの利用意向について 30
6. 仕事と子育ての両立について 35
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について 49
8. 一時預かりサービスなどの利用について 60
9. 地域の子育て支援サービスの利用状況について 67
10. 市役所などへの要望について 73
11. 生活習慣について 75
12. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について 77
13. 子育てに対する意識について 80

第3章　小学生調査の結果 **85**
1. ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて 85
2. 封筒のあて名のお子さんの放課後児童会の利用について 98
3. 病気になったときの対応や、一時預かりについて 113
4. 仕事と子育ての両立について 120
5. 市役所などへの要望について 126
6. 生活習慣について 127
7. 普段の過ごし方について 129
8. 地域での自然体験などへの参加などについて 130
9. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について 134
10. 子育てに対する意識について 136

第4章　自由記述 **141**

第１章　調査の概要

１. 調査目的

「柏原市子ども・子育て支援事業計画（柏原市こども未来プラン)」に沿った子ども・子育て支援に関する様々な取り組みを検証するとともに、「第 2 期柏原市子ども・子育て支援事業計画」の策定にむけて、市民の皆様が必要としている教育・保育・子育て支援の必要量や施策に対する意向などを把握するため、本アンケート調査を実施しました。

２. 調査方法

就学前児童調査	調査対象者	柏原市内在住の就学前の子どもを持つ保護者 1,020 人
	調査方法	郵送による配布および回収
	調査時期	平成 31(2019)年 1 月 7 日(月)～平成 31(2019)年 2 月 1 日(金)
小学生調査	調査対象者	柏原市内在住の就学中の小学生を持つ保護者 1,020 人
	調査方法	郵送による配布および回収
	調査時期	平成 31(2019)年 1 月 7 日(月)～平成 31(2019)年 2 月 1 日(金)

３. 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童調査	1,020 件	544 件	53.3%
小学生調査	1,020 件	560 件	54.9%

４. 報告書の留意点･見方

○表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。
○結果数値(%)は、少数点第 2 位を四捨五入しており、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
○複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えます。

第2章　就学前児童調査の結果

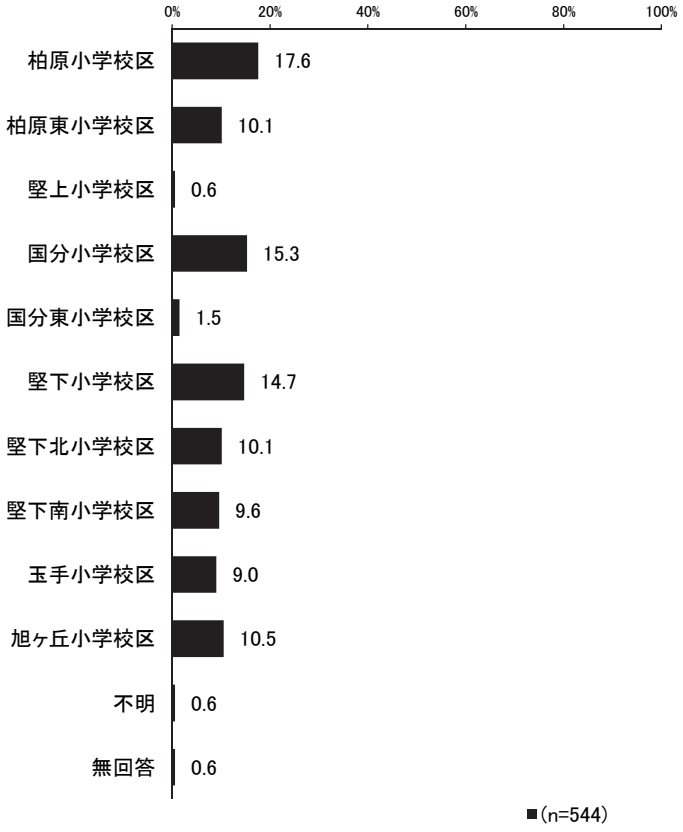
1. ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

（１）小学校区

問１　あなたがお住まいの小学校区はどれにあたりますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

小学校区は、「柏原小学校区」が 17.6%で最も高く、次いで「国分小学校区」が 15.3%、「堅下小学校区」が 14.7%となっています。一方、「堅上小学校区」が 0.6%、国分東小学校区が 1.5%と低くなっています。

図　小学校区

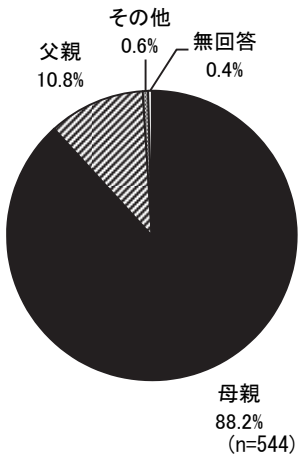


（２）回答者の続柄

問２　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

回答者の続柄は、「母親」が 88.2%、「父親」が 10.8%となっています。

図　回答者の続柄

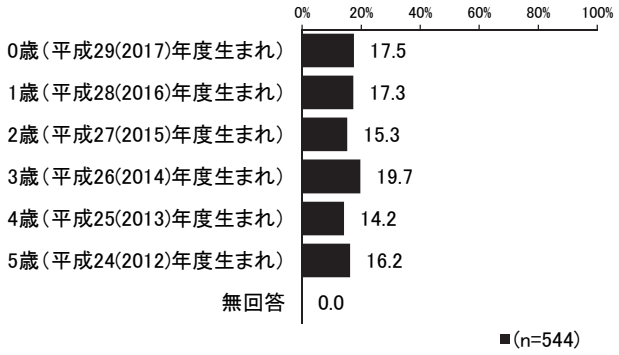


（３）子どもの生年月期間

問３　封筒のあて名のお子さんの生年月について、（　　）内に数字を入れてください。

子どもの生年月期間は、「3 歳（平成 26(2014)年度生まれ)」の割合が 19.7%で最も高く、次いで「0 歳（平成 29(2017)年度生まれ)」が 17.5%、「1 歳（平成 28(2016)年度生まれ)」が 17.3%、「5 歳（平成 24(2012)年度生まれ)」が 16.2%、「2 歳（平成 27(2015)年度生まれ)」が 15.3%、「4 歳（平成 25(2013)年度生まれ)」が 14.2%となっています。

図　子どもの生年月期間



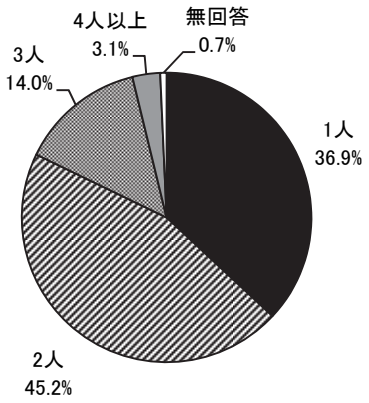
（４）子どもの人数と末子の年齢

問４　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成 30 年４月１日現在の年齢）を記入してください。

■子どもの人数

図　子どもの人数

子どもの人数は、「2 人」が 45.2%で最も高く、「1 人」が 36.9%、「3 人」が 14.0%となっています。

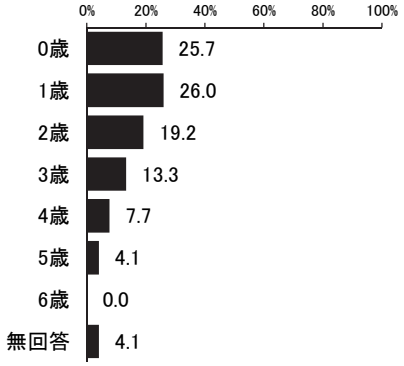


(n=544)

■末子の年齢

図　末子の年齢

末子の年齢は、「1 歳」が 26.0%で最も高く、次いで「0 歳」が 25.7%、「2 歳」が 19.2%となっています。



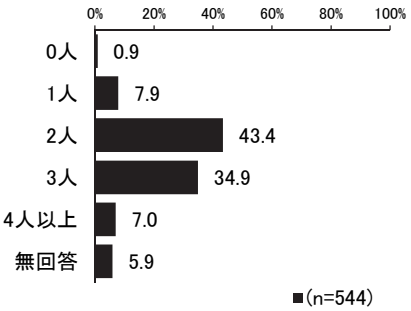
■(n=339)

（５）希望する子どもの人数

問５　希望として、子どもが何人ほしいですか。

図　希望する子どもの人数

希望する子どもの人数は、「2 人」が 43.4%で最も高く、次いで「3 人」が 34.9%となっています。



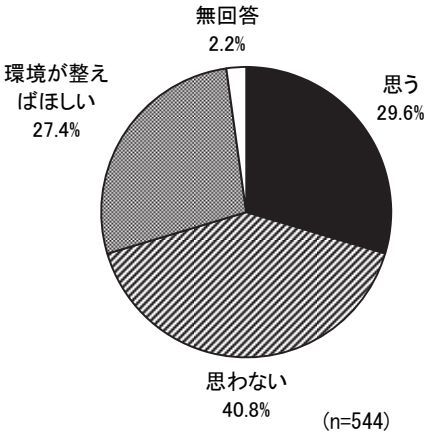
■(n=544)

（６）もう１人子どもを生むことへの意向

問６　もう１人以上の子どもがほしいと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

もう 1 人子どもを生むことへの意向は、「思わない」が 40.8%で最も高い。次いで「思う」が 29.6%、「環境が整えばほしい」が 27.4%となっています。

図　もう１人子どもを生むことへの意向

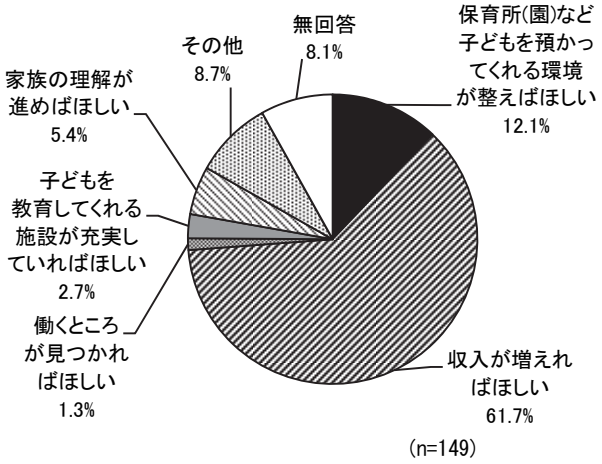


（７）もう１人生むために必要な環境

問６-１　どのような環境が整えばもう１人以上の子どもをほしいと思いますか。もっともあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

もう１人生むために必要な環境は、「収入が増えればほしい」が 61.7%で最も高く、約６割を占めています。次いで「保育所(園)など子どもを預かってくれる環境が整えばほしい」が 12.1%となっています。

図　もう１人生むために必要な環境

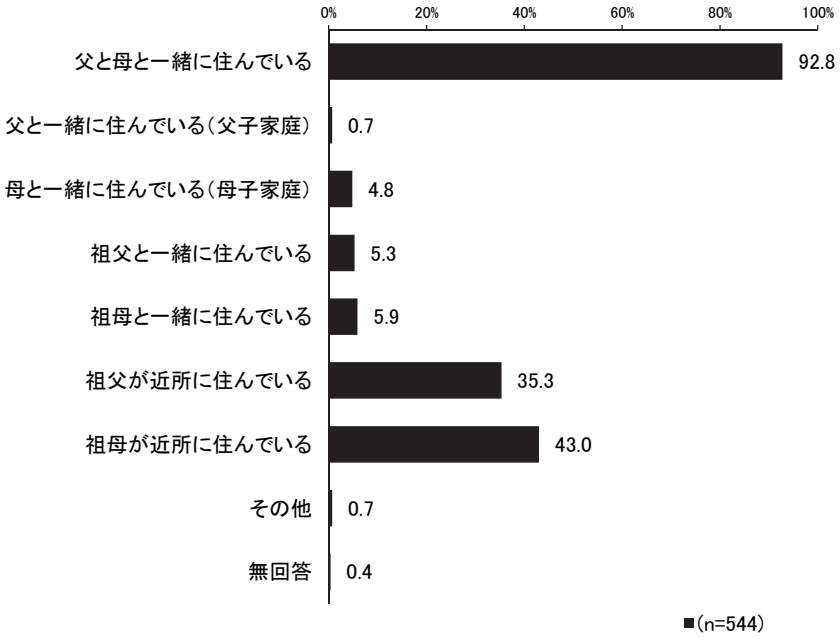


（８）家族構成・祖父母の状況

問７　封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

家族構成・祖父母の状況は、「父と母と一緒に住んでいる」が 92.8％で 9 割を超え、「祖母が近所に住んでいる」が 43.0％、「祖父が近所に住んでいる」が 35.3％となっています。

図　家族構成・祖父母の状況

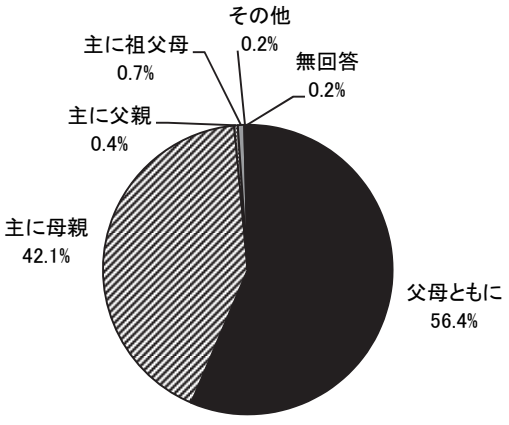


（９）主に子育て・教育をしている人

問８　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

主に子育て・教育をしている人は、「父母ともに」が 56.4％で、「主に母親」が 42.1％となっています。

図　主に子育て・教育をしている人



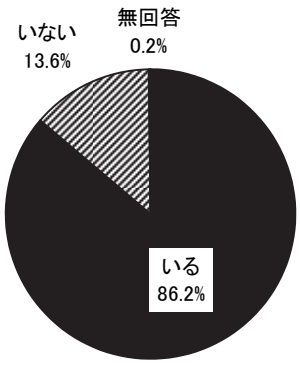
(n=544)

（10）子どもの面倒をみてくれる人

問９　日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてくれる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

図　子どもの面倒をみてくれる人の有無

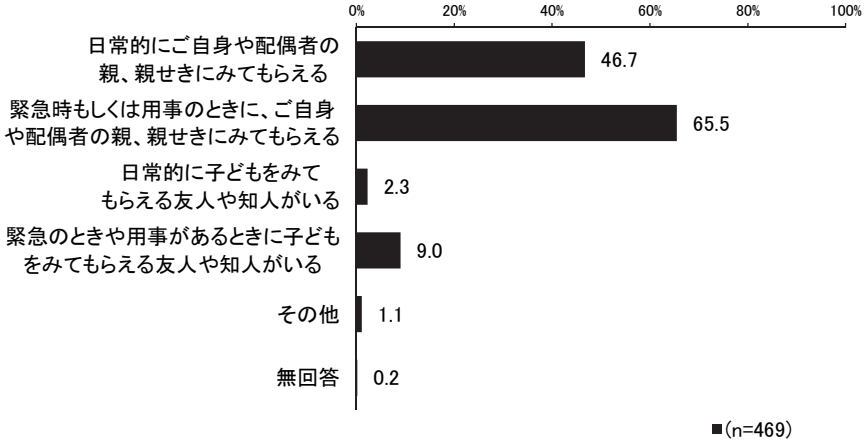
子どもの面倒をみてくれる人の有無は、「いる」が 86.2%で多数を占め、「いない」は 13.6%となっています。



(n=544)

面倒をみてくれる人は、「緊急時もしくは用事のときに、ご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 65.5%で最も高く、次いで「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 46.7%となっています。一方、「日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる」（2.3%）、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」（9.0%）は低くなっています。

図　面倒をみてくれる人



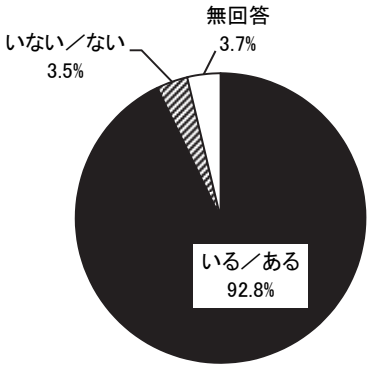
■(n=469)

（11）子育てや教育に関する相談の状況

問 10　あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　子育てや教育に関する相談をできる人・場所の有無

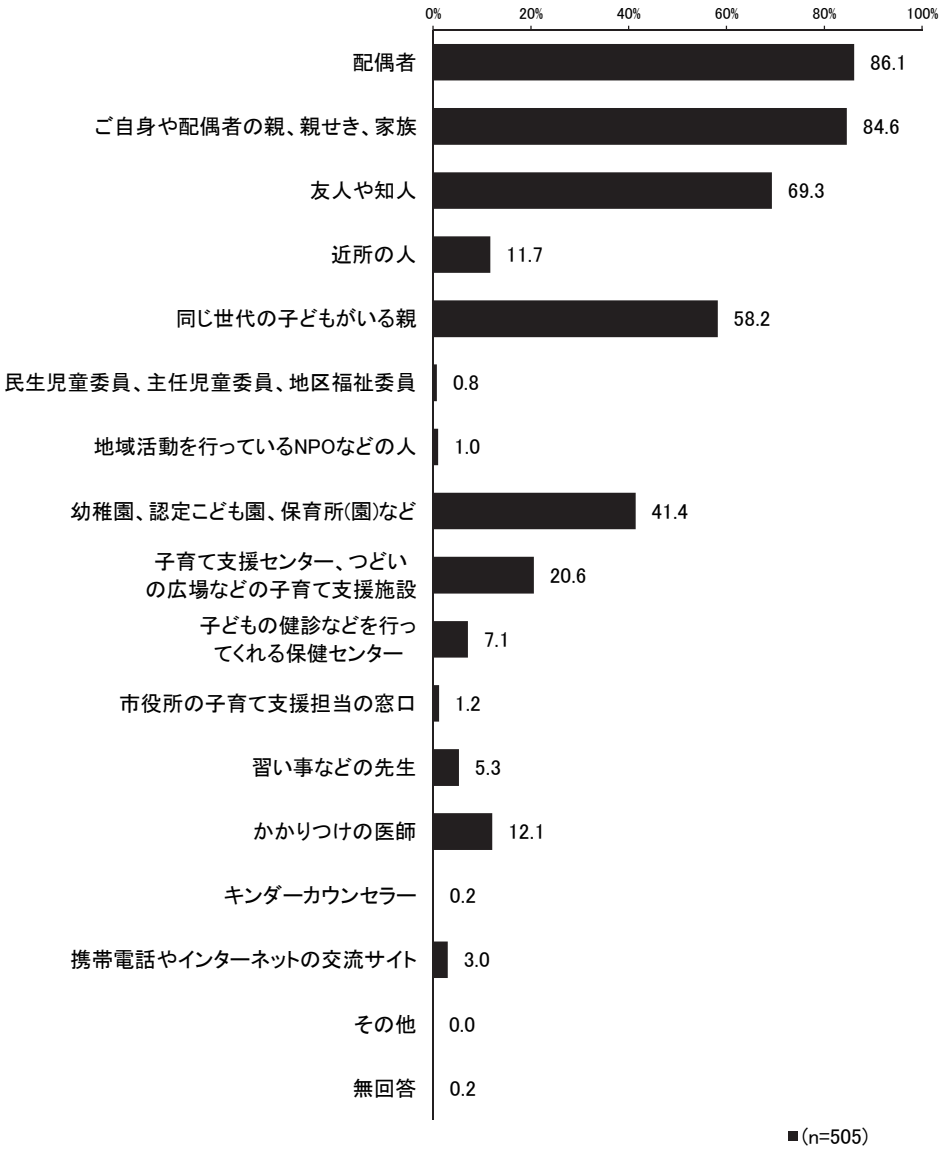
子育てや教育に関する相談をできる人・場所の有無は、「いる／ある」が 92.8%と多数を占め、「いない／ない」は 3.5%となっています。



(n=544)

相談をできる人・場所は、「配偶者」(86.1%)、「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」(84.6%) がともに８割を超え、「友人や知人」が 69.3%となっています。

図　相談をできる人・場所



■(n=505)

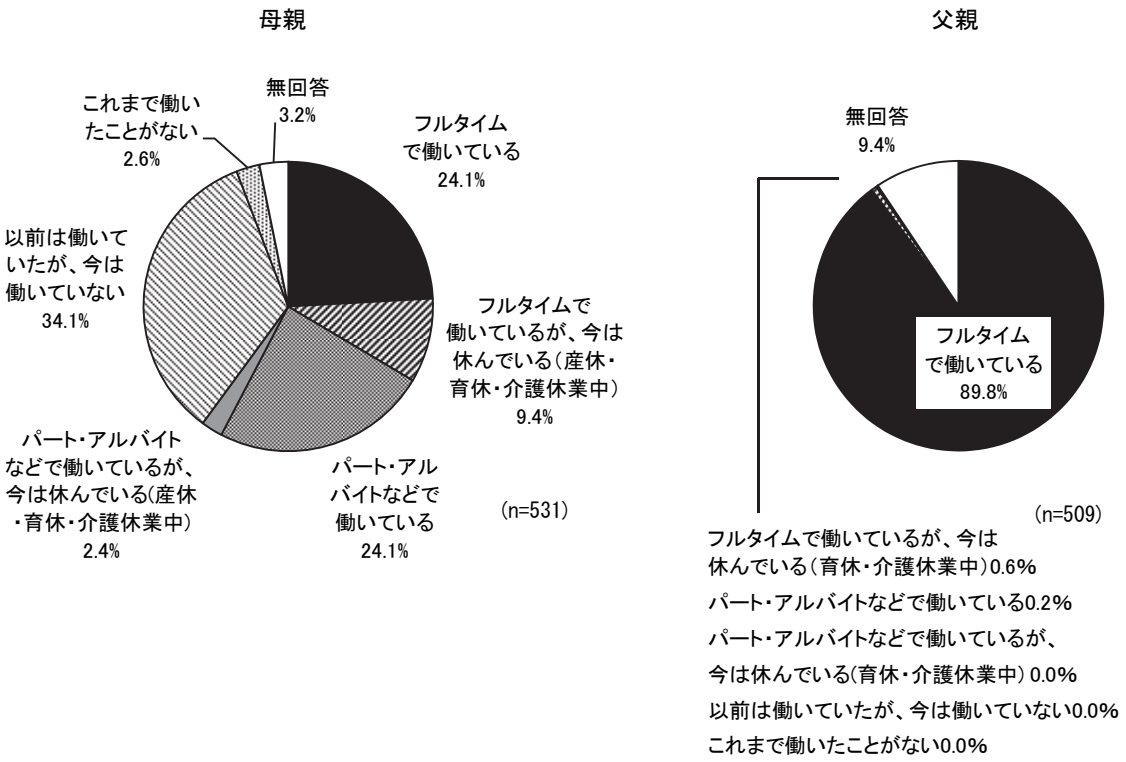
（12）父母の就労状況

問 11・問 12　お子さんの「母親」「父親」の働いている状況は、次のうちどれですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。（自営業や自営業を手伝っている場合も含みます）

父母の就労状況は、母親では「以前は働いていたが、今は働いていない」が 34.1%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」と「パート・アルバイトなどで働いている」がともに 24.1%となっています。

父親では「フルタイムで働いている」が 89.8%と約 9 割を占めています。

図　父母の就労状況



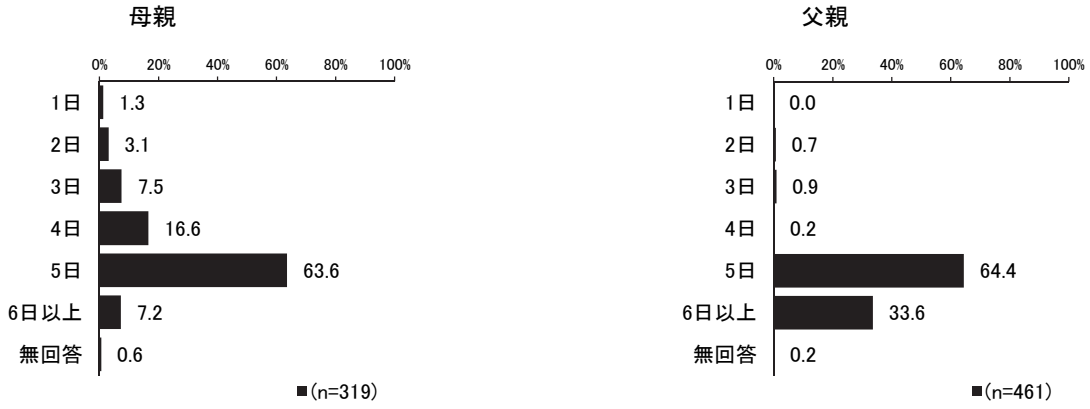
（13）父母の就労時間帯

問 11-1・問 12-1　1 週間にどのくらいの日数を働きますか。また、1 日当たりどのくらいの時間を働きますか。
不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。現在休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。
また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。現在休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。
時間は、必ず（18：00）のように、24 時間制でお答えください。

■1 週あたりの就労日数

1 週あたりの就労日数は、母親では「5 日」が 63.6%で 6 割強を占め、次いで「4 日」が 16.6%となっています。父親では母親と同様に「5 日」が 64.4%で最も高く、次いで「6 日以上」が 33.6%となっています。

図　1 週あたりの就労日数

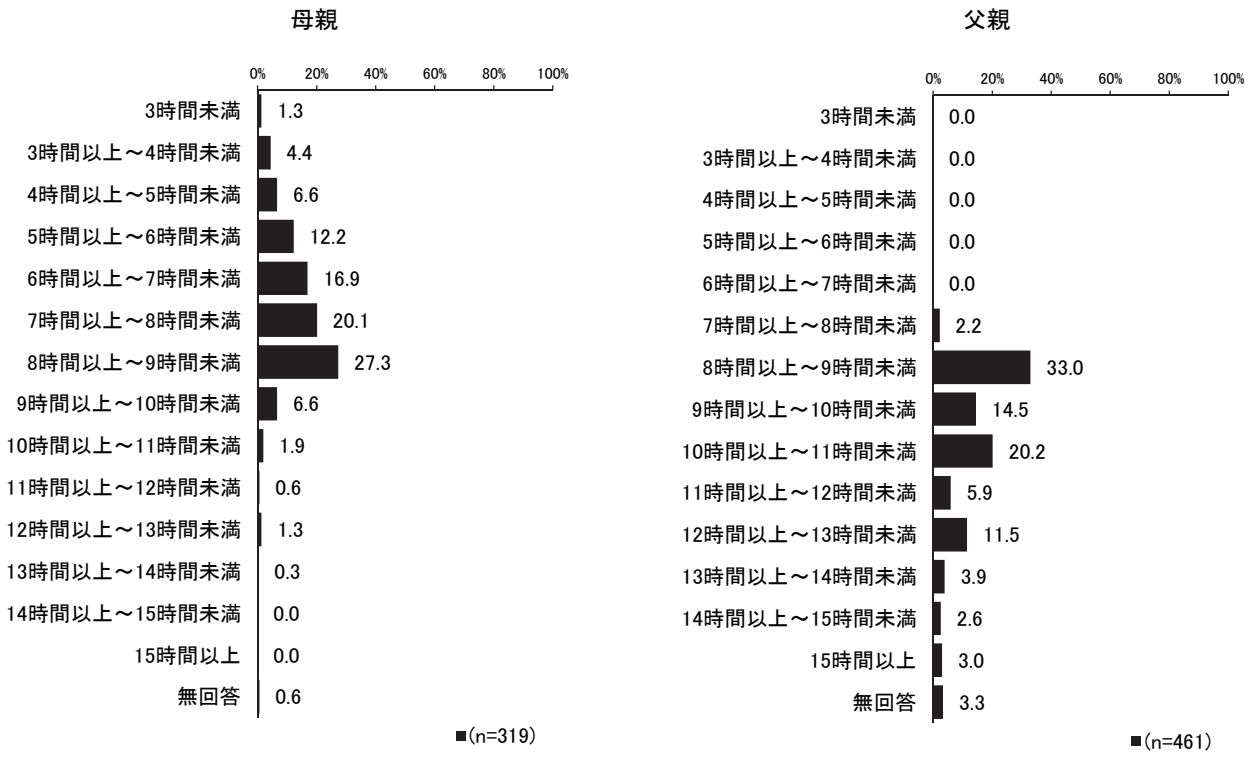


■1 日あたりの労働時間

1 日あたりの労働時間は、母親では「8 時間以上～9 時間未満」が 27.3％で最も高く、次いで「7 時間以上～8 時間未満」が 20.1％、「6 時間以上～7 時間未満」が 16.9％となっています。

父親では「8 時間以上～9 時間未満」が 33.0％で最も高く、次いで「10 時間以上～11 時間未満」が 20.2％、「9 時間以上～10 時間未満」が 14.5％となっています。

図　1 日あたりの労働時間

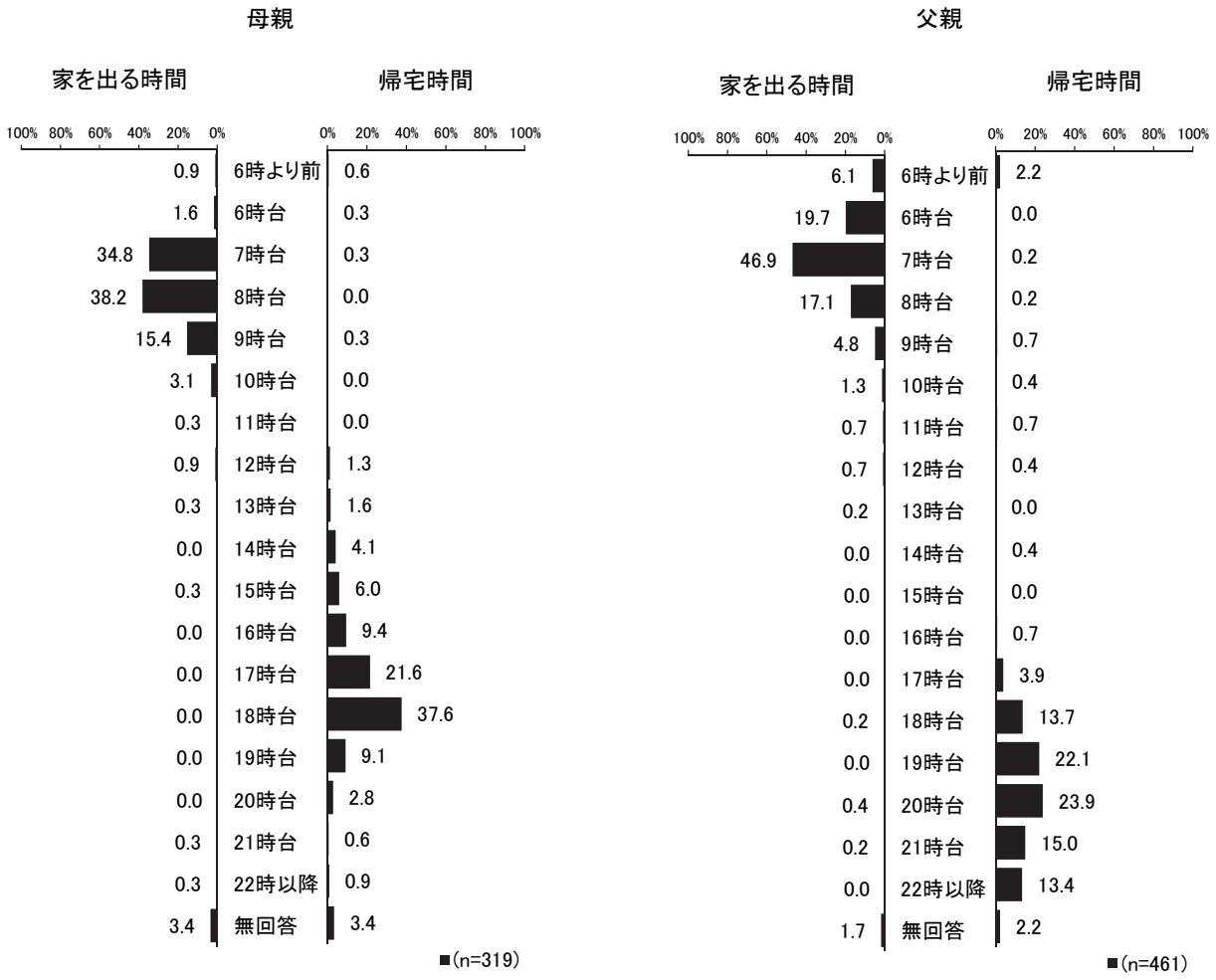


■就労時間帯

就労時間帯は、母親では家を出る時間は「8 時台」が 38.2%で最も高く、次いで「7 時台」が 34.8%、「9 時台」が 15.4%となっています。帰宅時間は「18 時台」が 37.6%で最も高く、次いで「17 時台」が 21.6%、「16 時台」が 9.4%、「19 時台」が 9.1%となっています。

父親では家を出る時間は「7 時台」が 46.9%で最も高く半数近くを占めています。次いで「6 時台」が 19.7%、「8 時台」が 17.1%となっています。帰宅時間は「20 時台」が 23.9%で最も高く、次いで「19 時台」が 22.1%、「21 時台」が 15.0%となっています。

図　就労時間帯



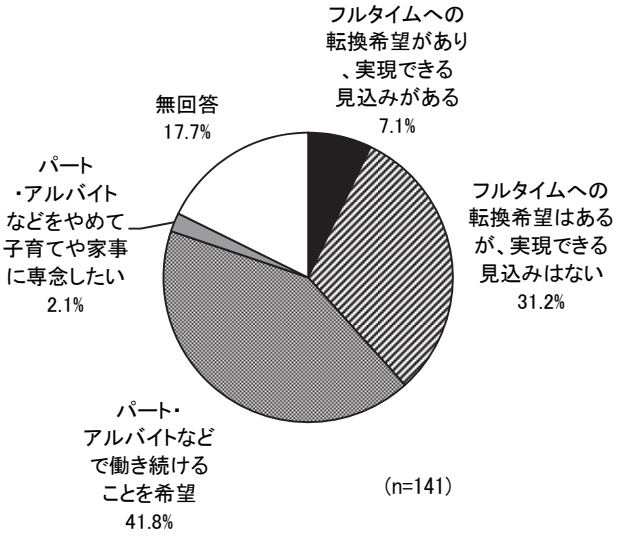
（14）父母の就労形態転換希望

問 11-2・問 12-2　フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

母親の就労形態転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が 41.8%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.2%となっています。一方「パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」は 2.1%と低くなっています。

※父親は回答者数が少ない（1 人）ためグラフを省略しています。

図　母親の就労形態転換希望

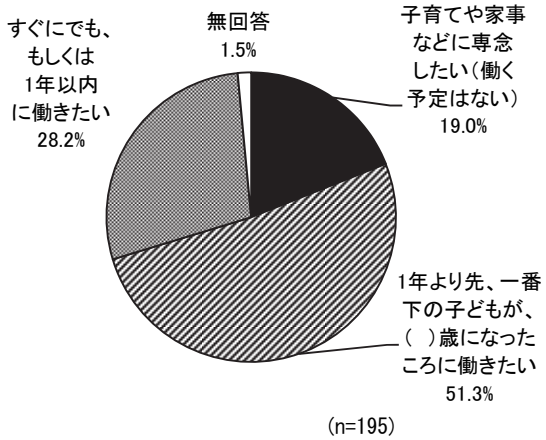


（15）父母の就労希望

問 11-3・問 12-3　働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。「2.」「3.」を選択した方は、（　　）内に具体的な数字を入れてください。

母親の就労希望は、「1 年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい」が 51.3%で最も高く半数強を占めています。次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に働きたい」が 28.2%、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」は 19.0%となっています。

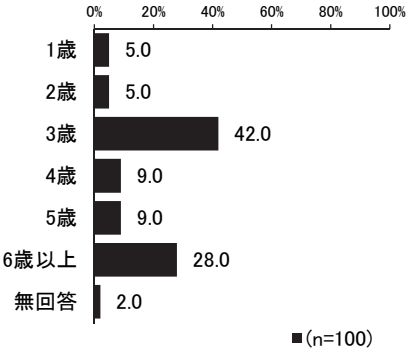
図　母親の就労希望



■就労希望時の子の年齢

母親の就労希望時の子の年齢は、「3 歳」が 42.0%で最も高く、次いで「6 歳以上」が 28.0%となっています。

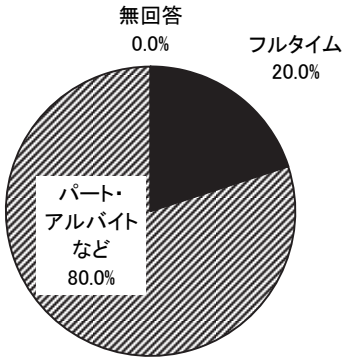
図　母親の就労希望時の子の年齢



■希望する就労形態

図　母親の希望する就労形態

母親の希望する就労形態は、「パート・アルバイトなど」が 80.0%で多数を占めています。



(n=55)

■1 週あたりの希望労働日数・1 日あたりの希望労働時間

母親の 1 週あたりの希望労働日数は「4 日」が 25.5%で最も高く、次いで「3 日」が 21.8%、「2 日」が 18.2%となっています。

母親の 1 日あたりの希望労働時間は「4 時間以上～5 時間未満」と「5 時間以上～6 時間未満」がともに 25.5%で最も高くなっています。

図　母親の 1 週あたりの希望労働日数

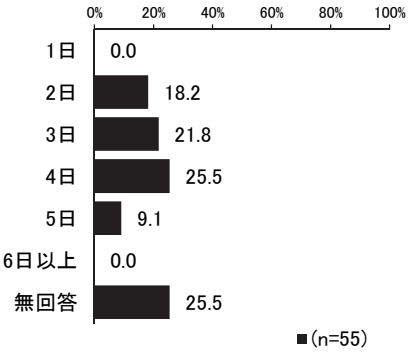
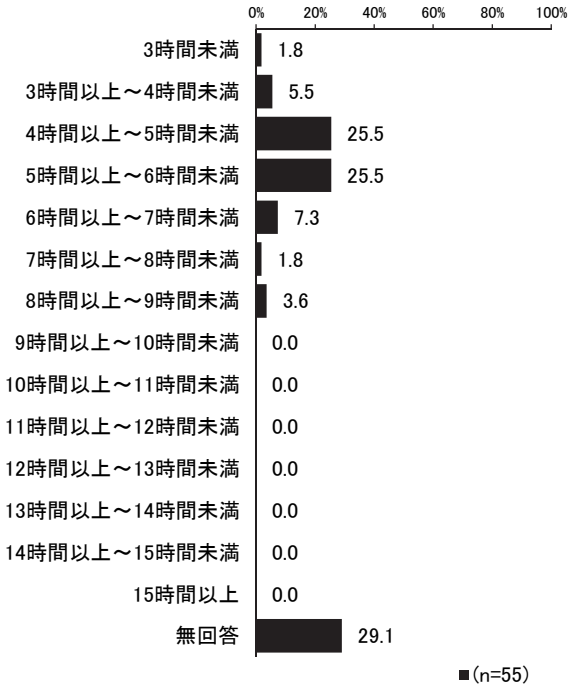


図　母親の 1 日あたりの希望労働時間



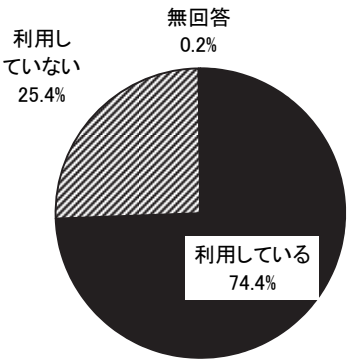
2. 定期的に利用しているサービスについて

（１）定期的サービスの利用有無

問 13　平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの施設やサービスを「定期的に」利用していますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

定期的サービスの利用有無は、「利用している」が 74.4%で７割強を占めており、「利用していない」は 25.4%となっています。

図　定期的サービスの利用有無



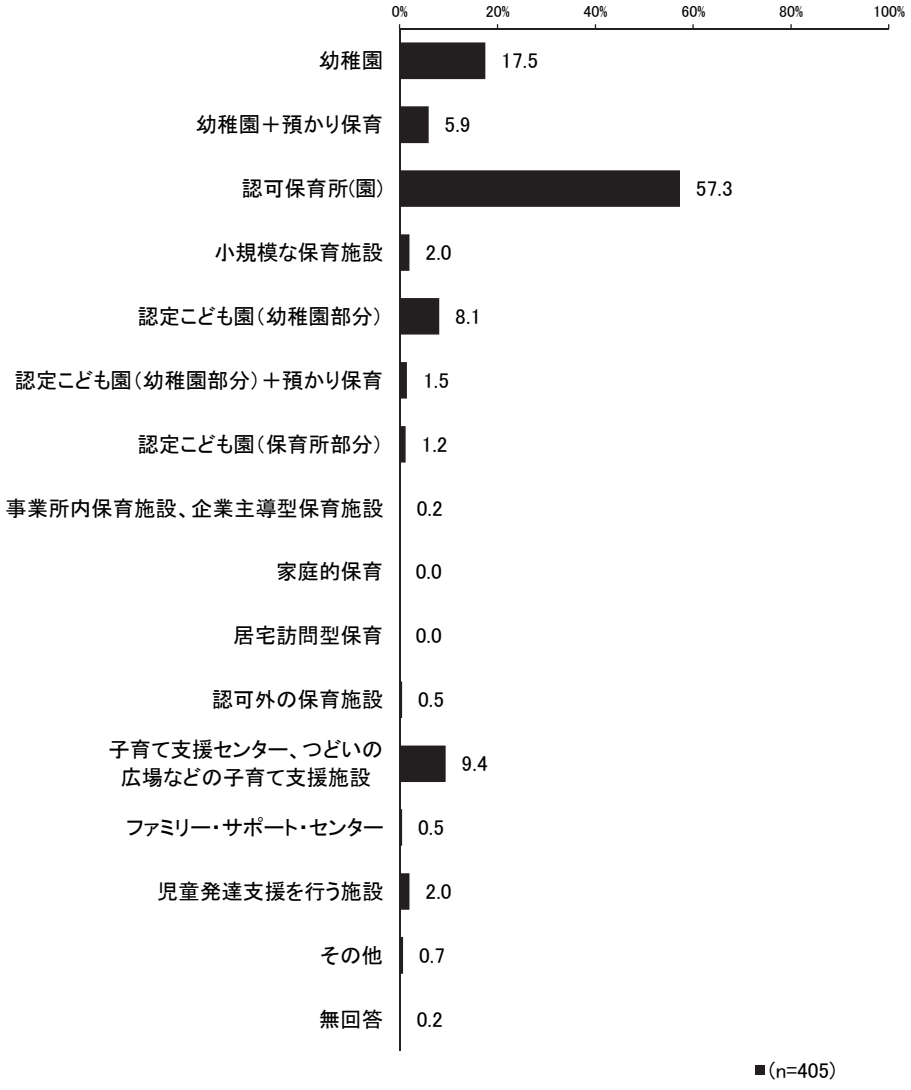
(n=544)

（２）利用している定期的サービス

問 13-1　封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

利用している定期的サービスは、「認可保育所(園)（公立保育所や私立保育園)」が 57.3%で最も高い。次いで「幼稚園（通常の就園時間のみ)」が 17.5%、「子育て支援センター、つどいの広場などの子育て支援施設」が 9.4%、「認定こども園（幼稚園部分)」が 8.1%となっています。

図　利用している定期的サービス



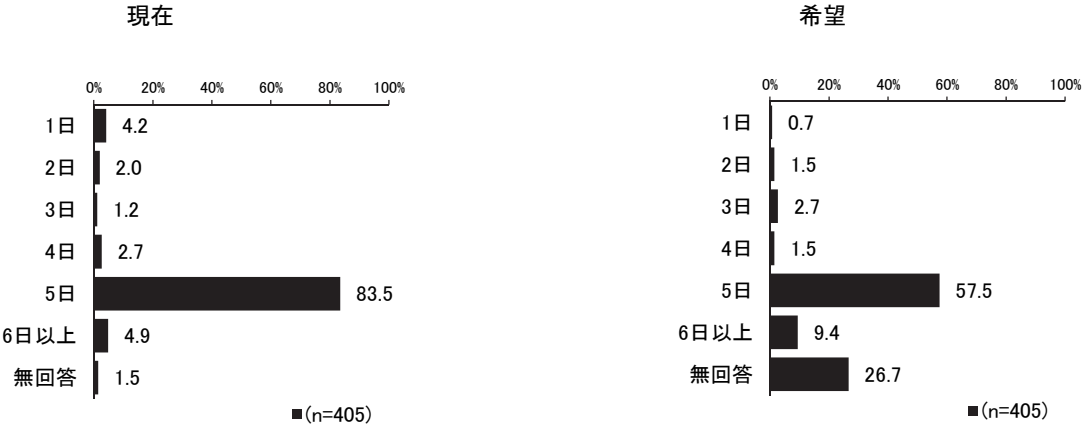
（３）定期的サービスの利用時間帯

問 13-2　あなたが現在利用している幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、１週間に何日利用し、また、１日当たり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（　　）内に具体的数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように２４時間制で記入してください。

■ １週あたりの利用日数

定期的サービスの１週あたりの利用日数は、現在では「5 日」が 83.5%で最も高く 8 割を超えています。希望では「5 日」が 57.5%で最も高くなっています。

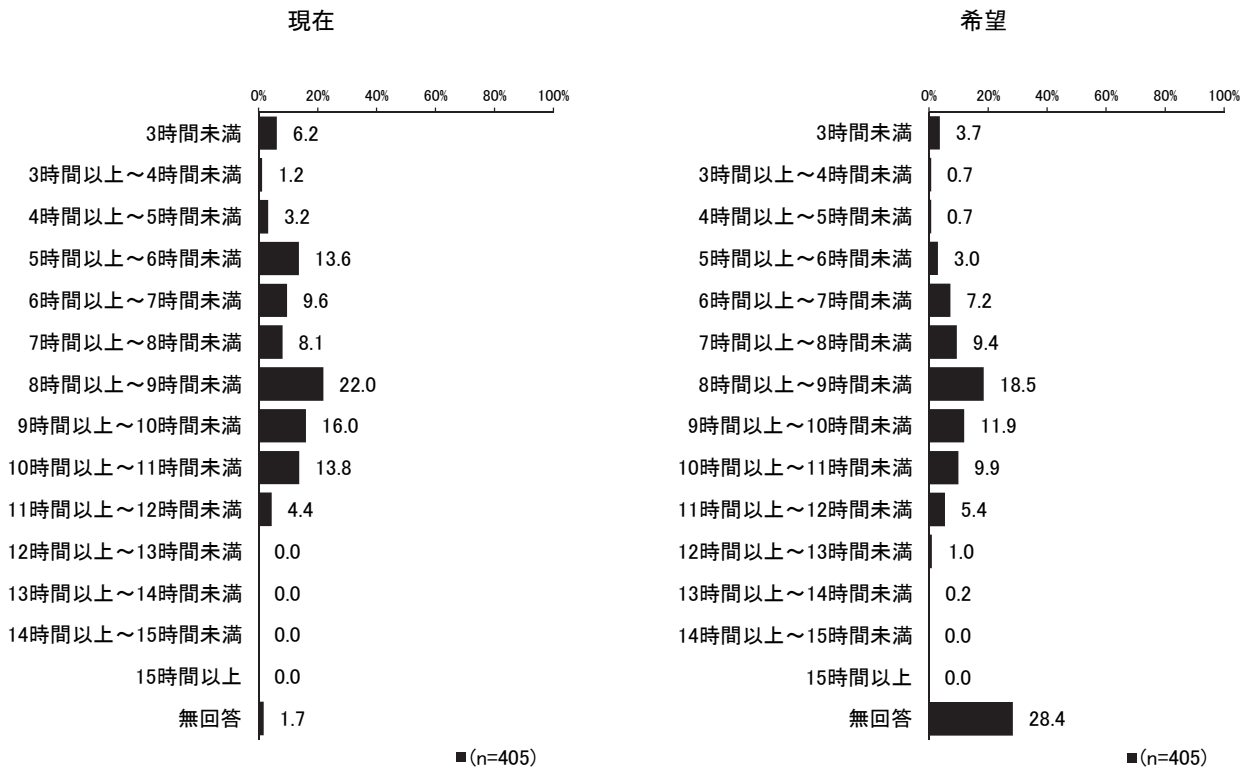
図　定期的サービスの１週あたりの利用日数



■1 日あたりの利用時間

定期的サービスの 1 日あたりの利用時間は、現在では「8 時間以上～9 時間未満」が 22.0%で最も高く、次いで「9 時間以上～10 時間未満」が 16.0%、「10 時間以上～11 時間未満」が 13.8%、「5 時間以上～6 時間未満」が 13.6%となっています。希望では「8 時間以上～9 時間未満」が 18.5%で最も高く、次いで「9 時間以上～10 時間未満」が 11.9%、「10 時間以上～11 時間未満」が 9.9%、「7 時間以上～8 時間未満」が 9.4%となっています。

図　定期的サービスの 1 日あたりの利用時間

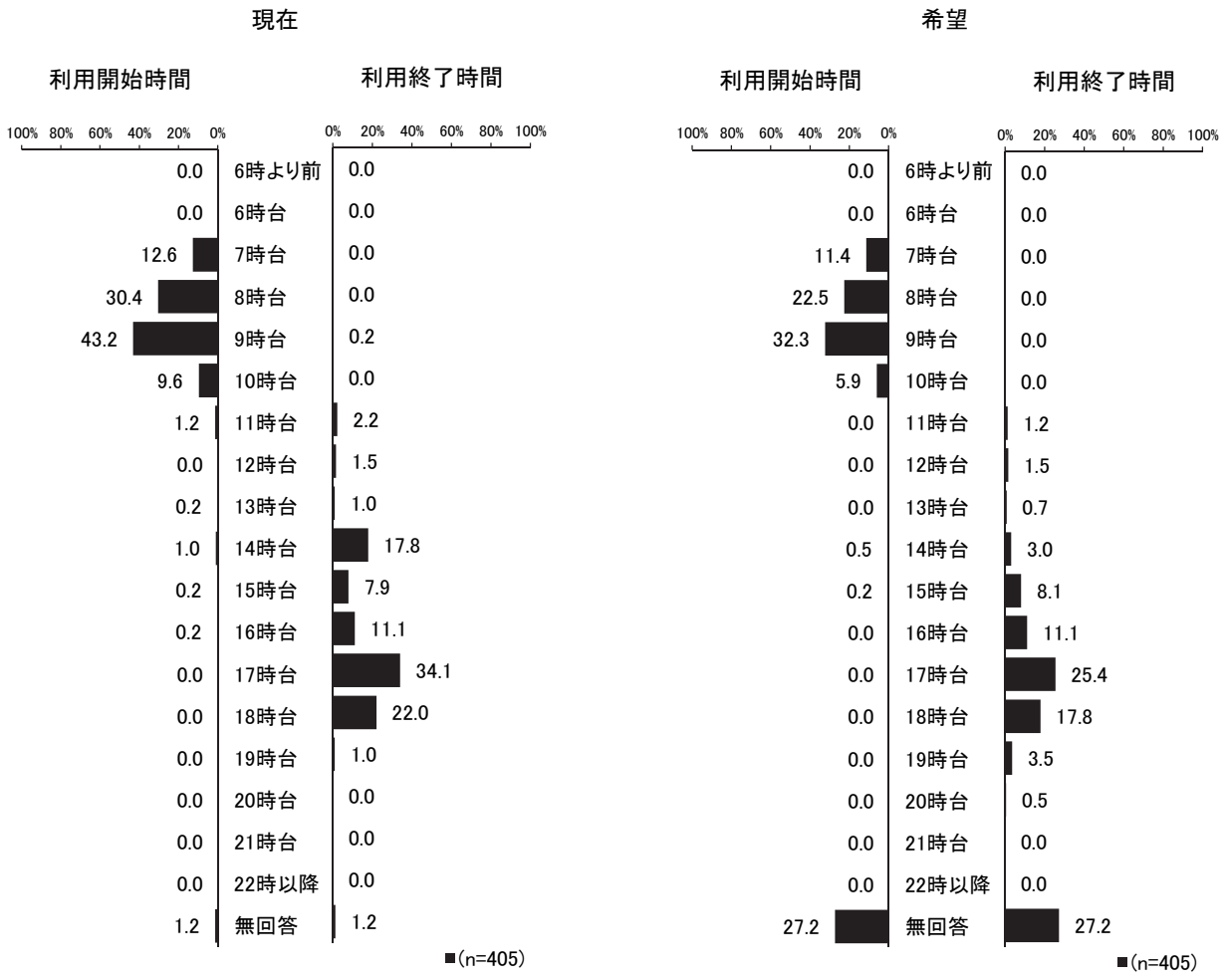


■利用時間帯

定期的サービスの利用時間帯は、現在では利用開始時間は「9 時台」が 43.2%で最も高く、次いで「8 時台」が 30.4%、「7 時台」が 12.6%となっています。利用終了時間は「17 時台」が 34.1%で最も高く、次いで「18 時台」が 22.0%、「14 時台」が 17.8%となっています。

希望では利用開始時間は「9 時台」が 32.3%で最も高く、次いで「8 時台」が 22.5%、「7 時台」が 11.4%となっています。利用終了時間は「17 時台」が 25.4%で最も高く、次いで「18 時台」が 17.8%、「16 時台」が 11.1%となっています。

図　定期的サービスの利用時間帯

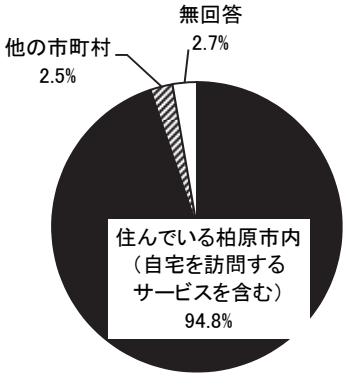


（４）定期的サービスを利用している場所

問 13-3　現在利用されている施設はどこにありますか。主に利用している施設にあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。「2.」を選択した方は、（　　）内に具体的な市町村名を記入してください。

図　定期的サービスを利用している場所

定期的サービスを利用している場所は、「住んでいる柏原市内（自宅を訪問するサービスを含む)」が 94.8%で大半を占め、「他の市町村」は 2.5%となっています。



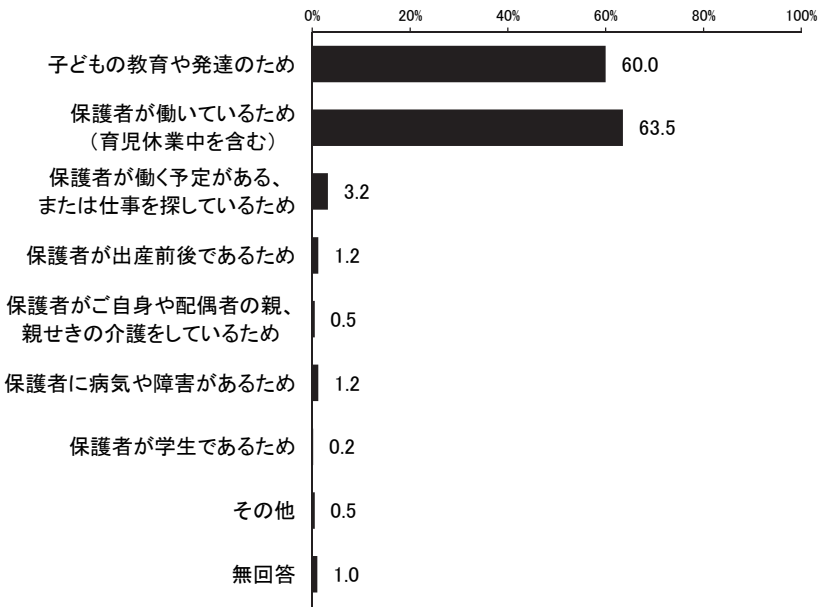
(n=405)

（５）定期的サービスを利用している理由

問 13-4　幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的サービスを利用している理由は、「保護者が働いているため（育児休業中を含む)」(63.5%)「子どもの教育や発達のため」(60.0%）がともに６割以上と高くなっています。

図　定期的サービスを利用している理由



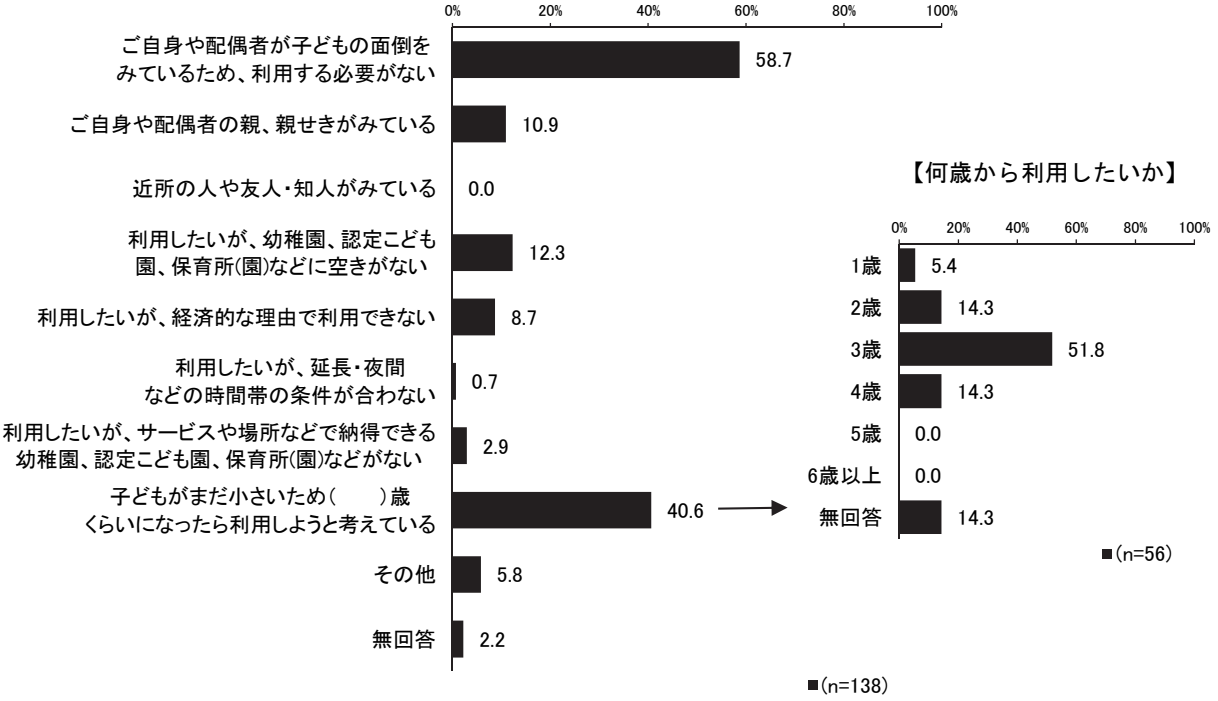
（６）定期的サービスを利用していない理由

問 13-5　幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの施設サービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「８.」を選択した方は、（　）内に具体的数字を入れてください。

定期的サービスを利用していない理由は、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が 58.7%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（　　）歳くらいになったら利用しようと考えています」が 40.6%となっています。

利用しようと考えているときの子どもの年齢は、「3 歳」が 51.8%で半数を超え、「2 歳」と「4 歳」がともに 14.3%となっています。

図　定期的サービスを利用していない理由



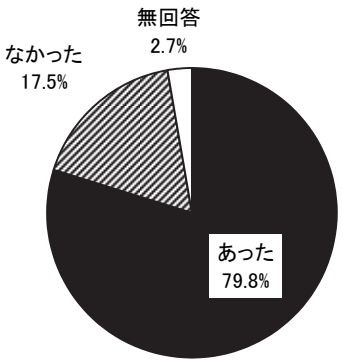
3. 病気になったときの対応について

（1）病気やケガで定期的サービスを利用できなかった経験

問 14　封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　病気やケガで定期的サービスを利用できなかった経験

病気になったときの対応については、病気やケガで定期的サービスを利用できなかった経験は、「あった」が 79.8%で約８割を占めており、「なかった」が 17.5%となっています。



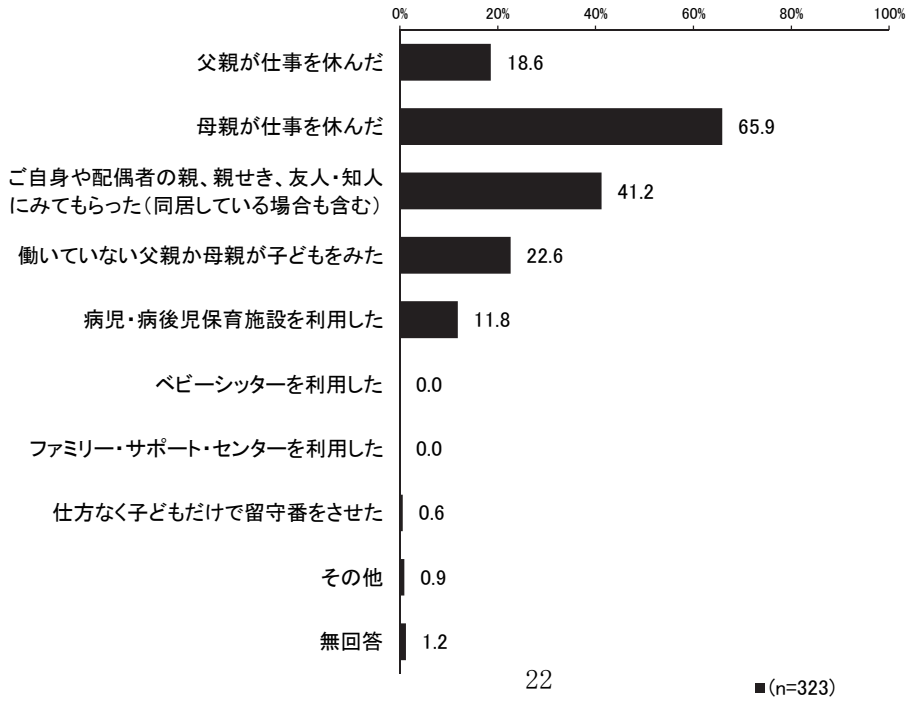
(n=405)

（2）病気やケガで定期的サービスを利用できなかった時の対応

問 14-1　この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（　　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

病気やケガで定期的サービスを利用できなかった時の対応は、「母親が仕事を休んだ」が 65.9%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む)」(41.2%)、「働いていない父親か母親が子どもをみた」(22.6%)、父親が会社を休んだ（18.6%）となっています。

図　病気やケガで定期的サービスを利用できなかった時の対応



■(n=323)

■日数

病気やケガで定期的サービスを利用できなかった日数は、「1.父親が仕事を休んだ」は「1日」が26.7%で最も高く、次いで「3日」が21.7%、「5日」が18.3%、「2日」が16.7%となっています。

「2.母親が仕事を休んだ」は「6日以上」が41.3%で最も高く、次いで「5日」が15.0%、「2日」が11.7%、「3日」が11.3%となっています。

「3.ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」は、「6日以上」が29.3%で最も高く、次いで「3日」が19.5%、「2日」が17.3%、「5日」が14.3%となっています。

「4.働いていない父親か母親が子どもをみた」は、「6日以上」が45.2%で最も高く、次いで「2日」、「3日」、「5日」がいずれも11.0%となっています。

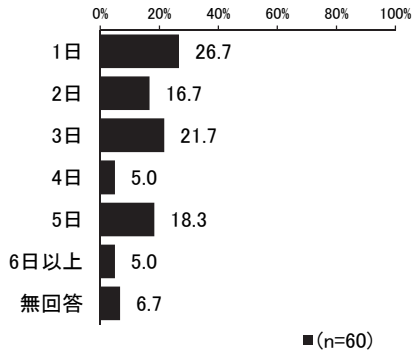
「5.病児・病後児保育施設を利用した」は、「6日以上」が44.7%で最も高く、次いで「5日」が15.8%、「2日」が13.2%、「1日」が10.5%となっています。

「8.仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は、「3日」が100.0%となっています。

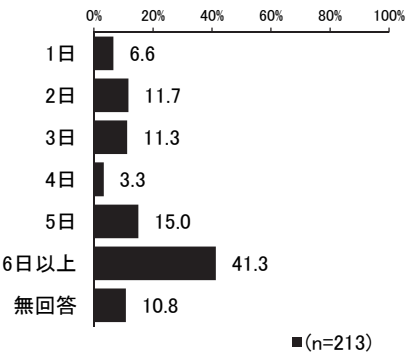
「9.その他」は、「1日」、「2日」、「6日以上」がいずれも33.3%で高くなっています。。

図　病気やケガで定期的サービスを利用できなかった時の対応（日数）

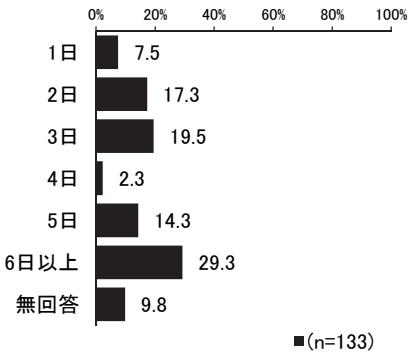
1. 父親が仕事を休んだ



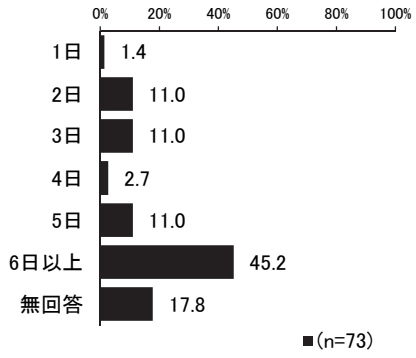
2. 母親が仕事を休んだ



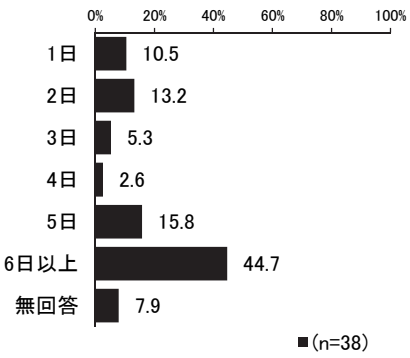
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）



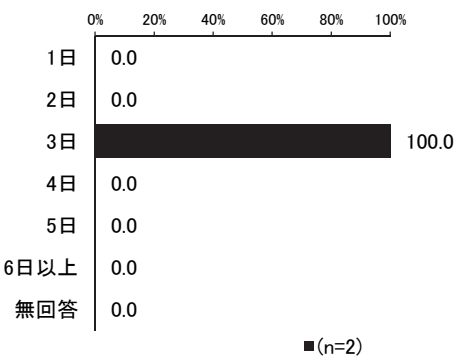
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた



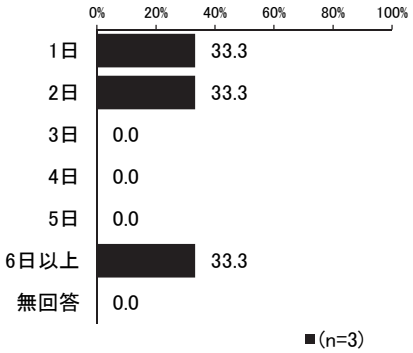
5. 病児・病後児保育施設を利用した



8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



9. その他



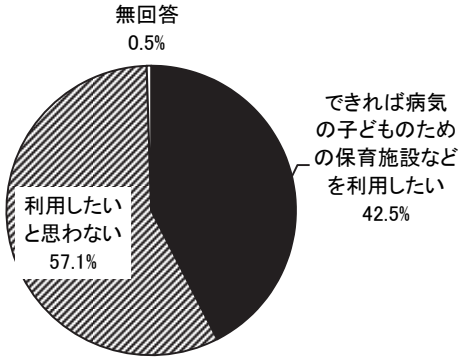
※「6.ベビーシッターを利用した」「7.ファミリー・サポート・センターを利用した」は回答がないためグラフを省略しています。

（３）病児保育施設の利用希望

問 14-2　子どもの病気のために仕事を休んだ際、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は（　　）内に日数を入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するにあたっては、一定の利用料が発生します。

病児保育施設の利用希望は、「利用したいと思わない」（57.1%）が「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」（42.5%）より 14.6 ポイント高くなっています。

図　病児保育施設の利用希望

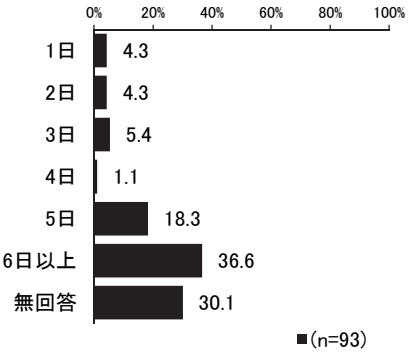


(n=219)

■病児保育施設の利用を希望する年間日数

病児保育施設の利用を希望する年間日数は、「6 日以上」が 36.6%と最も高く、次いで「5 日」が 18.3%となっています。

図　病児保育施設の利用を希望する年間日数

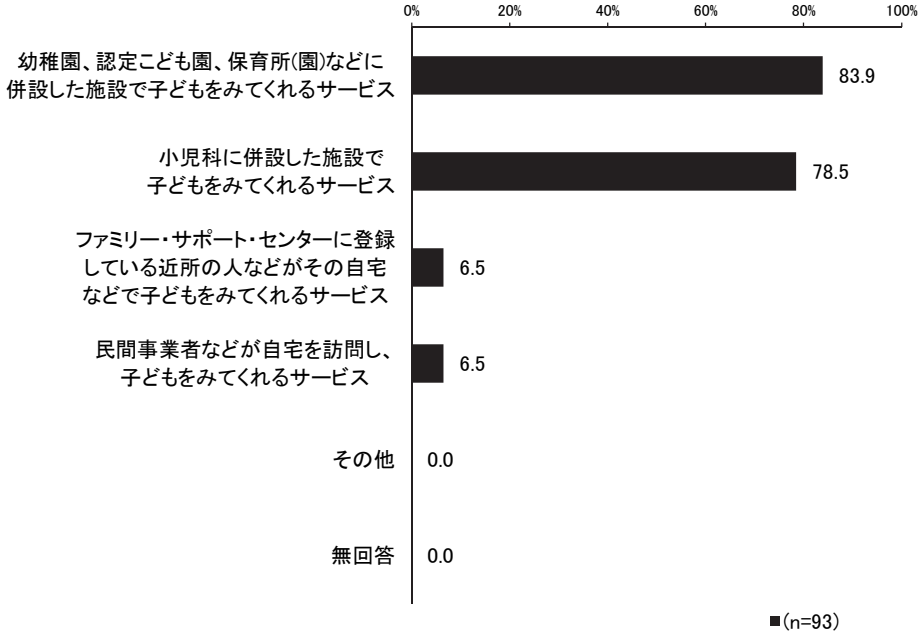


（4）病児保育施設を利用する場合、望ましいと思うサービス

問 14-3　病気の子どものための保育施設などを利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児保育施設を利用する場合、望ましいと思うサービスは、「幼稚園、認定こども園、保育所(園)などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が 83.9%で最も高く、「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」も 78.5%と高くなっています。「ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス」と「民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス」はともに 6.5%と低くなっています。

図　病児保育施設を利用する場合、望ましいと思うサービス

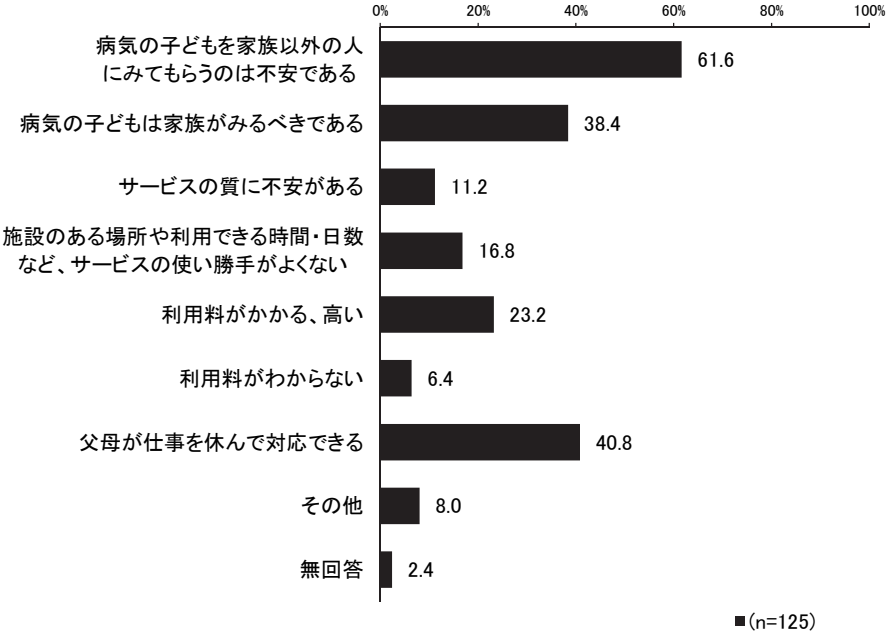


（５）病児保育施設を利用したくない理由

問 14-4　病気の子どものための保育施設などを「利用したいと思わない」理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児保育施設を利用したくない理由は、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が 61.6%で最も高く、次いで「父母が仕事を休んで対応できる」が 40.8%、「病気の子どもは家族がみるべきである」が 38.4%となっています。

図　病児保育施設を利用したくない理由



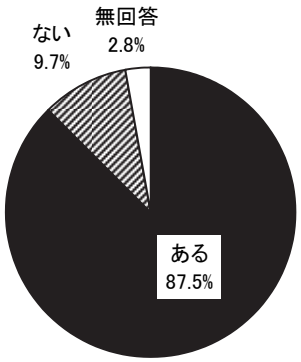
4. 定期的に利用したいサービスについて

（1）定期的サービスの利用意向

問 15　現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの施設やサービスはありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生する場合があります。

定期的サービスの利用意向の有無は、「ある」が 87.5%、「ない」が 9.7%となっています。

図　定期的サービスの利用意向の有無

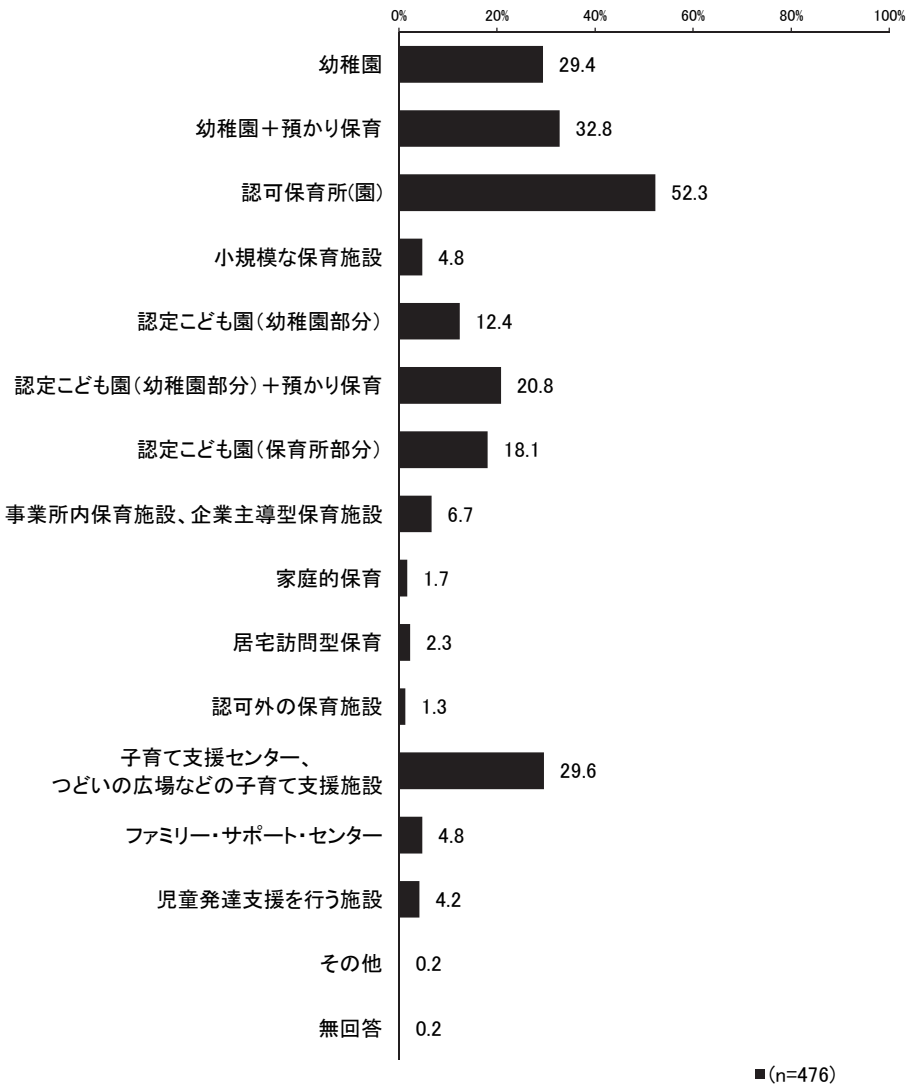


(n=544)

■利用したいサービス

定期的に利用したいサービスは、「認可保育所(園)（公立保育所や私立保育園)」が 52.3%と最も高く、次いで「幼稚園＋預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらう)」が 32.8%、「子育て支援センター、つどいの広場などの子育て支援施設」が 29.6%、「幼稚園（通常の就園時間のみ)」が 29.4%となっています。

図　利用したいサービス

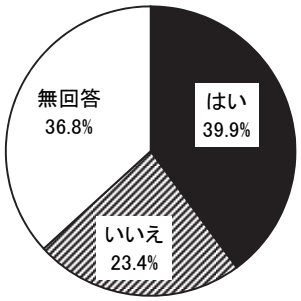


（２）幼稚園の利用を強く希望するか

問 15－１　特に、幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

幼稚園の利用を強く希望するかは、「はい」が 39.9%、「いいえ」が 23.4%となっています。

図　幼稚園の利用を強く希望するか



(n=291)

5. 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中における定期的サービスの利用意向について

（１）土曜日、日曜日・祝日における定期的サービスの利用意向

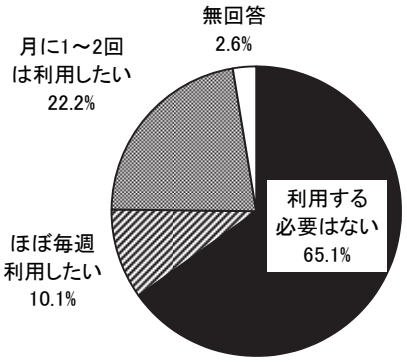
問 16　封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

土曜日、日曜日・祝日における定期的サービスの利用意向については、土曜日では「利用する必要はない」が 65.1%で最も高く 7 割近くを占めています。次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 22.2%、「ほぼ毎週利用したい」が 10.1%となっています。

日曜日・祝日では「利用する必要はない」が 83.3%で 8 割を超えています。「月に 1～2 回は利用したい」は 12.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.0%となっています。

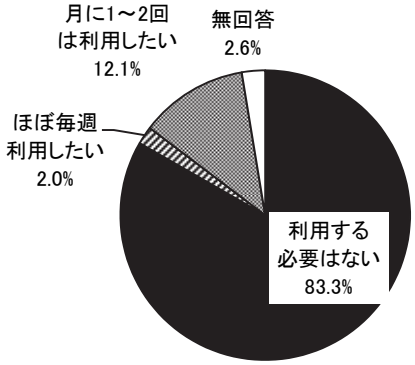
図　土曜日、日曜日・祝日における定期的サービスの利用意向

土曜日



(n=544)

日曜日・祝日



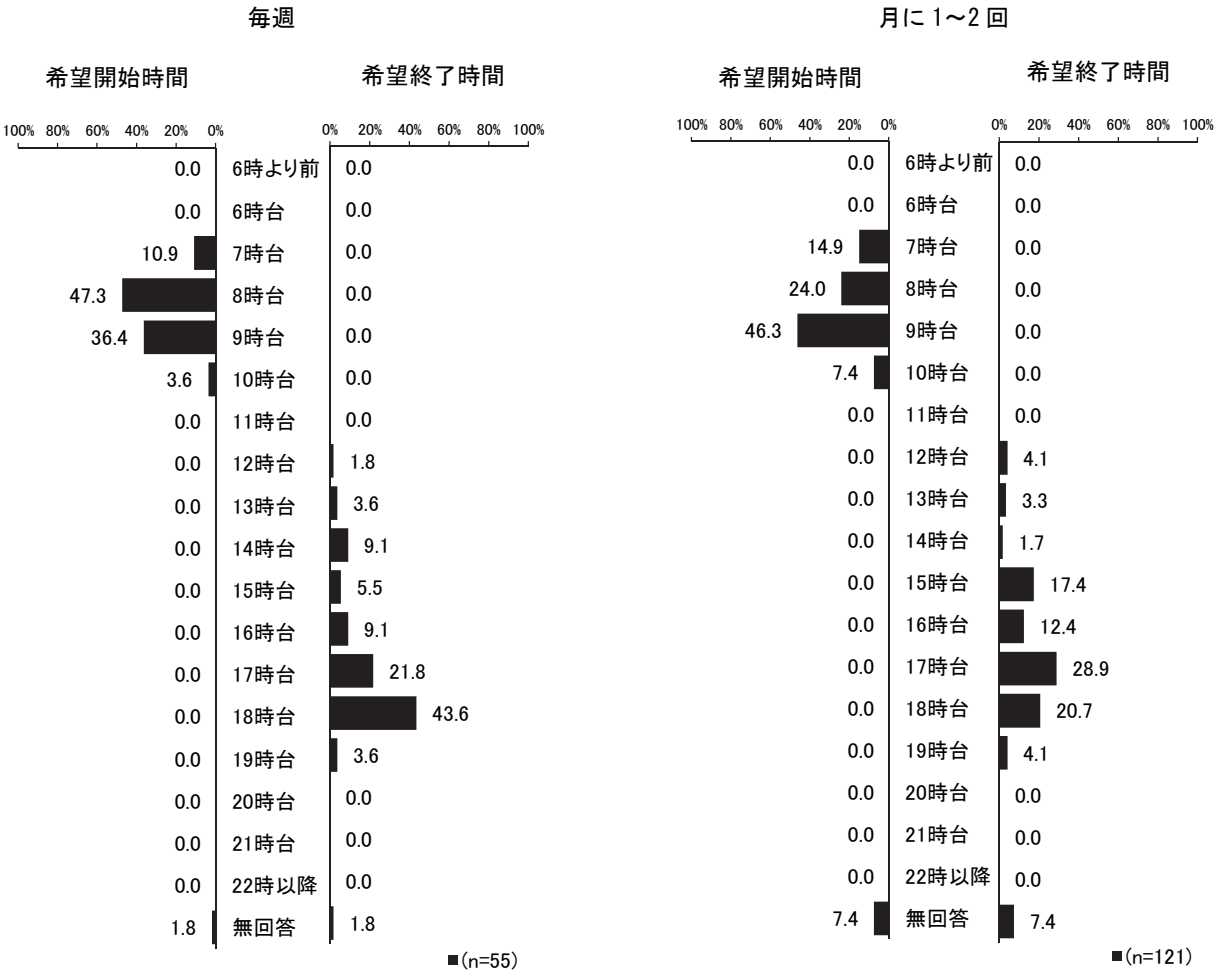
(n=544)

■土曜日における定期的サービスの希望利用時間帯

土曜日における定期的サービスの希望利用時間帯は、毎週では、希望開始時間は「8 時台」が 47.3%で最も高く、次いで「9 時台」が 36.4%、「7 時台」が 10.9%となっています。希望終了時間は「18 時台」が 43.6%で最も高く、次いで「17 時台」が 21.8%となっています。

月に 1～2 回では、希望開始時間は「9 時台」が 46.3%で最も高く、次いで「8 時台」が 24.0%、「7 時台」が 14.9%となっています。希望終了時間は「17 時台」が 28.9%で最も高く、次いで「18 時台」が 20.7%、「15 時台」が 17.4%、「16 時台」が 12.4%となっています。

図　土曜日における定期的サービスの希望利用時間帯

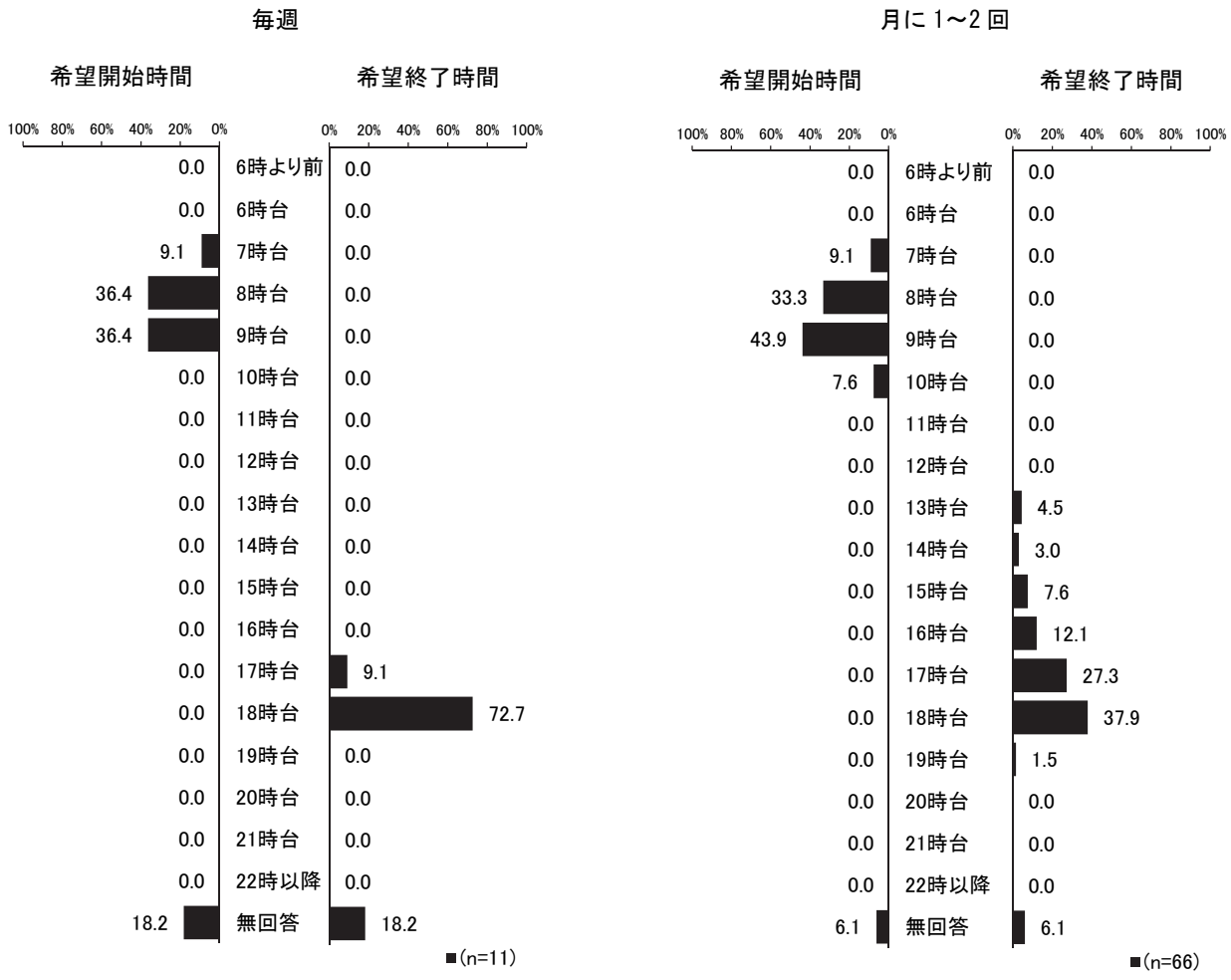


■日曜日・祝日における定期的サービスの希望利用時間帯

日曜日・祝日における定期的サービスの希望利用時間帯は、毎週では、希望開始時間は「8 時台」と「9 時台」がともに 36.4%で高くなっています。希望終了時間は「18 時台」が 72.7%で最も高く、次いで「17 時台」が 9.1%となっています。

月に 1～2 回では、希望開始時間は「9 時台」が 43.9%で最も高く、次いで「8 時台」が 33.3%、「7 時台」が 9.1%、「10 時台」が 7.6%となっています。希望終了時間は「18 時台」が 37.9%で最も高く、次いで「17 時台」が 27.3%、「16 時台」が 12.1%、「15 時台」が 7.6%となっています。

図　日曜日・祝日における定期的サービスの希望利用時間帯

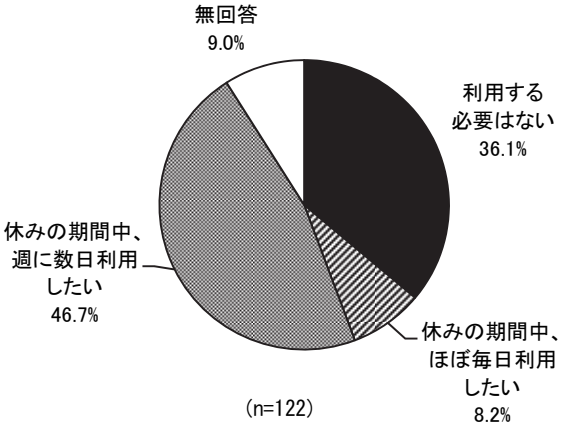


（２）長期休暇中における幼稚園の利用意向

問 17　夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある場合は、（　　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように２４時間制で記入してください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

図　長期休暇中における幼稚園の利用意向

長期休暇中における幼稚園の利用意向は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 46.7%で約半数を占めています。次いで「利用する必要はない」が 36.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 8.2%となっています。



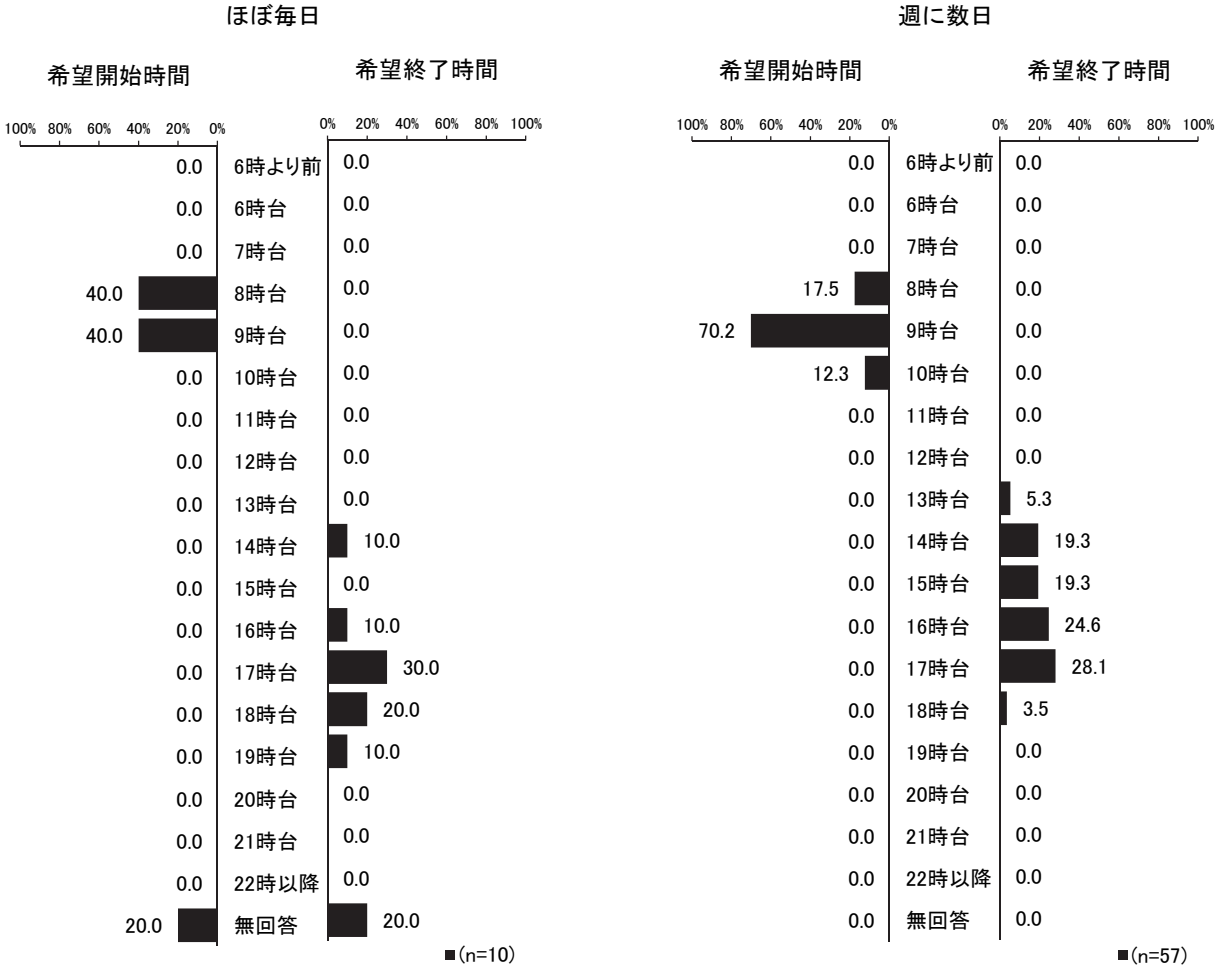
■長期休暇中における幼稚園の希望利用時間帯

長期休暇中における幼稚園の希望利用時間帯は、ほぼ毎日では、希望開始時間は「8 時台」と「9 時台」がともに 40.0%で最も高くなっています。希望終了時間は「17 時台」が 30.0%と最も高く、次いで「18 時台」が 20.0%、「14 時台」、「16 時台」、「19 時台」がいずれも 10.0%となっています。

週に数日では、希望開始時間は「9 時台」が 70.2%と最も高く、次いで「8 時台」が 17.5%、「10 時台」が 12.3%となっています。希望終了時間は「17 時台」が 28.1%と最も高く、次いで「16 時台」が 24.6%、「14 時台」と「15 時台」がともに 19.3%となっています。

ほぼ毎日利用する人よりも週に数日利用する人のほうが希望開始時間は遅く、終了時間は早い傾向があります。

図　長期休暇中における幼稚園の希望利用時間帯



6. 仕事と子育ての両立について

（1）育児休業の取得状況

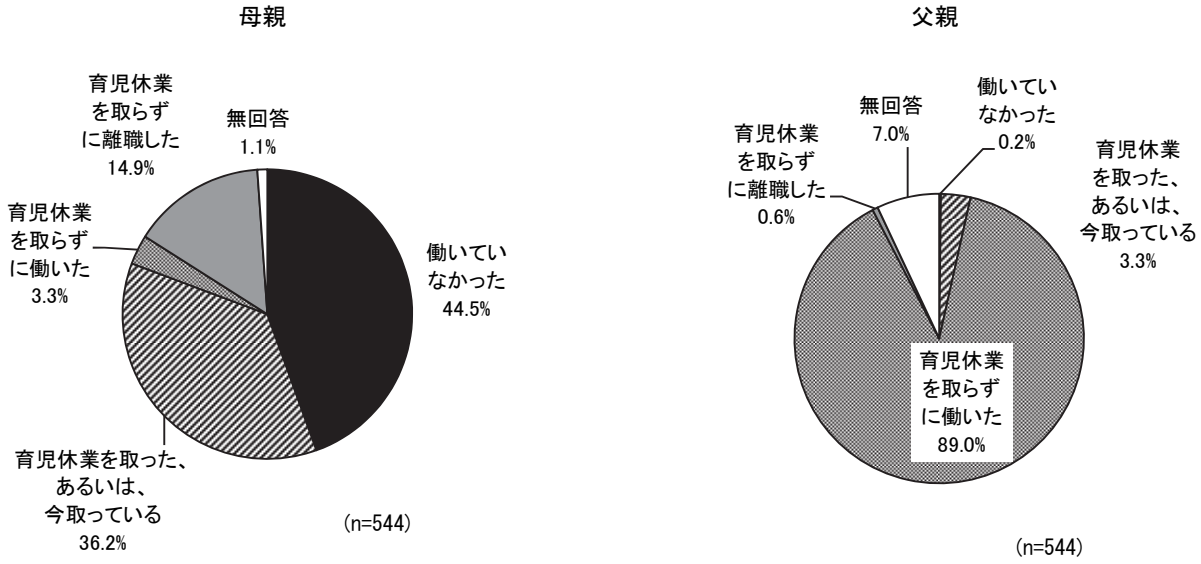
問 18　封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。母親・父親それぞれについて、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。それぞれ「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について（　　）内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を下の選択肢枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

育児休業の取得状況は、母親では「働いていなかった」が 44.5%で最も高く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が 36.2%、「育児休業を取らずに離職した」が 14.9%となっています。

父親では「育児休業を取らずに働いた」が 89.0%で約 9 割を占めています。

母親の4割弱が育児休業を取得していますが、父親の育児休業の取得は3.3%に留まっています。

図　育児休業の取得状況

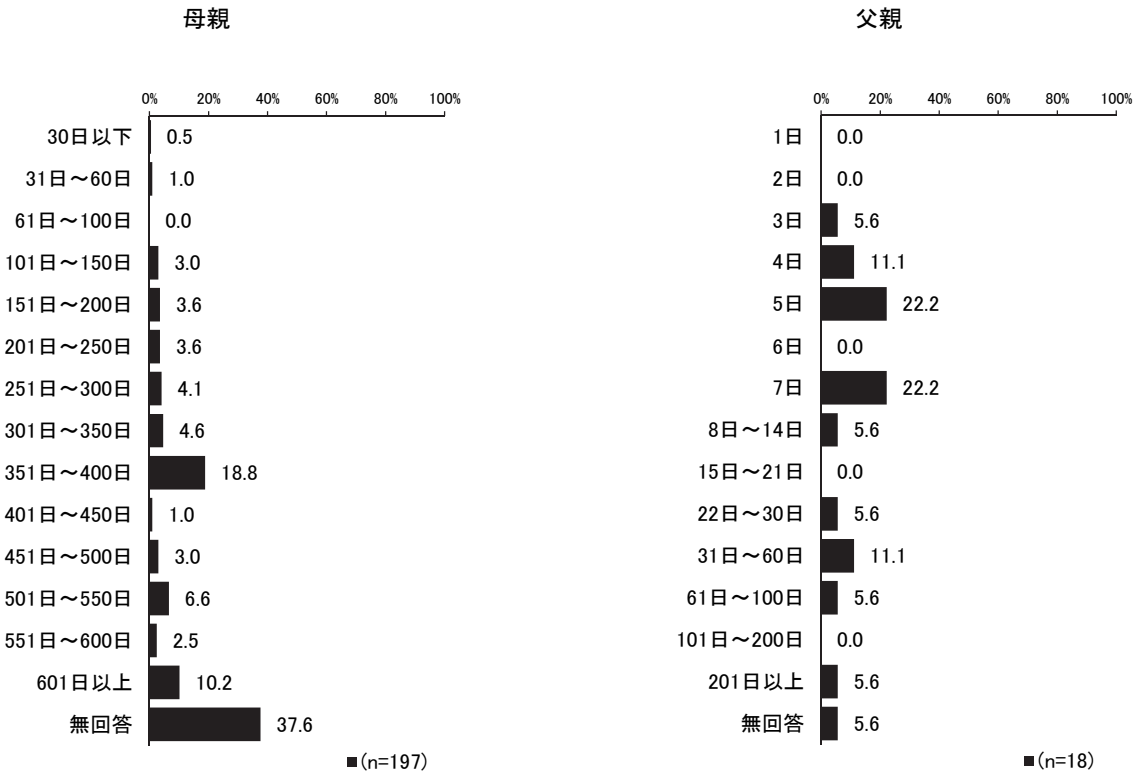


■育児休業の取得日数

育児休業の取得日数は、母親では「351 日～400 日」が 18.8%で最も高く、次いで「601 日以上」が 10.2%となっています。

父親では「5 日」と「7 日」がともに 22.2%で最も高く、次いで「4 日」と「31 日～60 日」がともに 11.1%となっています。

図　育児休業の取得日数

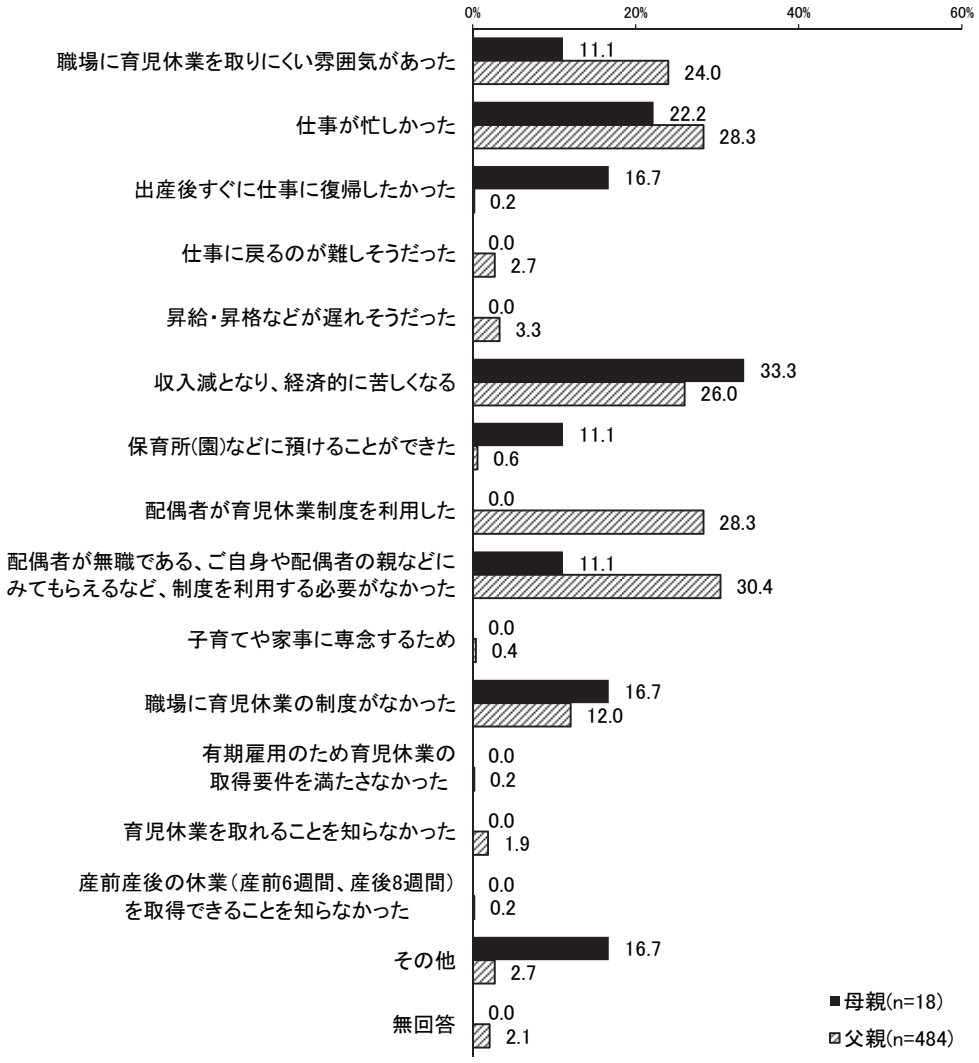


■育児休業を取らずに働いた理由

育児休業を取らずに働いた理由は、母親では、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 33.3%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 22.2%、「出産後すぐに仕事に復帰したかった」、「職場に育児休業の制度がなかった」、「その他」がいずれも 16.7%となっています。

父親では、「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 30.4%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」と「配偶者が育児休業制度を利用した」がともに 28.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 26.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 24.0%となっています。

図　育児休業を取らずに働いた理由

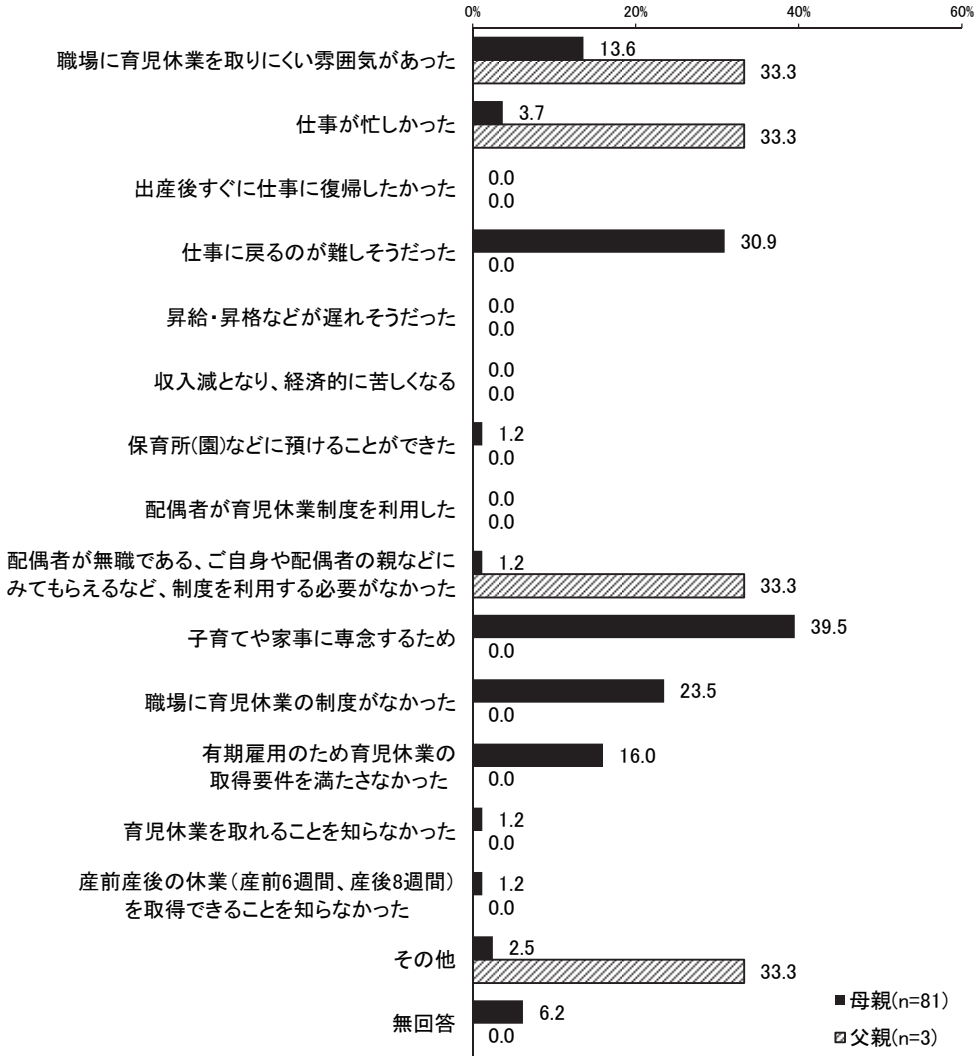


■育児休業を取らずに離職した理由

育児休業を取らずに離職した理由は、「子育てや家事に専念するため」が 39.5%で最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が 30.9%、「職場に育児休業の制度がなかった」が 23.5%となっています。

「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」、「その他」がいずれも 33.3%で同率となっています。

図　育児休業を取らずに離職した理由

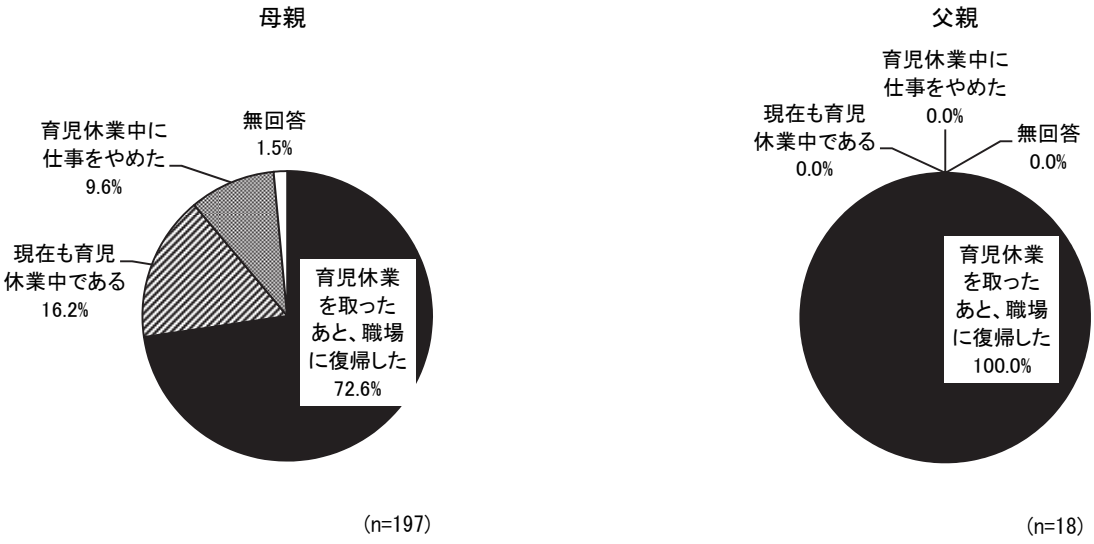


（２）育休取得後の職場復帰状況

問 18-1　育児休業を取ったあと、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。（問 18 で、母親・父親のどちらかだけが「２.」を選んでいる場合は、一方は空白にしてください）

育休取得後の職場復帰状況は、母親では「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 72.6%で 7 割強を占めています。「現在も育児休業中である」は 16.2%、「育児休業中に仕事をやめた」は 9.6%となっています。父親では「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 100.0%となっています。

図　育休取得後の職場復帰状況



（３）職場復帰時の子の年齢

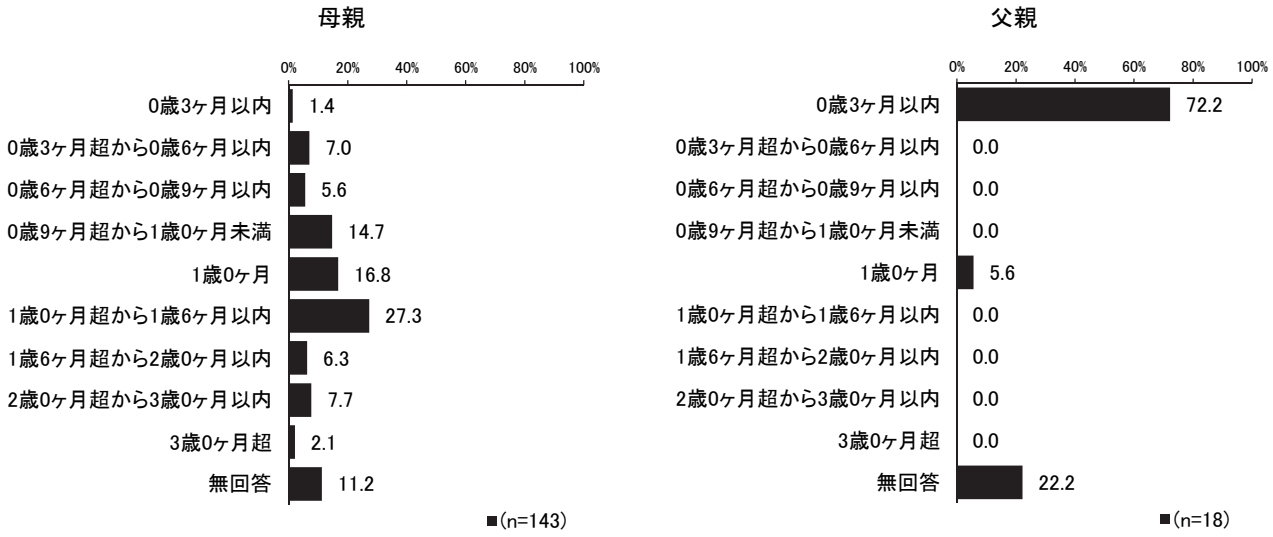
問 18-2　育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで育児休業を取りたかったですか。（　　）内に具体的な数字を記入してください。（問 18-1 で、母親・父親のどちらかだけが「１.」を選んでいる場合は、一方は空白にしてください）

■職場復帰時の子の年齢

職場復帰時の子の年齢は、母親では「1 歳 0 ヶ月超から 1 歳 6 ヶ月以内」が 27.3%と最も高く、次いで「1 歳 0 ヶ月」が 16.8%、「0 歳 9 ヶ月超から 1 歳 0 ヶ月未満」が 14.7%となっています。

父親では「0 歳 3 ヶ月以内」が 72.2%と最も高く、7 割強を占めています。

図　職場復帰時の子の年齢

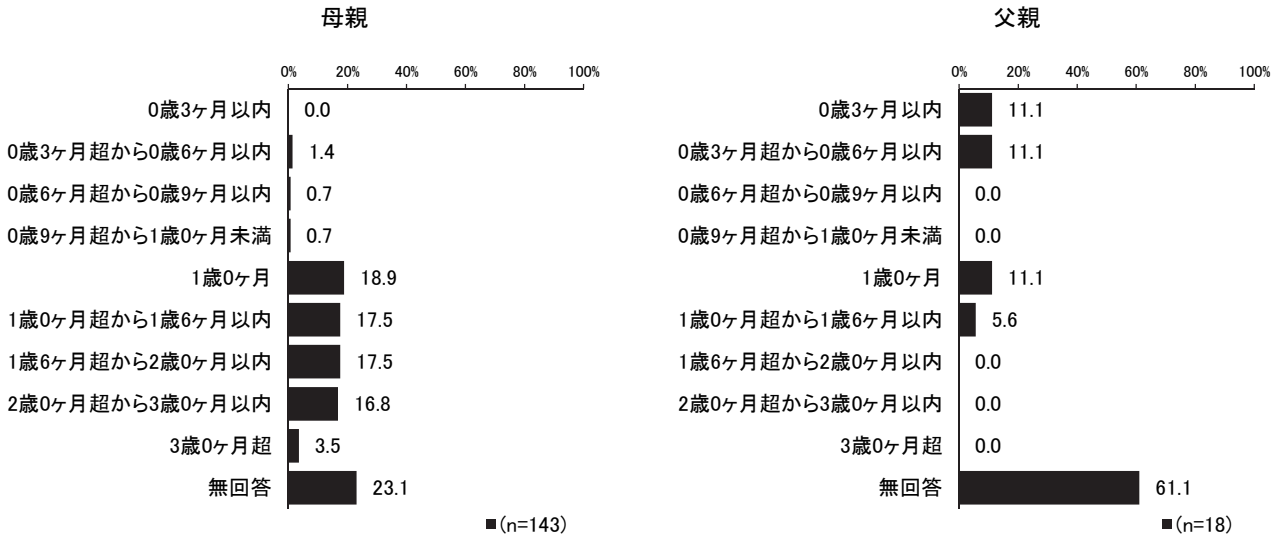


■希望としての職場復帰時の子の年齢

希望としての職場復帰時の子の年齢は、母親では「1歳0ヶ月」が18.9%で最も高く、次いで「1歳0ヶ月超から1歳6ヶ月以内」と「1歳6ヶ月超から2歳0ヶ月以内」がともに17.5%、「2歳0ヶ月超から3歳0ヶ月以内」が16.8%となっており、1歳0ヶ月から3歳0ヶ月の間で職場復帰を希望する人が多数を占めています。

父親では「0歳3ヶ月以内」、「0歳3ヶ月超から0歳6ヶ月以内」、「1歳0ヶ月」がいずれも11.1%となっています。

図　希望としての職場復帰時の子の年齢



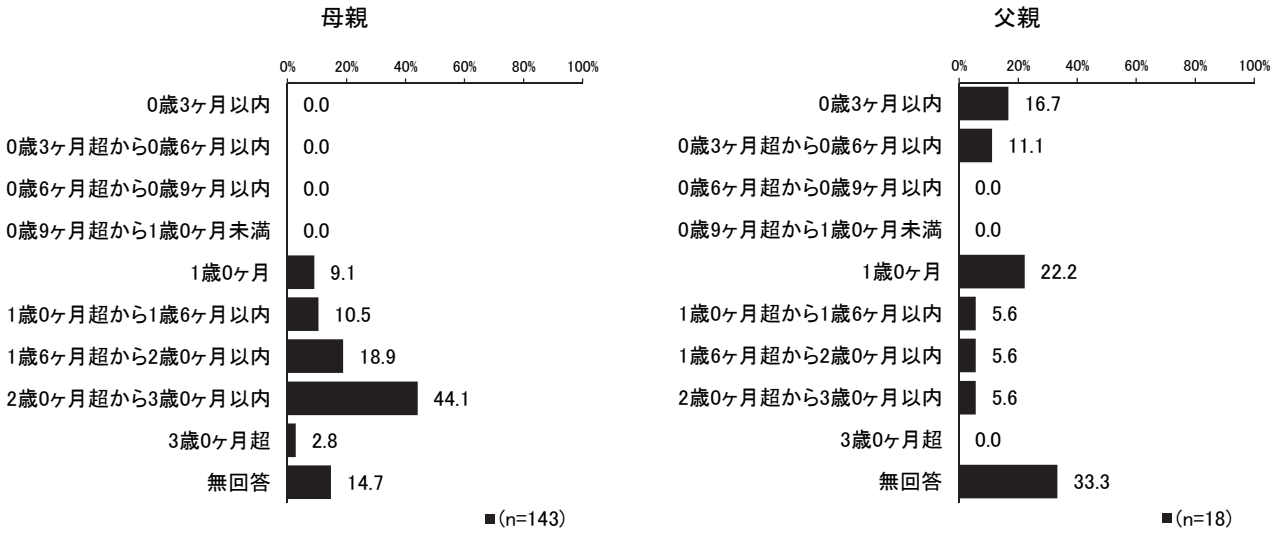
（４）3 歳まで育休制度がある場合に取得したい期間

問 18-3　職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字をご記入ください。（問 18-1 で、母親・父親のどちらかだけが「１.」を選んでいる場合は、一方は空白にしてください）

3 歳まで育休制度がある場合に取得したい期間は、母親では「2 歳 0 ヶ月超から 3 歳 0 ヶ月以内」が 44.1%で最も高く 4 割強を占めています。次いで「1 歳 6 ヶ月超から 2 歳 0 ヶ月以内」が 18.9%、「1 歳 0 ヶ月超から 1 歳 6 ヶ月以内」が 10.5%、「1 歳 0 ヶ月」が 9.1%となっています。

父親では「1 歳 0 ヶ月」が 22.2%で最も高く、次いで「0 歳 3 ヶ月以内」が 16.7%、「0 歳 3 ヶ月超から 0 歳 6 ヶ月以内」が 11.1%となっています。

図　3 歳まで育休制度がある場合に取得したい期間



（５）子どもと過ごす時間

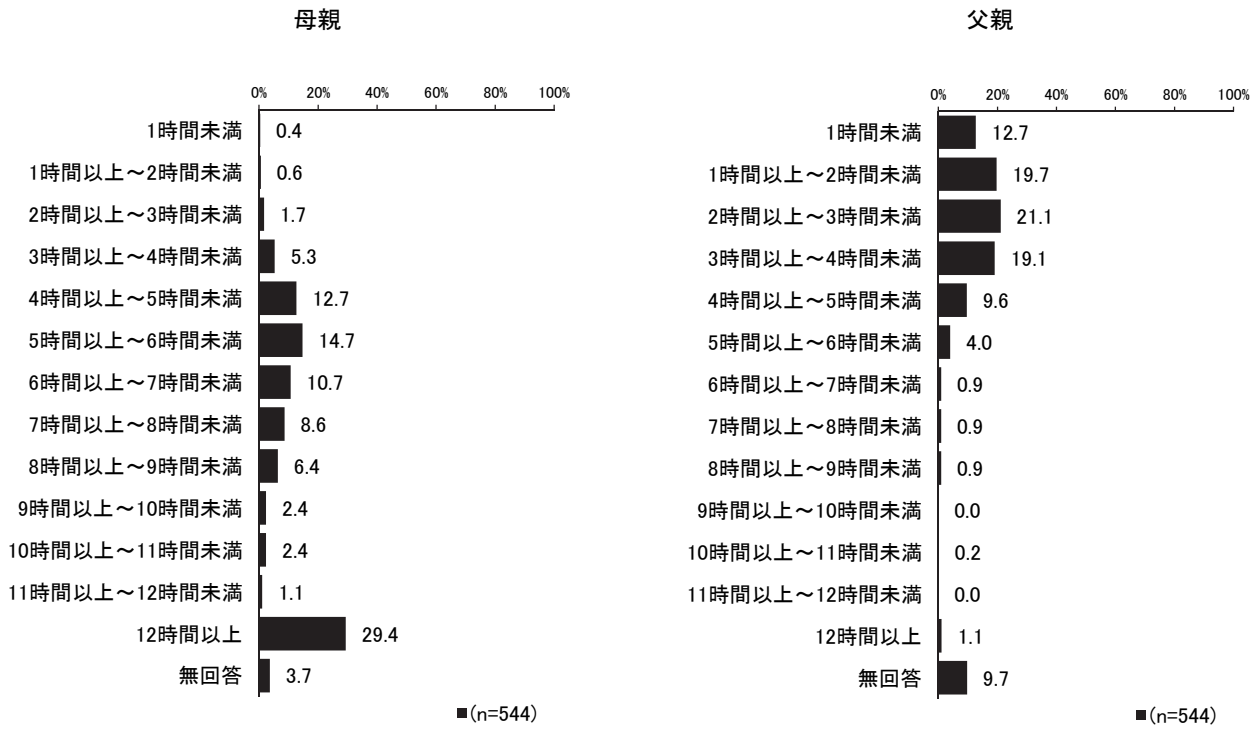
問 19　１日当たりにお子さんと一緒に過ごす時間（睡眠時間を含まない）はどのくらいですか。（　　）内に具体的な数字を記入してください。また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

■平日に子どもと過ごす時間

平日に子どもと過ごす時間は、母親では「12 時間以上」が 29.4％で約 3 割となっています。次いで「5 時間以上～6 時間未満」が 14.7％、「4 時間以上～5 時間未満」が 12.7％、「6 時間以上～7 時間未満」が 10.7％となっています。

父親では「2 時間以上～3 時間未満」が 21.1％で最も高く、次いで「1 時間以上～2 時間未満」が 19.7％、「3 時間以上～4 時間未満」が 19.1％となっています。

図　平日に子どもと過ごす時間

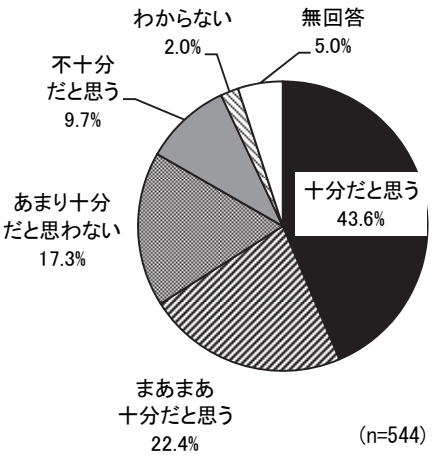


平日に子どもと過ごす時間への意識は、母親では「十分だと思う」が 43.6%で最も高く、4 割を超えています。次いで「まあまあ十分だと思う」が 22.4%、「あまり十分だと思わない」が 17.3%となっています。

父親では「不十分だと思う」が 38.1%で最も高く 4 割近くを占めています、次いで「あまり十分だと思わない」が 22.8%、「まあまあ十分だと思う」が 16.4%となっています。

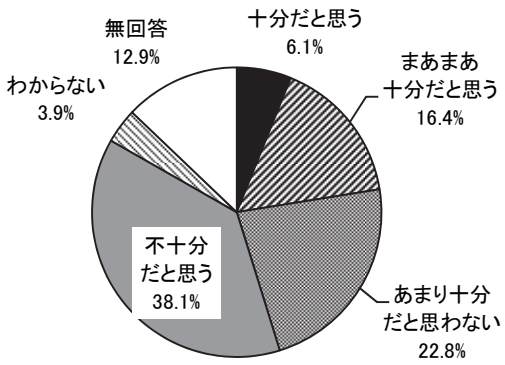
図　平日に子どもと過ごす時間への意識

母親



(n=544)

父親

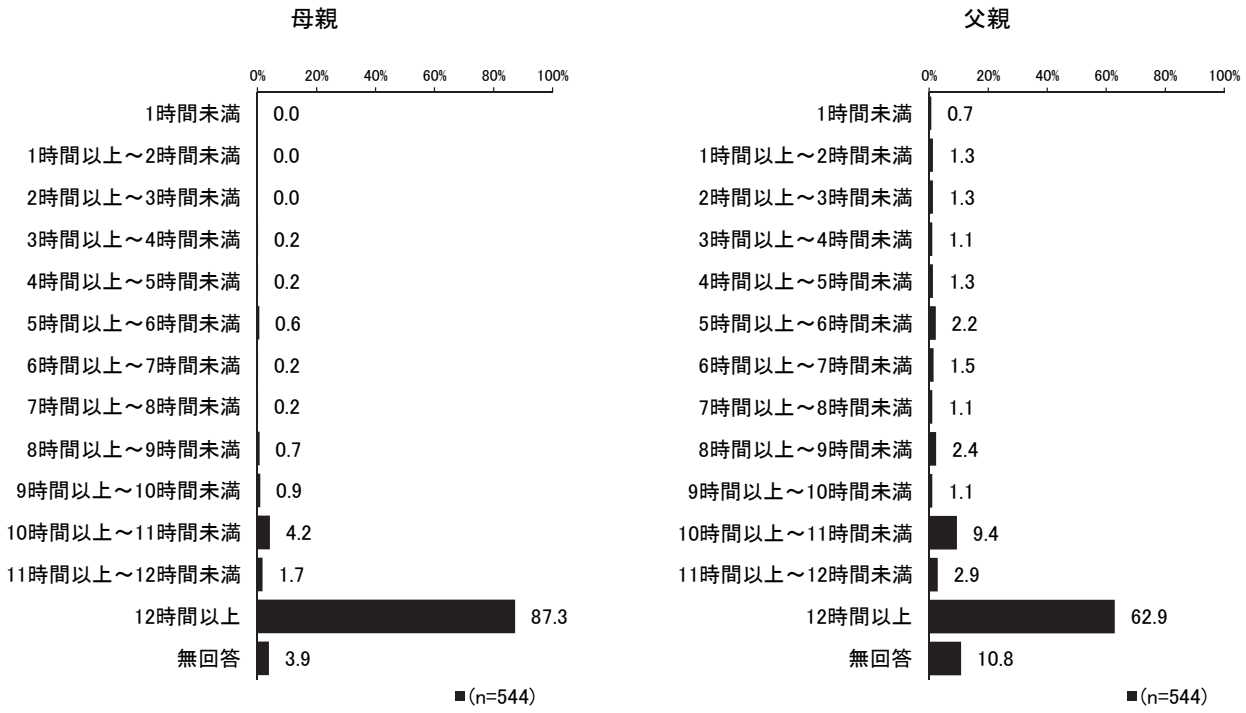


(n=544)

■休日に子どもと過ごす時間

休日に子どもと過ごす時間は、母親では「12 時間以上」が 87.3%、父親では「12 時間以上」が 62.9%となっており、ともに「12 時間以上」が最も高くなっています。

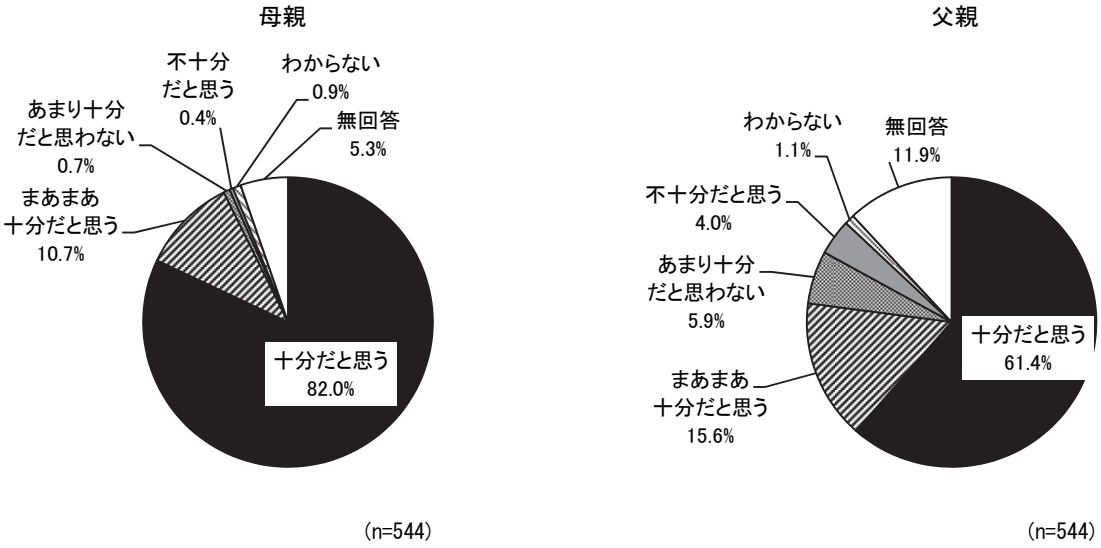
図　休日に子どもと過ごす時間



休日に子どもと過ごす時間への意識は、母親では「十分だと思う」が 82.0%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が 10.7%となっています。

母親では「十分だと思う」が 61.4%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が 15.6%となっています。

図　休日に子どもと過ごす時間への意識



（６）家事時間

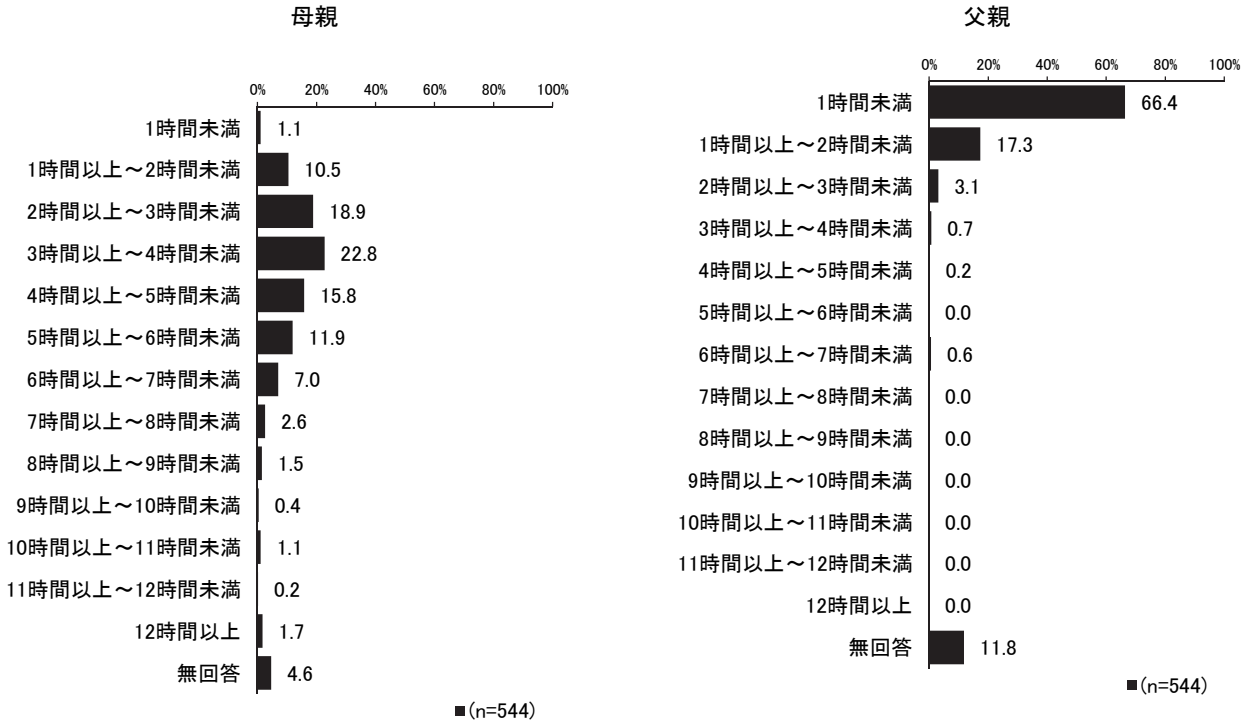
問 20　１日当たり、家事（育児は除く）を何時間くらいしますか。（　　）内に具体的な数字を記入してください。

■平日の家事時間

平日の家事時間は、母親では「3 時間以上～4 時間未満」が 22.8％で最も高く、次いで「2 時間以上～3 時間未満」が 18.9％、「4 時間以上～5 時間未満」が 15.8％、「5 時間以上～6 時間未満」が 11.9％となっています。

父親では「1 時間未満」が 66.4％で最も高く 7 割近くを占めており、次いで「1 時間以上～2 時間未満」が 17.3％となっています。2 時間以上は、合わせて 4％となっています。

図　平日の家事時間

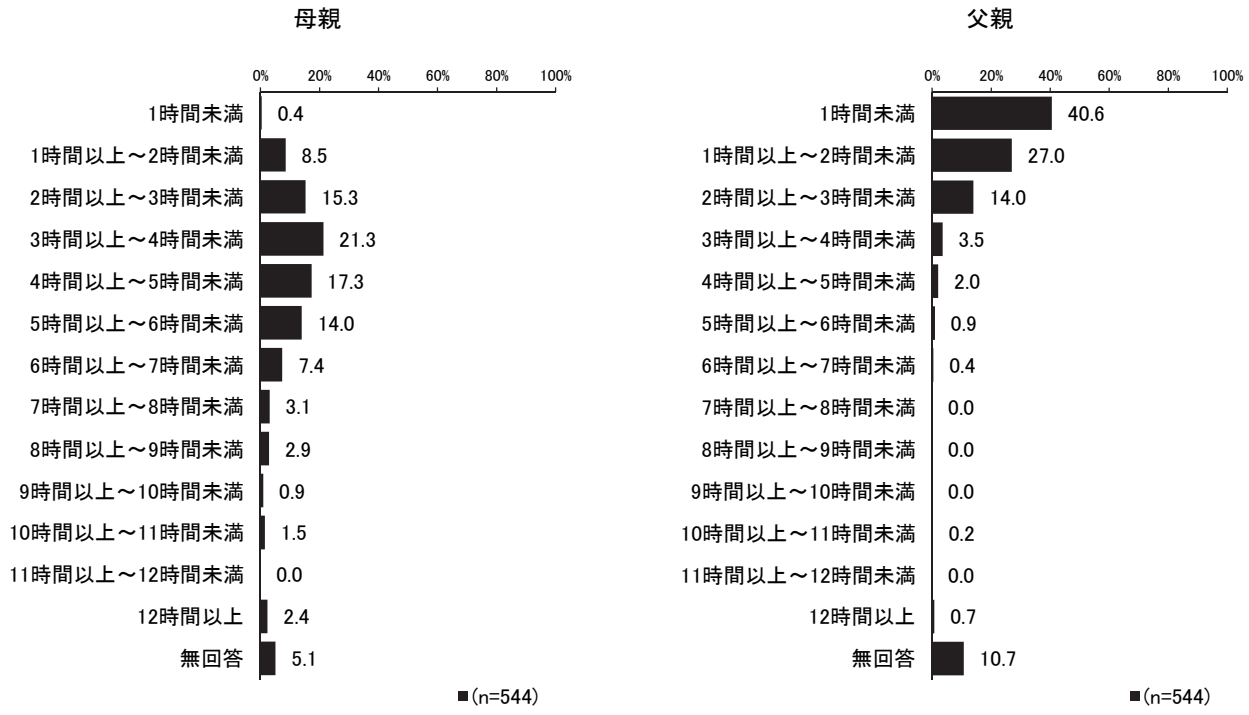


■休日の家事時間

休日の家事時間は、母親では「3 時間以上～4 時間未満」が 21.3%で最も高く、次いで「4 時間以上～5 時間未満」が 17.3%、「2 時間以上～3 時間未満」が 15.3%、「5 時間以上～6 時間未満」が 14.0%となっています。

父親では「1 時間未満」が 40.6%で最も高く、次いで「1 時間以上～2 時間未満」が 27.0%、「2 時間以上～3 時間未満」が 14.0%となっています。

図　休日の家事時間

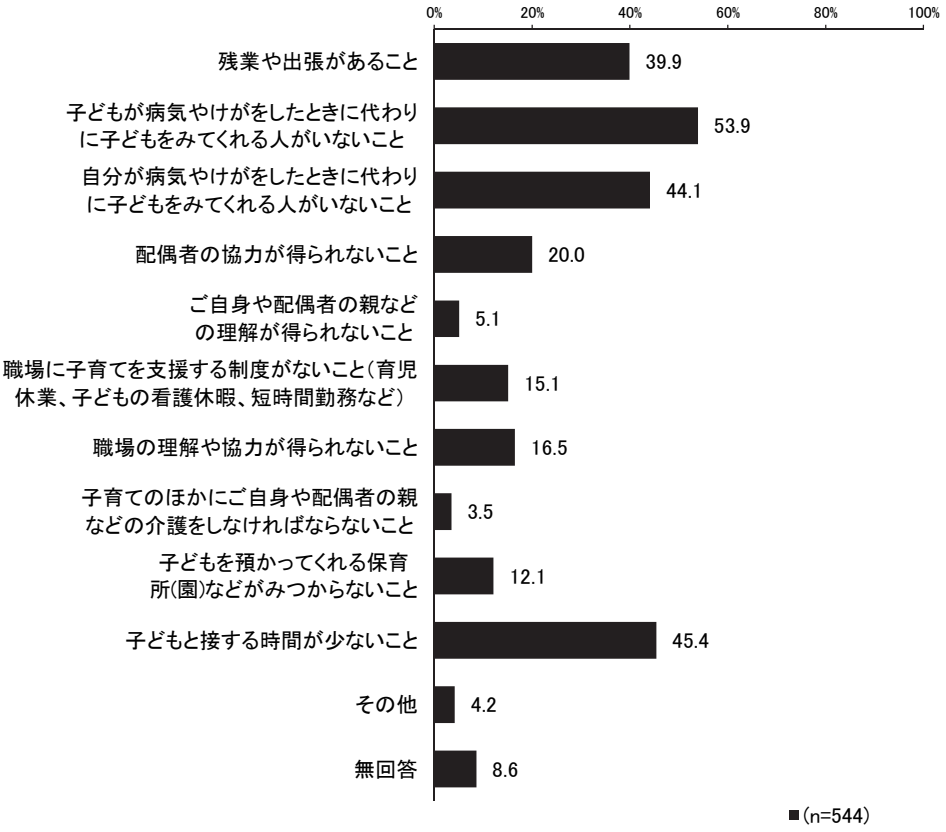


（7）仕事と子育てを両立させる上での大変だと思うこと

問 21　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事と子育てを両立させる上での大変だと思うことは、「子どもが病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 53.9%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が 45.4%、「自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 44.1%、「残業や出張があること」が 39.9%となっています。

図　仕事と子育てを両立させる上での大変だと思うこと



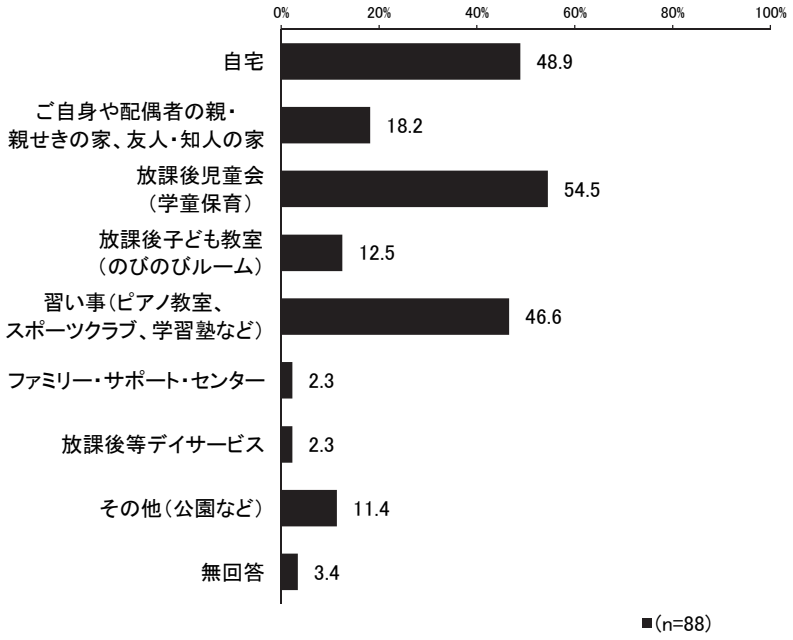
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

（1）低学年のうち、放課後に過ごさせたい場所

問 22　小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、（　　）内に具体的な数字を入れてください。「放課後児童会（学童保育）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（　　）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

低学年のうち、放課後に過ごさせたい場所は、「放課後児童会（学童保育）」が 54.5%で最も高く、次いで「自宅」が 48.9%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 46.6%となっています。

図　低学年のうち、放課後に過ごさせたい場所



■低学年のうち、放課後に過ごさせたい１週あたり日数

低学年のうち、放課後に過ごさせたい 1 週あたり日数は、「1.自宅」では「2 日」が 27.9%で最も高く、次いで「1 日」、「3 日」、「4 日」、「5 日以上」がいずれも 16.3%となっています。

「2.ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」では「1 日」が 62.5%で最も高く、次いで「3 日」と「5 日以上」がともに 12.5%となっています。

「3.放課後児童会（学童保育）」では「5 日以上」が 66.7%で最も高く約 7 割を占めています。次いで「4 日」が 12.5%となっています。

「4.放課後子ども教室（のびのびルーム）」では「1 日」が 45.5%で最も高く、次いで「5 日以上」が 18.2%、「2 日」と「3 日」がともに 9.1%となっています。

「5.習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」では「1 日」が 51.2%で最も高く、次いで「2 日」が 29.3%、「3 日」が 12.2%となっています。

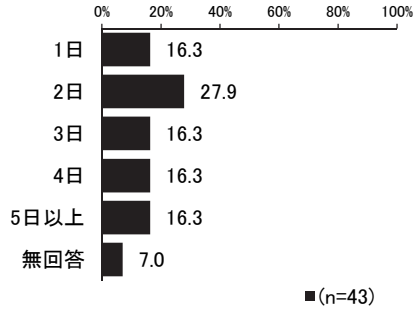
「6.ファミリー・サポート・センター」では「1 日」と「5 日以上」がともに 50.0%となっています。

「7.放課後等デイサービス」では「1 日」と「3 日」がともに 50.0%となっています。

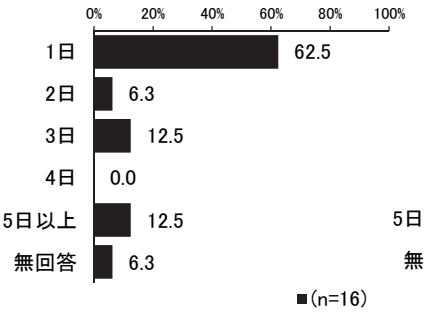
「8.その他（公園など）」では「2 日」が 40.0%で最も高く、次いで「1 日」と「3 日」がともに 30.0%となっています。

図　低学年のうち、放課後に過ごさせたい１週あたり日数

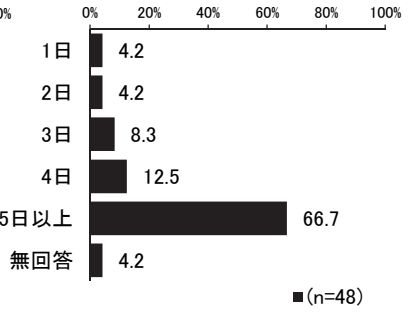
1. 自宅



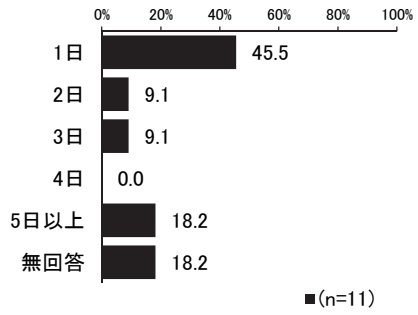
2. ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家



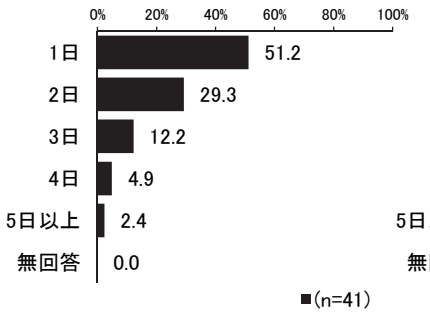
3. 放課後児童会（学童保育）



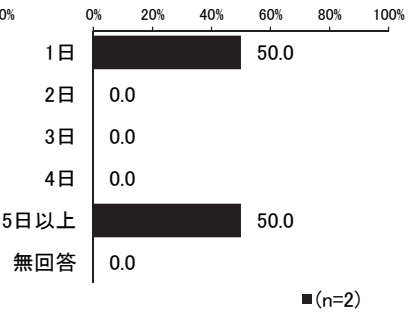
4. 放課後子ども教室（のびのびルーム）



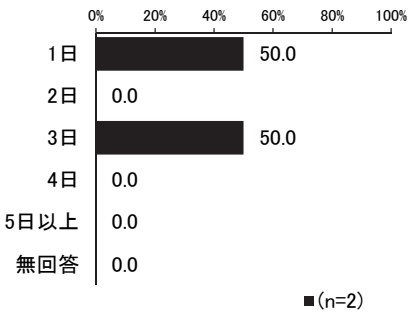
5. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）



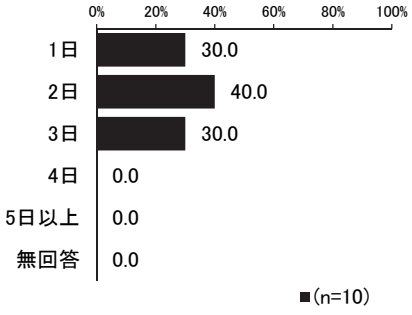
6. ファミリー・サポート・センター



7. 放課後等デイサービス



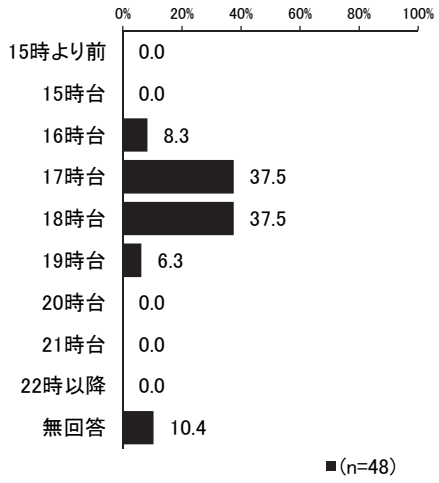
8. その他（公園など）



■放課後児童会（学童保育）の希望終了時間

図　低学年時の放課後児童会（学童保育）の希望終了時間

低学年時の放課後児童会（学童保育）の希望終了時間は、「17 時台」と「18 時台」がともに 37.5%で最も高く、次いで「16 時台」が 8.3%、「19 時台」が 6.3%となっています。

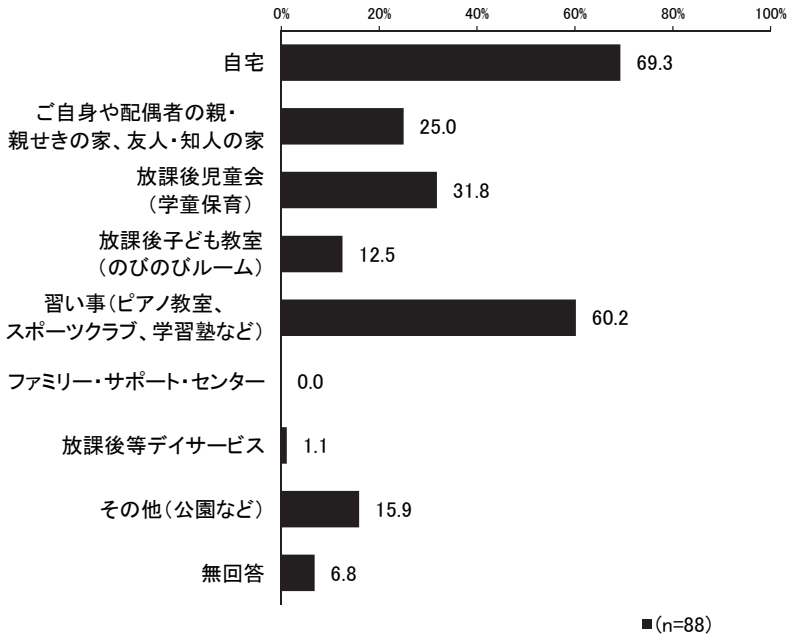


（２）高学年になったら放課後に過ごさせたい場所

問 23　小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する１週間の利用日数について、（　　）内に具体的な数字を入れてください。「放課後児童会（学童保育）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（　　）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように 24 時間制で記入してください。※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

高学年になったら放課後に過ごさせたい場所は、「自宅」が 69.3％で約 7 割を占めています。次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 60.2％、「放課後児童会（学童保育）」が 31.8％となっています。

図　高学年になったら放課後に過ごさせたい場所



■高学年のうち、放課後に過ごさせたい１週あたり日数

高学年のうち、放課後に過ごさせたい 1 週あたり日数は、「1.自宅」では「5 日以上」が 26.2%で最も高く、次いで「2 日」が 24.6%、「3 日」が 16.4%、「1 日」が 14.8%となっています。

「2.ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」では「1 日」が 50.0%で最も高く、次いで「2 日」が 18.2%となっています。

「3.放課後児童会（学童保育）」では「5 日以上」が 42.9%で最も高く、次いで「3 日」が 17.9%、「2 日」と「4 日」がともに 7.1%となっています。

「4.放課後子ども教室（のびのびルーム）」では「1 日」が 54.5%で最も高い。

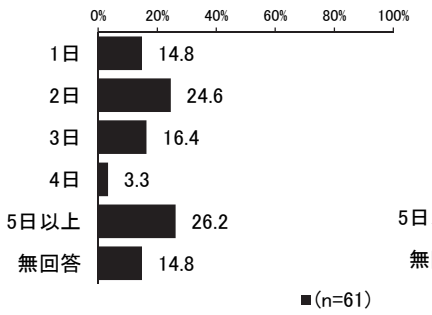
「5.習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」では「2 日」が 58.5%で最も高く、次いで「3 日」が 18.9%、「1 日」が 13.2%となっています。

「7.放課後等デイサービス」では「2 日」が 100.0%となっています。

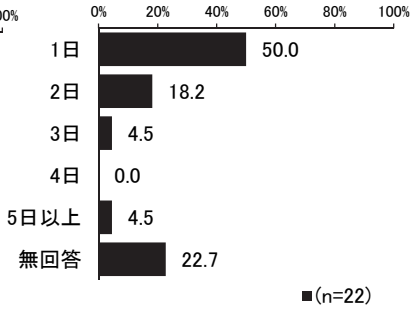
「8.その他（公園など）」は「2 日」が 42.9%で最も高く、次いで「3 日」が 35.7%、「1 日」が 14.3%となっています。

図　高学年のうち、放課後に過ごさせたい１週あたり日数

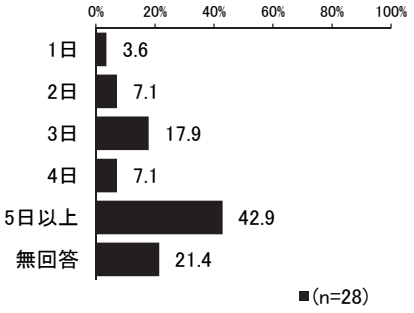
1. 自宅



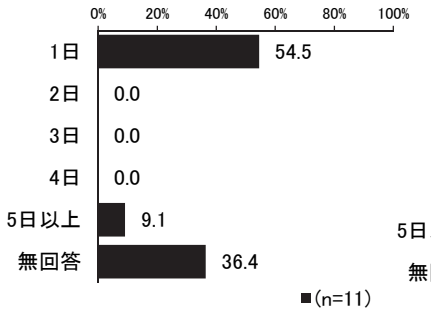
2. ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家



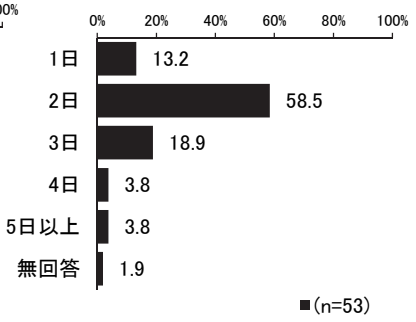
3. 放課後児童会（学童保育）



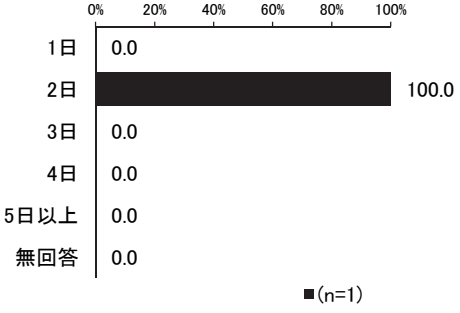
4. 放課後子ども教室（のびのびルーム）



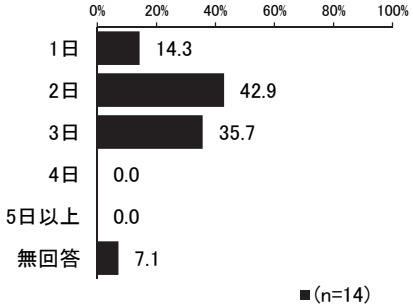
5. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）



7. 放課後等デイサービス



8. その他（公園など）

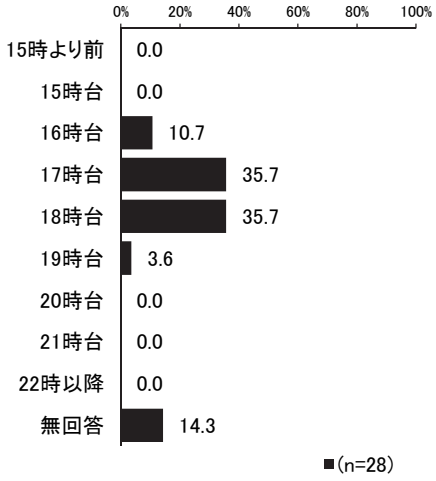


※「6.ファミリー・サポート・センター」は回答がないためグラフを省略しています。

■放課後児童会（学童保育）の希望終了時間

図　高学年時の放課後児童会（学童保育）の希望終了時間

高学年時の放課後児童会（学童保育）の希望終了時間は、「17 時台」と「18 時台」がともに 35.7%で最も高く、次いで「16 時台」が 10.7%となっています。



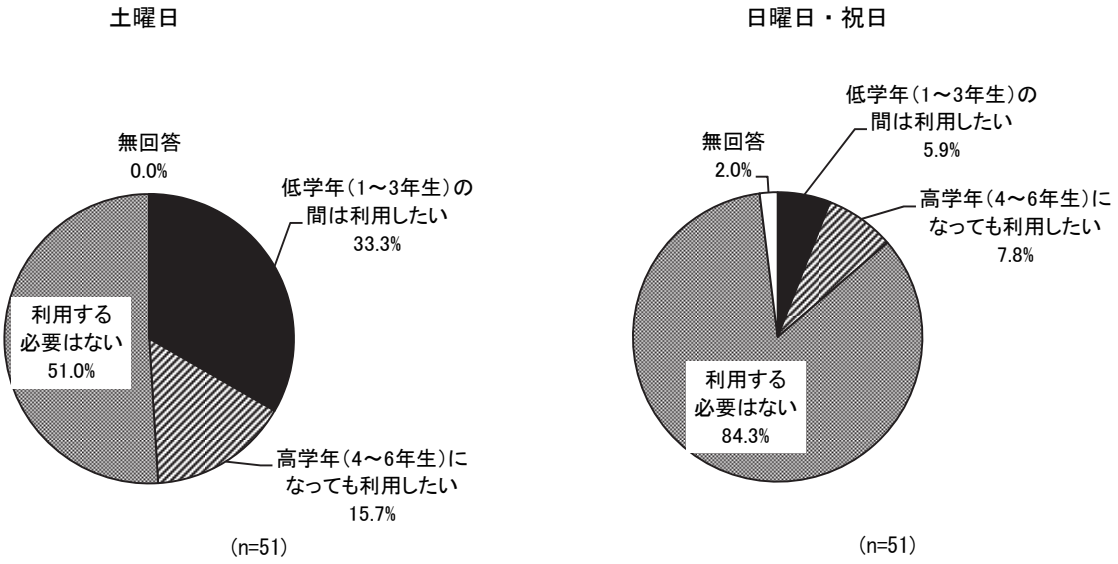
（３）土曜日、日曜日・祝日の放課後児童会利用意向

問 24　土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童会（学童保育）の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、（　　）内に（9:00～18:00）のように 24 時間制で入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

土曜日、日曜日・祝日の放課後児童会利用意向は、土曜日では「利用する必要はない」が 51.0%で最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 33.3%、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 15.7%となっています。

「利用する必要はない」が 84.3%で最も高く、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 7.8%、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 5.9%となっています。

図　土曜日、日曜日・祝日の放課後児童会利用意向



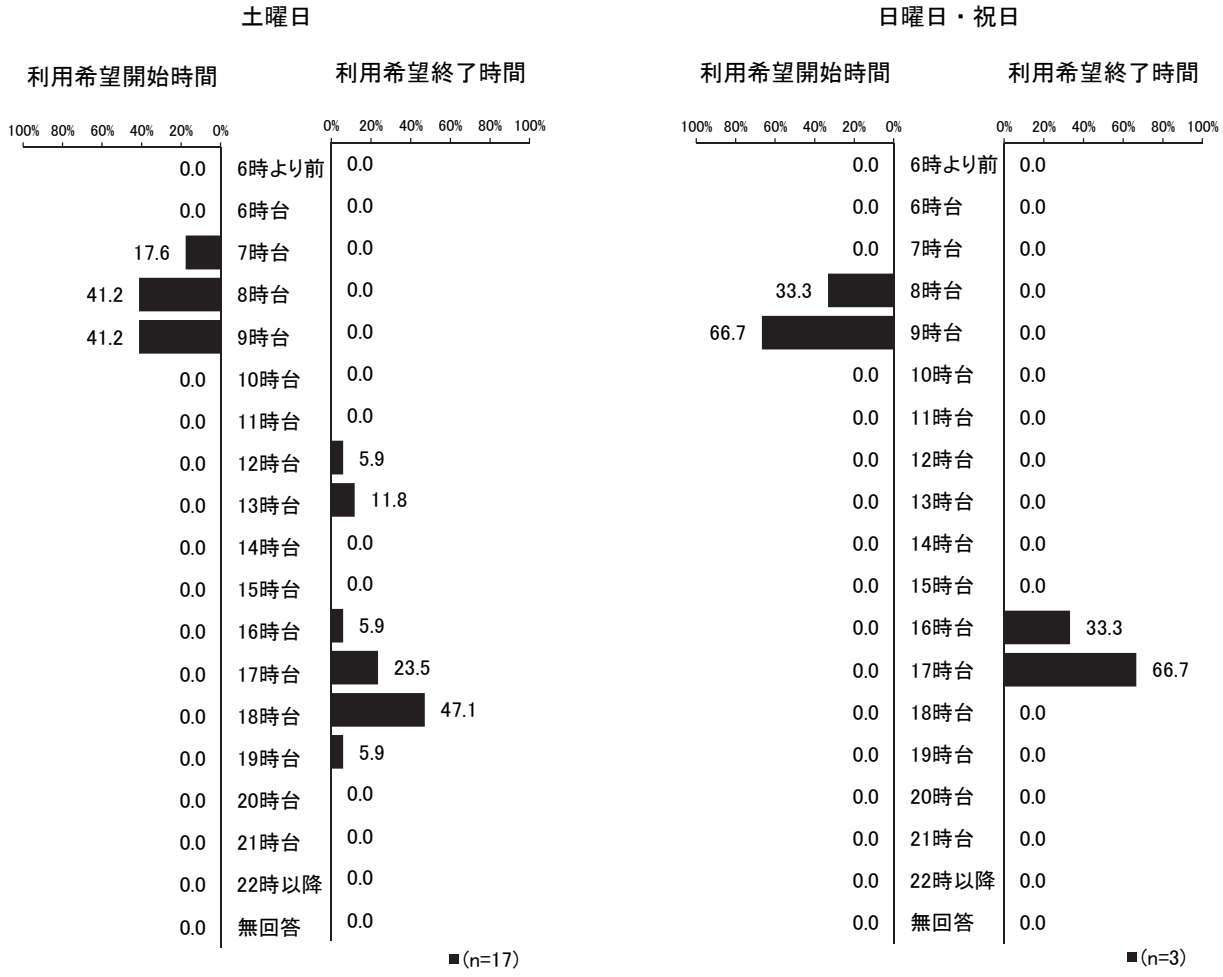
■低学年までの利用を希望する人の希望時間帯

低学年までの利用を希望する人の希望時間帯は、土曜日では利用希望開始時間が「8 時台」と「9 時台」がともに 41.2%で最も高く、次いで「7 時台」が 17.6%となっています。

利用希望終了時間は「18 時台」が 47.1%で最も高く、次いで「17 時台」が 23.5%、「13 時台」が 11.8%の順となっています。

日曜日・祝日では、利用希望開始時間は「9 時台」が 66.7%と最も高く、次いで「8 時台」が 33.3%となっています。利用希望終了時間は「17 時台」が 66.7%で最も高く、次いで「16 時台」が 33.3%となっています。

図　低学年までの利用を希望する人の希望時間帯



■高学年までの利用を希望する人の希望時間帯

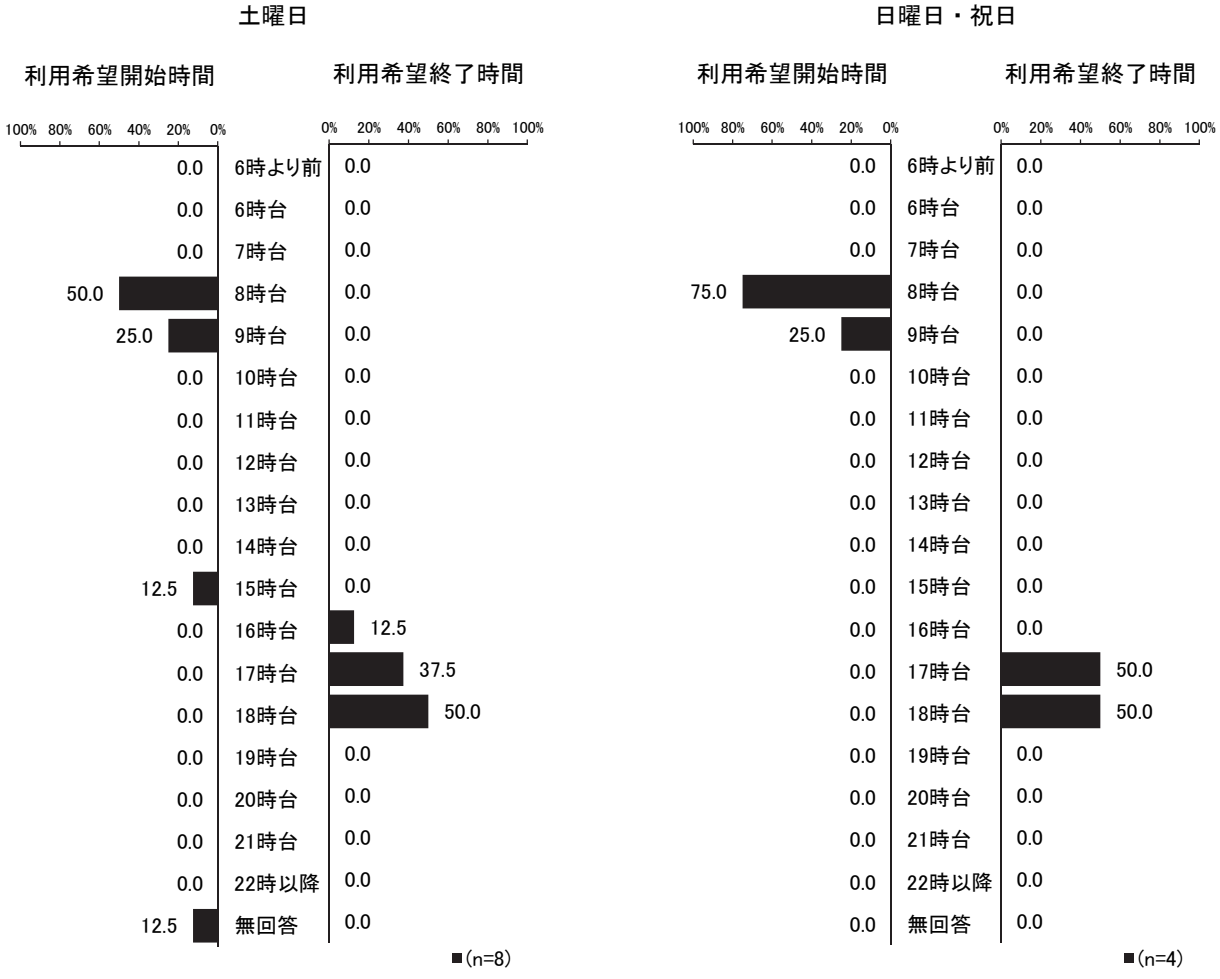
高学年までの利用を希望する人の希望時間帯は、土曜日では利用希望開始時間は「8 時台」が 50.0%で最も高く、次いで「9 時台」が 25.0%、「15 時台」が 12.5%となっています。

利用希望終了時間は「18 時台」が 50.0%で最も高く、次いで「17 時台」が 37.5%、「16 時台」が 12.5%となっています。

日曜日・祝日では、利用希望開始時間は「8 時台」が 75.0%で最も高く、次いで「9 時台」が 25.0%となっています。

利用希望終了時間は「17 時台」と「18 時台」がともに 50.0%となっています。

図　高学年までの利用を希望する人の希望時間帯

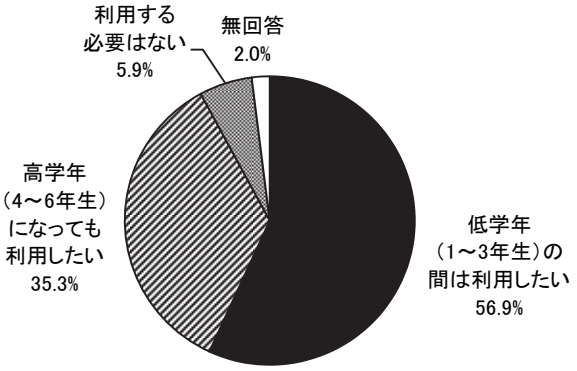


（４）長期休み中における放課後児童会利用意向

問 25　お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休み中の放課後児童会（学童保育）の利用希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、（　　）内に（9:00～18:00）のように 24 時間制で入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

長期休み中における放課後児童会利用意向は、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 56.9%で最も高く、次いで「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 35.3%、「利用する必要はない」が 5.9%となっています。

図　長期休み中における放課後児童会利用意向



(n=51)

■長期休み中の利用を希望する人の希望時間帯

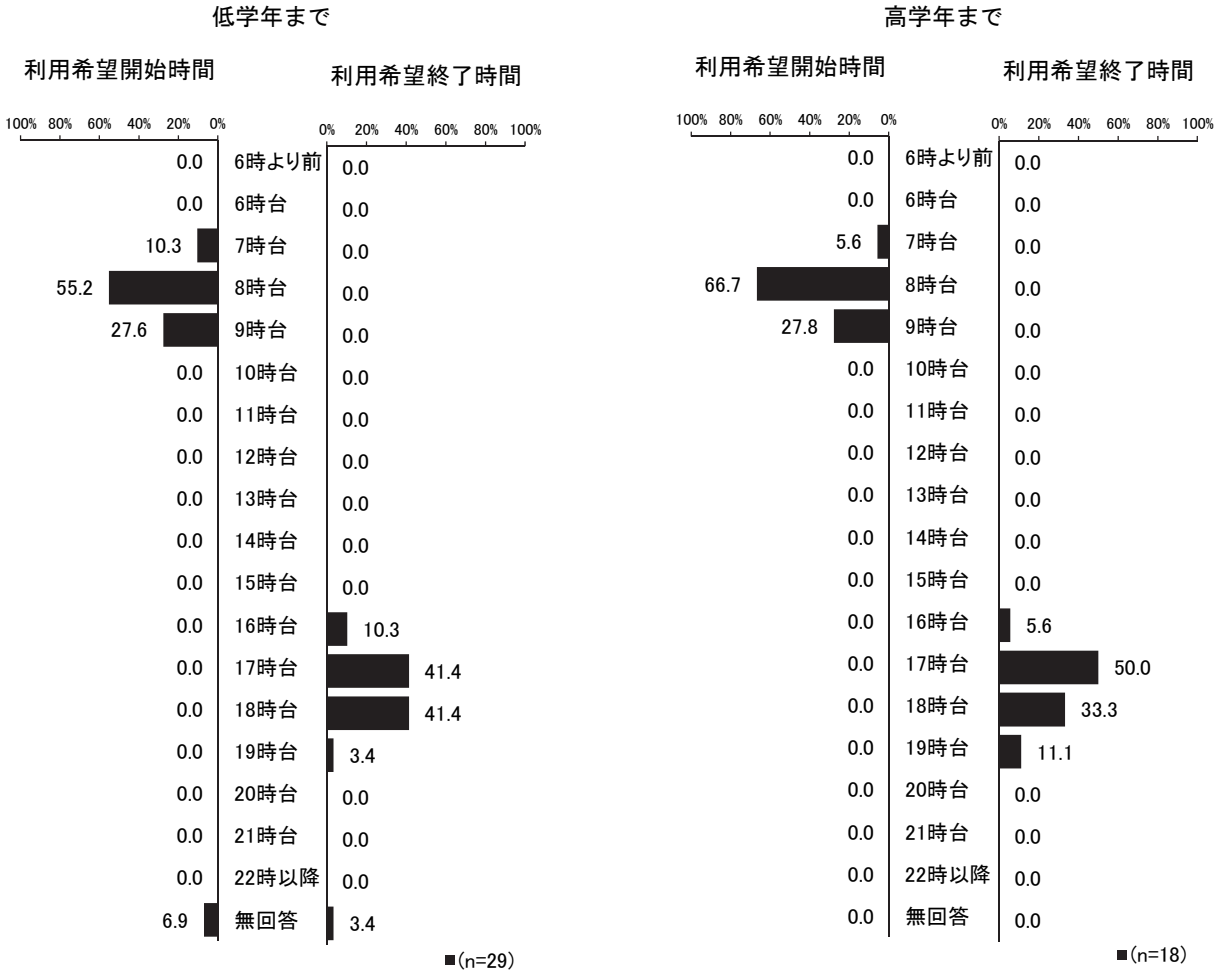
長期休み中の利用を希望する人の希望時間帯は、低学年までででは、利用希望開始時間は「8 時台」が 55.2%で最も高く、次いで「9 時台」が 27.6%、「7 時台」が 10.3%となっています。

利用希望終了時間は、「17 時台」と「18 時台」がともに 41.4%で最も高く、次いで「16 時台」が 10.3%となっています。

高学年までででは、利用希望開始時間は「8 時台」が 66.7%で最も高く、次いで「9 時台」が 27.8%となっています。

利用希望終了時間は、「17 時台」が 50.0%で最も高く、次いで「18 時台」が 33.3%、「19 時台」が 11.1%となっています。

図　長期休み中の利用を希望する人の希望時間帯



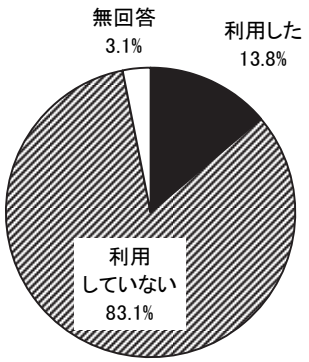
8. 一時預かりサービスなどの利用について

（１）一時預かりサービスの利用状況

問 26　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、「不定期に」子どもを預けるサービスを利用したことがありますか。（幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）利用した場合は、利用したサービスの番号すべてに○をつけ、利用したサービスごとに１年間のおおよその利用日数を記入し、年間合計の（　　）内についても記入してください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

図　一時預かりサービスの利用状況

一時預かりサービスの利用状況は、「利用した」が 13.8%、「利用していない」が 83.1%となっています。

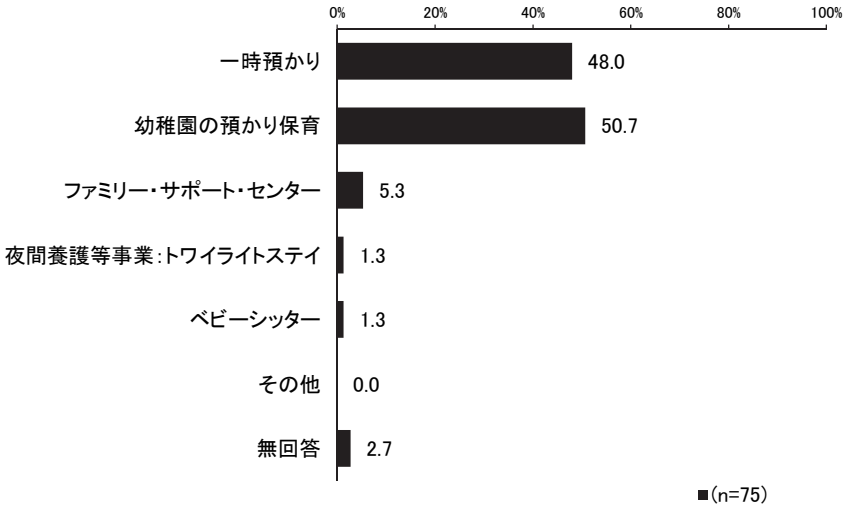


(n=544)

■利用した一時預かりサービス

一時預かりサービスは、「幼稚園の預かり保育（幼稚園に通う子どもを対象に、通常の就園時間を延長して預かるサービス)」が 50.7%で最も高く、次いで「一時預かり（不定期な仕事や私用などの理由で、保育施設などで一時的に子どもを保育するサービス)」が 48.0%となっています。

図　一時預かりサービス



■(n=75)

■一時預かりサービスの利用日数

一時預かりサービスの利用日数は、「1.一時預かり」では「1 日～2 日」が 50.0%で半数を占め、「31 日以上」が 13.9%、「6 日～10 日」と「11 日～20 日」がともに 11.1%となっています。

「2.幼稚園の預かり保育」では「3 日～5 日」が 26.3%で最も高く、次いで「1 日～2 日」と「6 日～10 日」がともに 21.1%となっています。

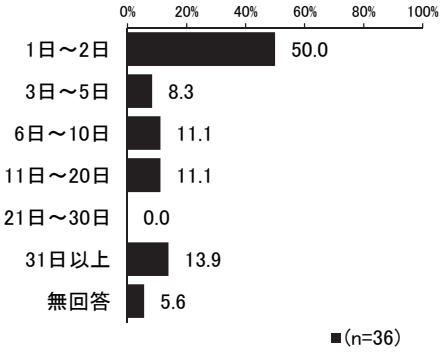
「3.ファミリー・サポート・センター」では「1 日～2 日」、「3 日～5 日」、「11 日～20 日」、「31 日以上」がいずれも 25.0%となっています。

「4.夜間養護等事業：トワイライトステイ」では「11 日～20 日」が 100.0%となっています。

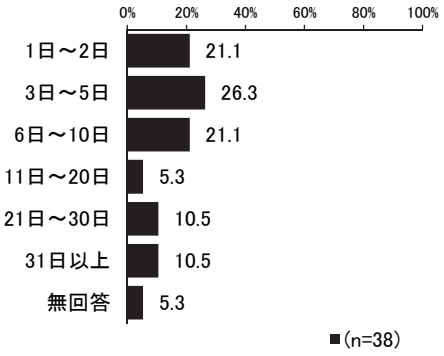
「年間合計」では、「1 日～2 日」が 33.3%で最も高く、次いで「3 日～5 日」が 18.7%、「31 日以上」が 13.3%、「6 日～10 日」と「11 日～20 日」がともに 12.0%となっています。

図　一時預かりサービスの利用日数

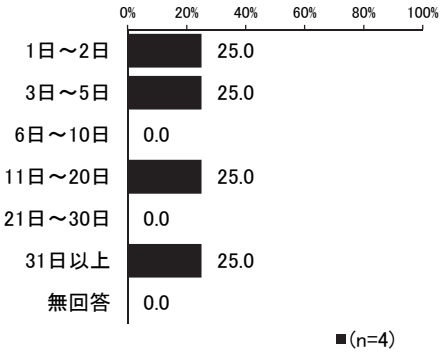
1. 一時預かり



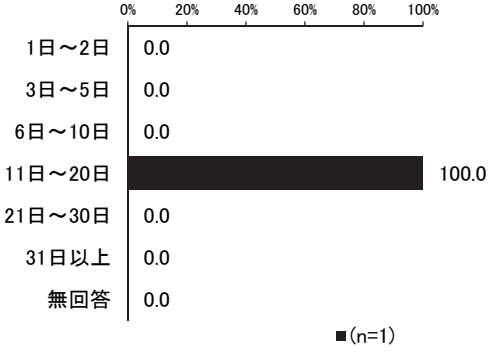
2. 幼稚園の預かり保育



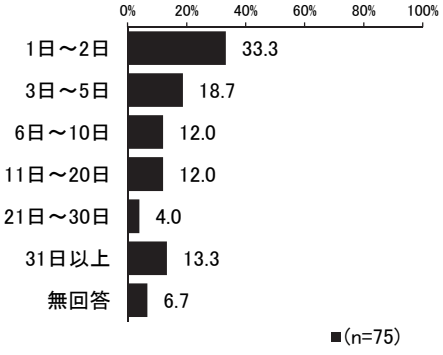
3. ファミリー・サポート・センター



4. 夜間養護等事業：
トワイライトステイ



年間合計



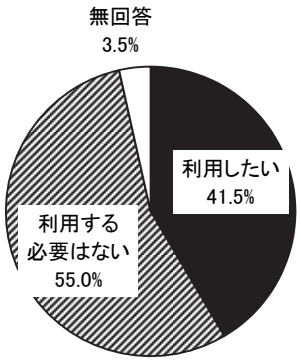
※「5.ベビーシッター」「6.その他」は回答がないためグラフを省略しています。

（２）一時預かりサービスの利用意向

問 27　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、保育施設などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。（幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる利用したい目的の番号すべてに○をつけ、利用したい目的ごとに１年間のおおよその利用日数を記入し、年間合計の（　　）内についても記入してください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

一時預かりサービスの利用意向は、「利用したい」が 41.5%、「利用する必要はない」が 55.0%となっています。

図　一時預かりサービスの利用意向

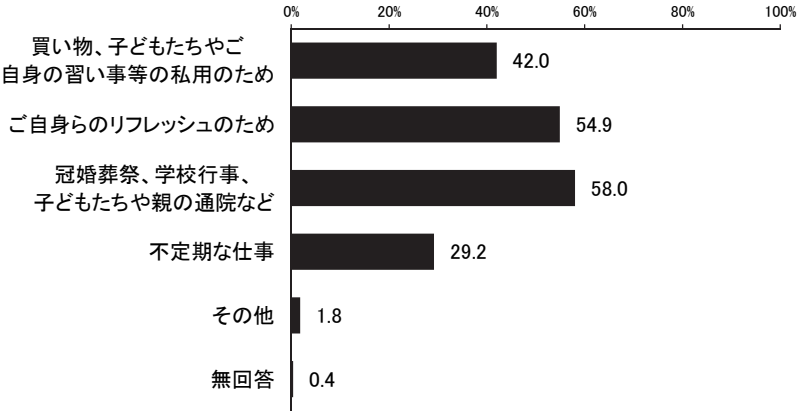


(n=544)

■一時預かりサービスを利用したい目的

一時預かりサービスを利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が 58.0%で最も高く、次いで「ご自身らのリフレッシュのため」が 54.9%、「買い物、子どもたちやご自身の習い事等の私用のため」が 42.0%となっています。

図　一時預かりサービスを利用したい目的



■(n=226)

■一時預かりサービスを利用したい目的別日数

一時預かりサービスを利用したい目的別日数は、「1.買い物、子どもたちやご自身の習い事等の私用のため」では、「11 日～20 日」が 22.1%で最も高く、次いで「3 日～5 日」が 21.1%、「6 日～10 日」が 18.9%、「1 日～2 日」が 14.7%となっています。

「2.ご自身らのリフレッシュのため」では「3 日～5 日」が 27.4%で最も高く、次いで「11 日～20 日」が 25.8%、「1 日～2 日」が 19.4%、「6 日～10 日」が 17.7%となっています。

「3.冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」では、「3 日～5 日」が 37.4%で最も高く、「1 日～2 日」が 19.1%、「6 日～10 日」が 18.3%となっています。

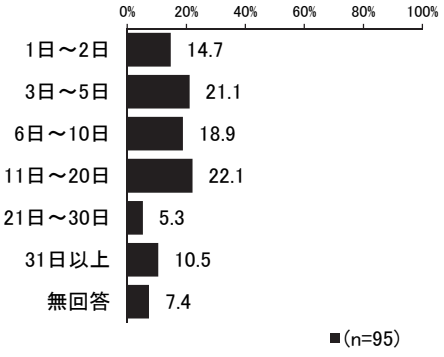
「4.不定期な仕事」では、「3 日～5 日」が 27.3%で最も高く、次いで「11 日～20 日」が 15.2%、「1 日～2 日」と「31 日以上」がともに 12.1%、「6 日～10 日」が 10.6%、「21 日～30 日」が 7.6%となっています。

「5.その他」では、「6 日～10 日」が 50.0%で最も高く、次いで「31 日以上」が 25.0%、「1 日～2 日」、「3 日～5 日」、「11 日～20 日」、「21 日～30 日」がいずれも 0.0%となっています。

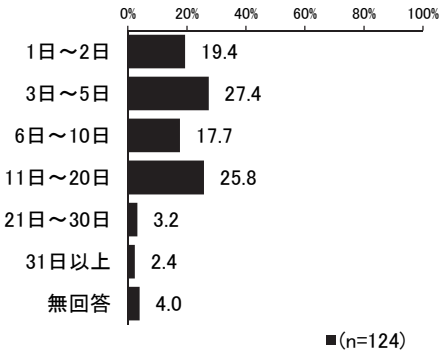
「年間合計」では、「6 日～10 日」が 19.9%で最も高く、次いで「11 日～20 日」が 19.5%、「3 日～5 日」が 18.1%、「31 日以上」が 16.4%となっています。

図　一時預かりサービスを利用したい目的別日数

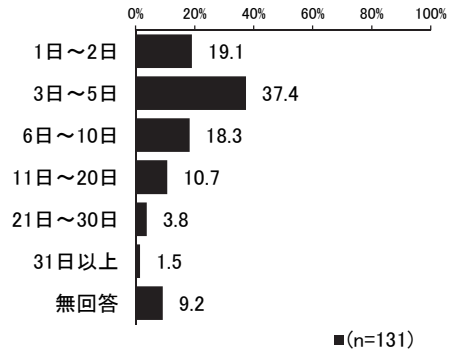
1. 買い物､子どもたちやご自身の習い事等の私用のため



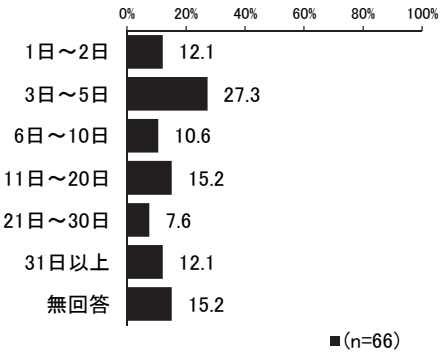
2. ご自身らのリフレッシュのため



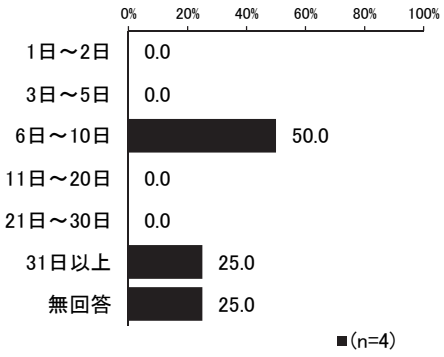
3. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など



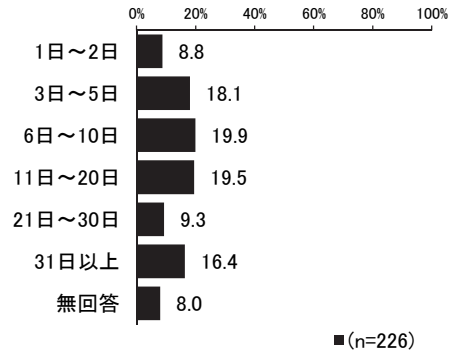
4. 不定期な仕事



5. その他



年間合計

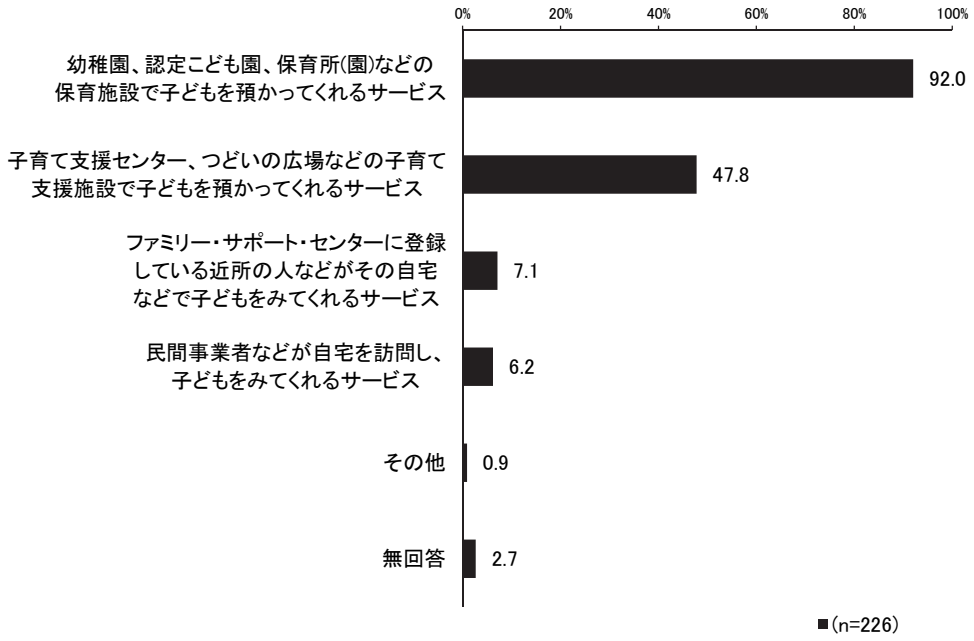


（３）一時預かりで望ましいと思うサービスの形

問 27-1　問 27 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

一時預かりで望ましいと思うサービスの形は「幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの保育施設で子どもを預かってくれるサービス」が 92.0%で多数を占め、「子育て支援センター、つどいの広場などの子育て支援施設で子どもを預かってくれるサービス」が 47.8%となっています。

図　一時預かりで望ましいと思うサービスの形

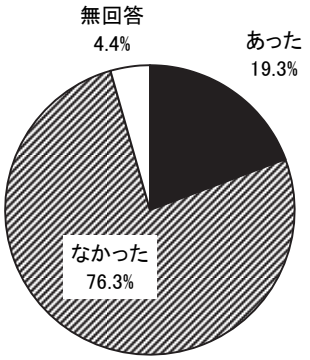


（４）家族以外に子どもを泊りがけで預けた経験

問 28　この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、泊まりがけで家族以外の誰かにみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、あてはまる対処方法の番号すべてに○をつけ、その対処方法ごとに１年間のおおよその利用日数を記入し、年間合計の（　　）内についても記入してください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

図　この一年で家族以外に子どもを泊りがけで預けた経験

この一年で家族以外に子どもを泊りがけで預けた経験は、「あった」が 19.3%、「なかった」が 76.3%となっています。

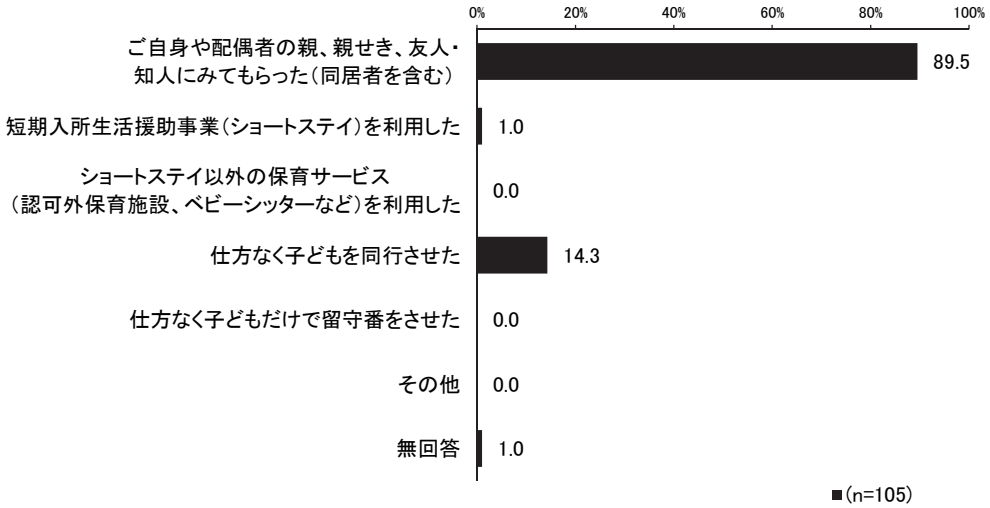


(n=544)

■泊まりがけのときの対処方法

泊まりがけのときの対処方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居者を含む）」が 89.5%で約 9 割を占めています。「仕方なく子どもを同行させた」は 14.3%となっています。

図　泊まりがけのときの対処方法



■(n=105)

■泊まりがけのときの対処方法の日数

泊まりがけのときの対処方法の日数は、「1.ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居者を含む）」では「1 日～2 日」が 38.3%で最も高く、次いで「3 日～5 日」が 22.3%、「6 日～10 日」が 17.0%となっています。

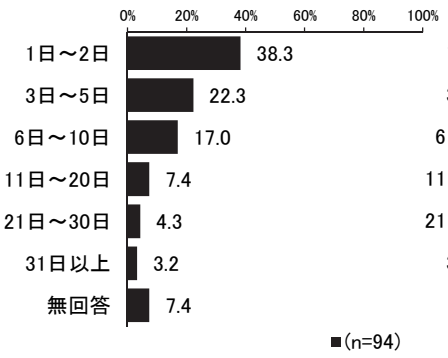
「2.短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」の回答者は 1 人で、「6 日～10 日」となっています。

「4.仕方なく子どもを同行させた」では「1 日～2 日」が 53.3%で半数強を占め、「3 日～5 日」が 13.3%、「21 日～30 日」が 6.7%となっています。

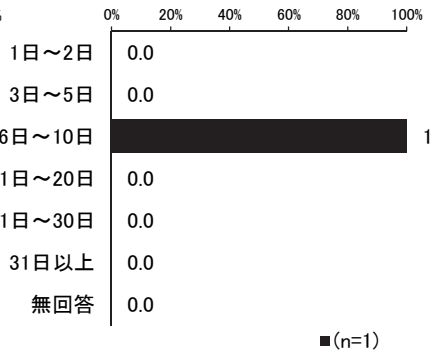
「年間合計」では「1 日～2 日」が 38.1%で最も高く、「3 日～5 日」が 19.0%、「6 日～10 日」が 18.1%となっています。

図　泊まりがけのときの対処方法の日数

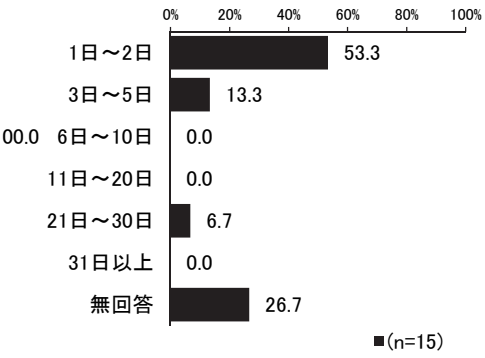
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居者を含む）



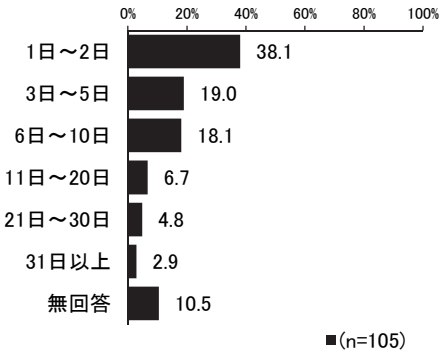
2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した



4. 仕方なく子どもを同行させた



年間合計



※「3.ショートステイ以外の保育サービス（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した」「5.仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「6.その他」は、回答がないためグラフを省略しています。

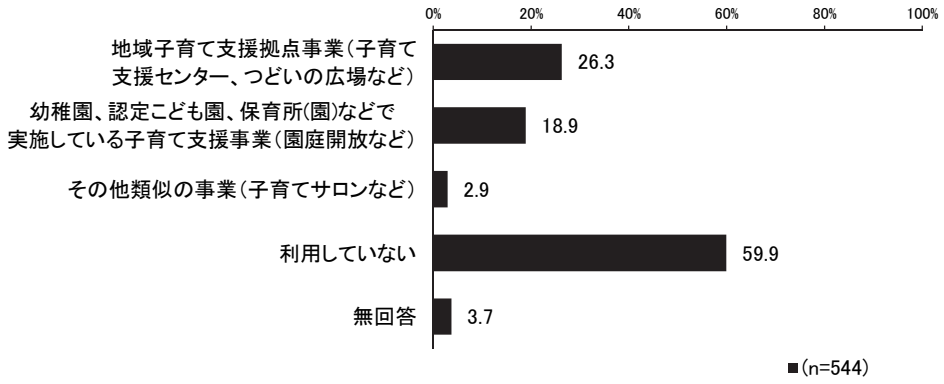
9. 地域の子育て支援サービスの利用状況について

（1）地域の子育て支援サービスの利用状況

問 29　現在、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、つどいの広場など）を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、（　　）内に具体的な数字を入れてください。

「利用していない」が 59.9%で約 6 割を占め、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、つどいの広場など）」が 26.3%、「幼稚園、認定こども園、保育所(園)などで実施している子育て支援事業（園庭開放など）」が 18.9%の順となっています。

図　地域の子育て支援サービスの利用状況



■地域の子育て支援サービスの利用日数

地域の子育て支援サービスの利用日数は、「1.地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、つどいの広場など)」では、「月 1 日」が 35.7%で最も高く、次いで「月 4 日・週 1 日」が 21.7%、「月 2 日」が 14.0%となっています。

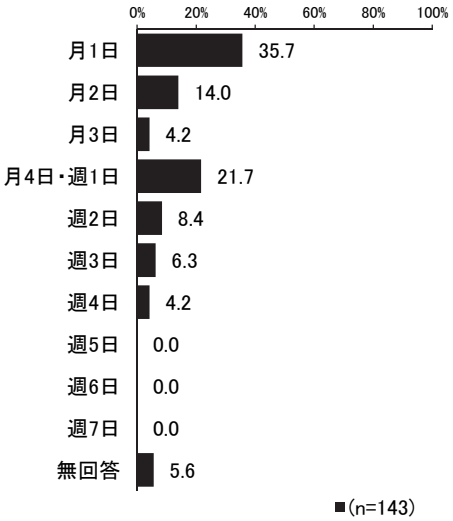
「2.幼稚園、認定こども園、保育所(園)などで実施している子育て支援事業（園庭開放など)」では、「月 1 日」が 46.6%で最も高く、次いで「月 4 日・週 1 日」が 16.5%、「月 2 日」が 12.6%となっています。

「3.その他類似の事業（子育てサロンなど)」では、「月 1 日」が 56.3%で最も高く、次いで「月 2 日」が 12.5%、「月 4 日・週 1 日」と「週 3 日」がともに 6.3%となっています。

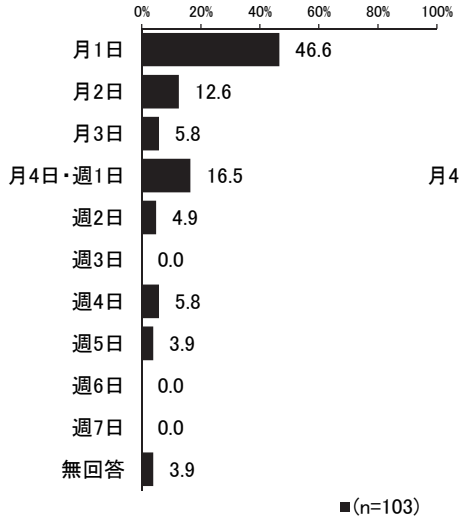
地域の子育て支援サービスは、どの事業でも月 1 日利用する人が最も高くなっています。

図　地域の子育て支援サービスの利用日数

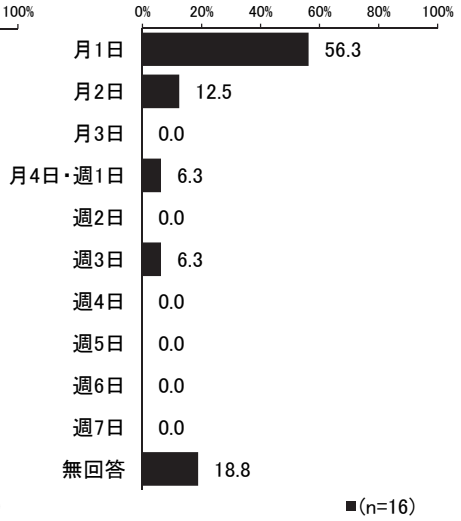
1. 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター、つどいの広場など)



2. 幼稚園、認定こども園、保育所(園)などで実施している子育て支援事業（園庭開放など）



3. その他類似の事業(子育てサロンなど)

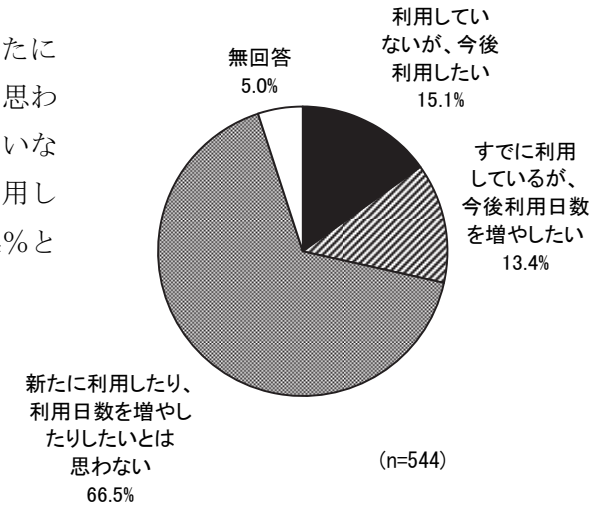


（２）地域子育て支援拠点事業の利用意向

問 30　地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は（　　）内に具体的な数字を入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生する場合があります。

図　地域子育て支援拠点事業の利用意向

地域子育て支援拠点事業の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が 66.5%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 15.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 13.4%となっています。



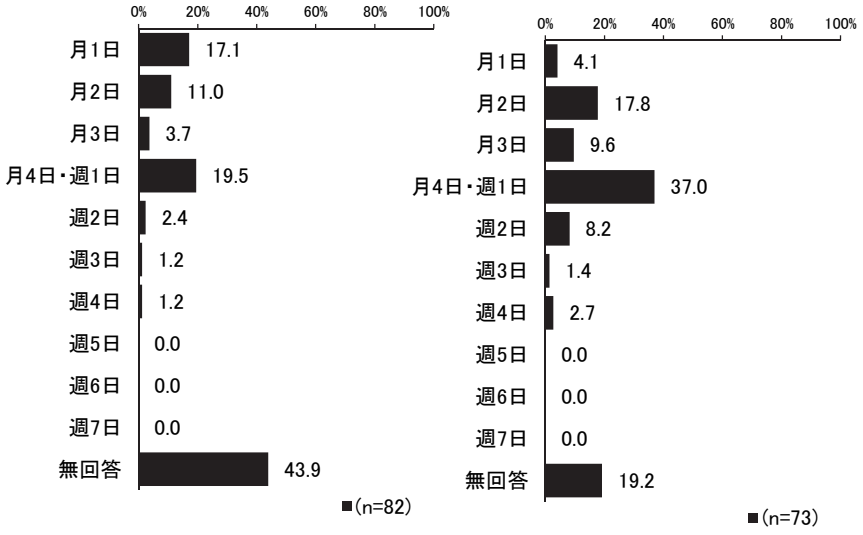
■地域子育て支援拠点事業の利用意向日数

地域子育て支援拠点事業の利用意向日数は、「1.利用していないが、今後利用したい」では、「月 4 日・週 1 日」が 19.5%で最も高く、次いで「月 1 日」が 17.1%、「月 2 日」が 11.0%となっています。

「2.すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」では、「月 4 日・週 1 日」が 37.0%で最も高く、次いで「月 2 日」が 17.8%、「月 3 日」が 9.6%となっています。

図　地域子育て支援拠点事業の利用意向日数

1. 利用していないが、今後利用したい　2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

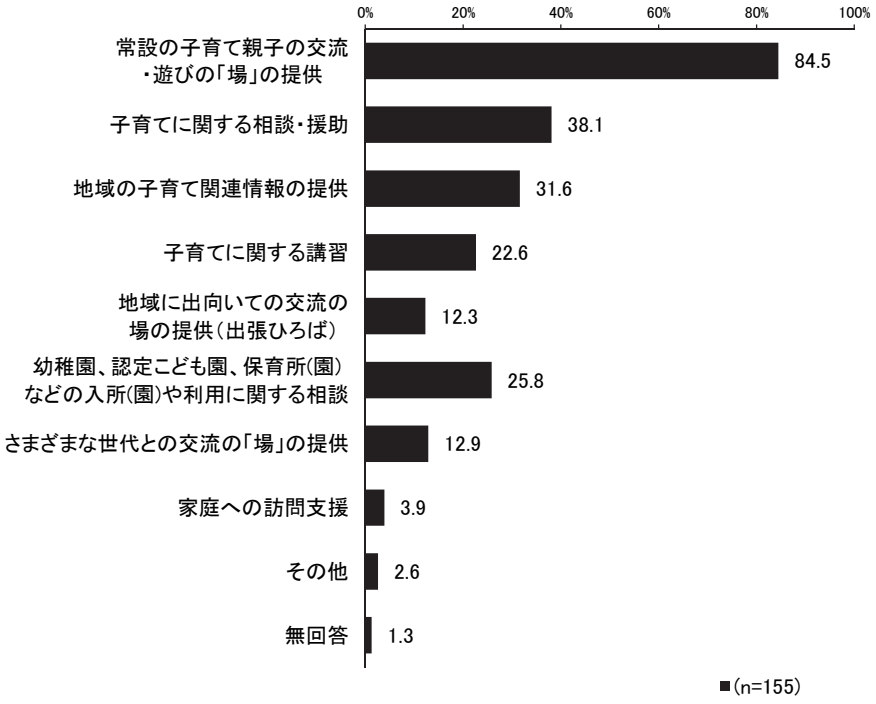


（３）地域子育て支援拠点事業で利用したいサービス

問 30-1　地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスに３つまで○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業で利用したいサービスは、「常設の子育て親子の交流・遊びの『場』の提供」が 84.5%で 8 割強を占めています。次いで「子育てに関する相談・援助」が 38.1%、「地域の子育て関連情報の提供」が 31.6%となっています。

図　地域子育て支援拠点事業で利用したいサービス



（４）施設やサービスの認知・利用状況、利用意向

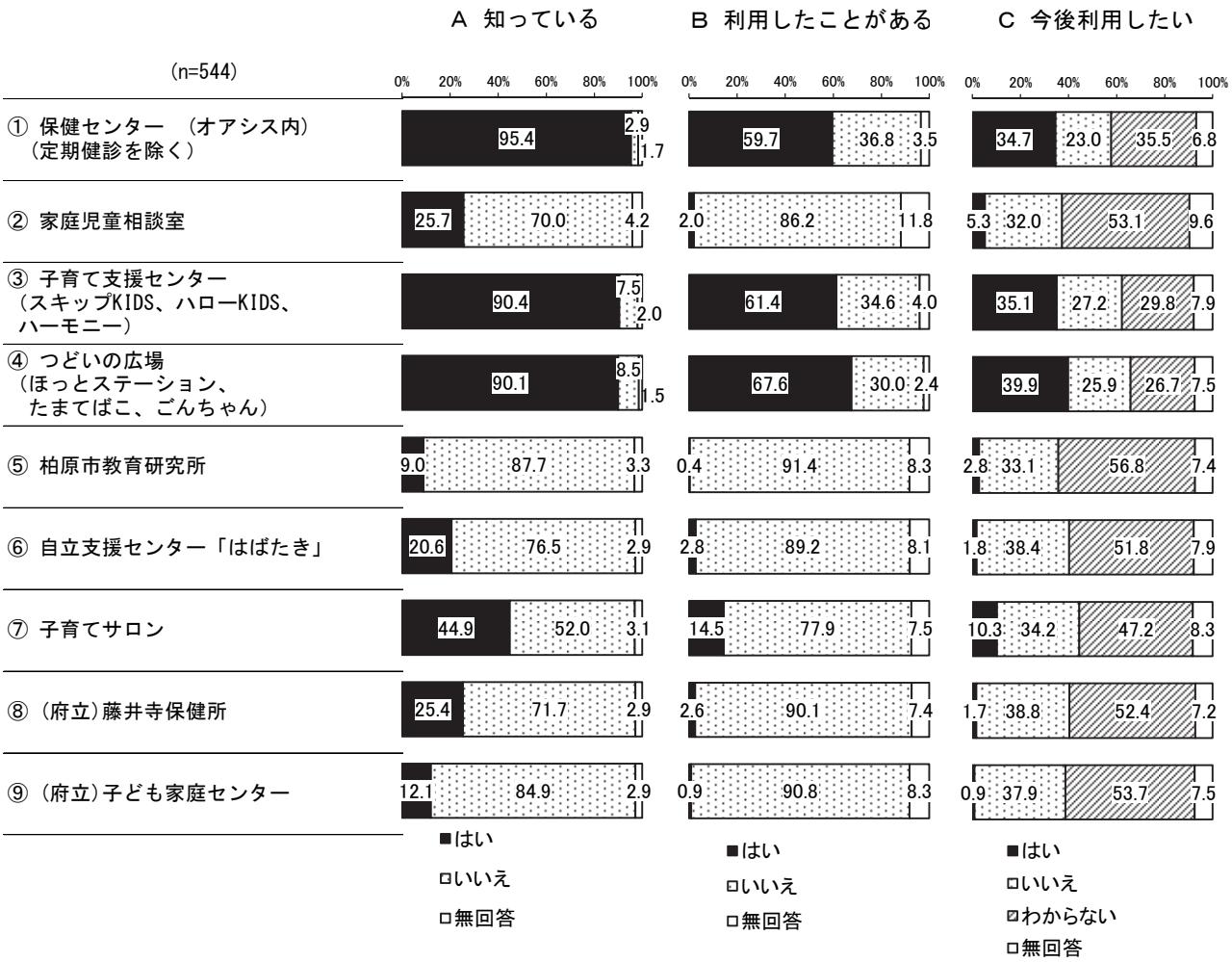
問 31　下記の施設やサービスを知っていたり、利用したりしたことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

■施設の認知・利用状況、利用意向

施設の認知度は「① 保健センター(オアシス内)」「③ 子育て支援センター（スキップ KIDS、ハローKIDS、ハーモニー)」「④ つどいの広場（ほっとステーション、たまてばこ、ごんちゃん)」がいずれも 9 割以上と高く、次いで、「⑦ 子育てサロン」が 44.9%となっています。

利用状況、利用意向についても、「① 保健センター(オアシス内)」「③ 子育て支援センター（スキップ KIDS、ハローKIDS、ハーモニー)」「④ つどいの広場（ほっとステーション、たまてばこ、ごんちゃん)」の割合が高くなっています。

図　施設の認知・利用状況、利用意向



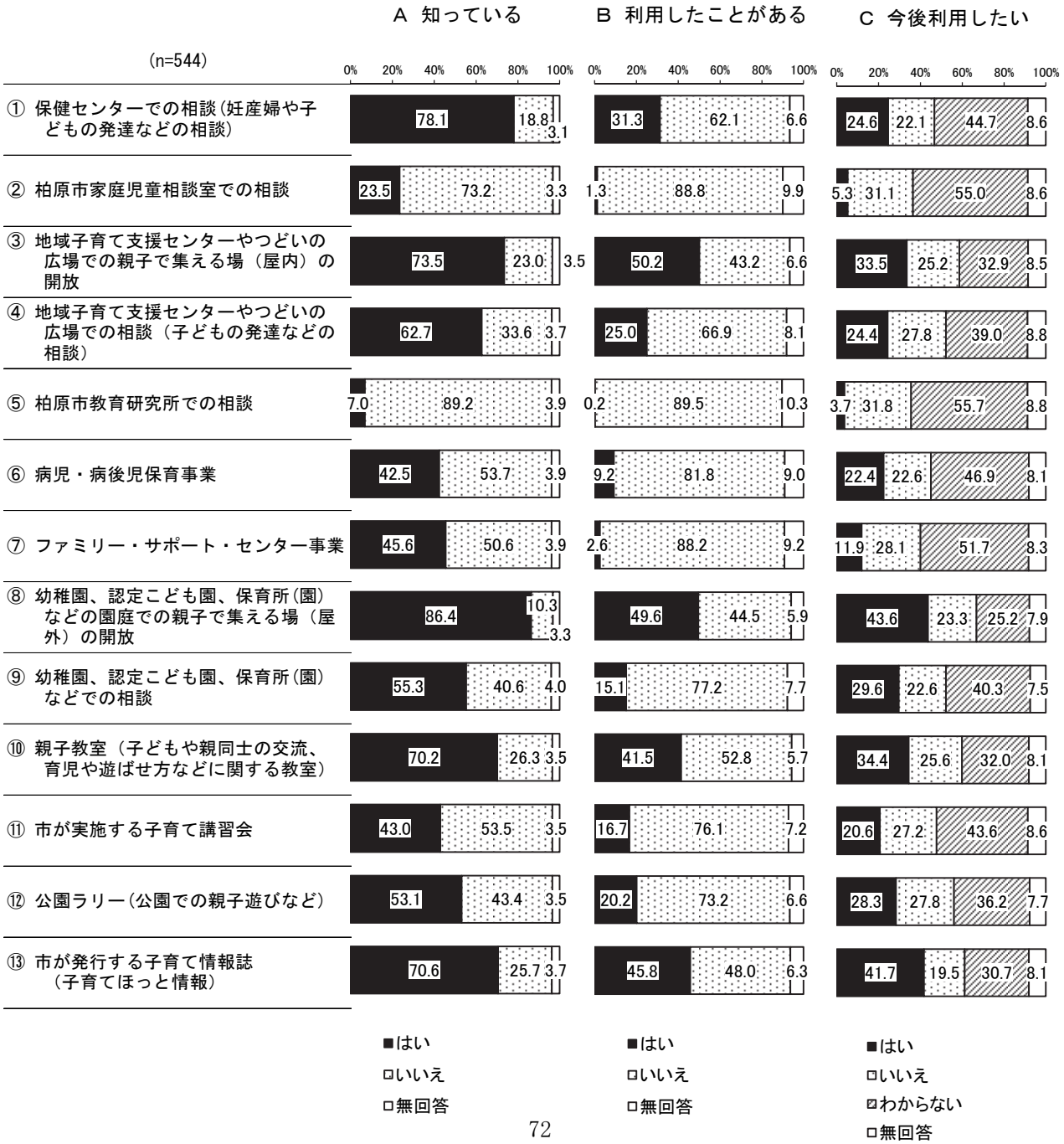
■サービスの認知・利用状況、利用意向

サービスの認知度は、「⑧ 幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの園庭での親子で集える場（屋外）の開放」が 86.4%と高く、また、「① 保健センターでの相談 （妊産婦や子どもの発達などの相談)」「③ 地域子育て支援センターやつどいの広場での親子で集える場（屋内）の開放」「⑩ 親子教室（子どもや親同士の交流、育児や遊ばせ方などに関する教室)」「⑬ 市が発行する子育て情報誌（子育てほっと情報)」が 70%以上となっています。

利用状況は、「③ 地域子育て支援センターやつどいの広場での親子で集える場（屋内）の開放」と「⑧ 幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの園庭での親子で集える場（屋外）の開放」がそれぞれ約 5 割となっています。

利用意向は、「⑧ 幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの園庭での親子で集える場（屋外）の開放」と「⑬ 市が発行する子育て情報誌（子育てほっと情報)」が 4 割を超えています。

図　サービスの認知・利用状況、利用意向



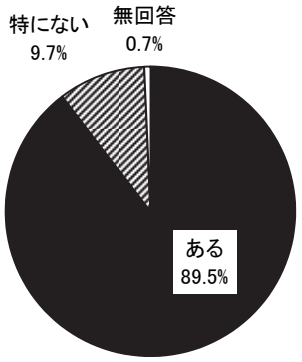
10. 市役所などへの要望について

（１）子育て支援策への要望

問 32　柏原市の子育て支援策に対し、要望はありますか。ある場合、どのような子育て支援策を望みますか。あてはまる番号に５つまで○をつけてください。

子育て支援策への要望の有無は、「ある」が 89.5%で約 9 割を占め、「特にない」が 9.7%となっています。

図　子育て支援策への要望の有無



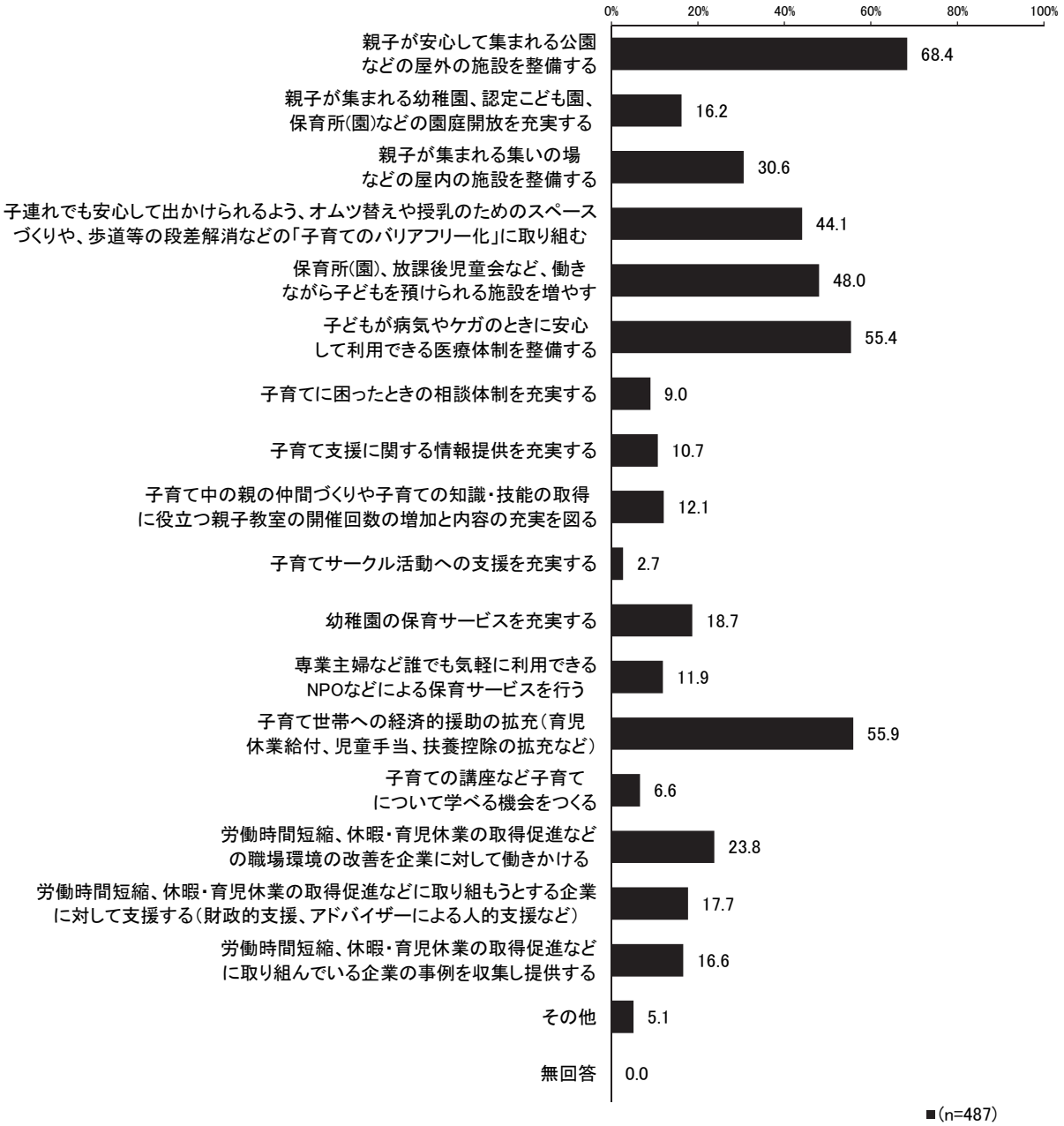
(n=544)

■要望の内容

要望の内容は、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が 68.4%で最も高く、次いで「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など）」が 55.9%、「子どもが病気やケガのときに安心して利用できる医療体制を整備する」が 55.4%の順となっています。

公園や集いの場など親子が集まれる安全な施設の整備を望む声が特に多く寄せられています。

図　要望の内容



11. 生活習慣について

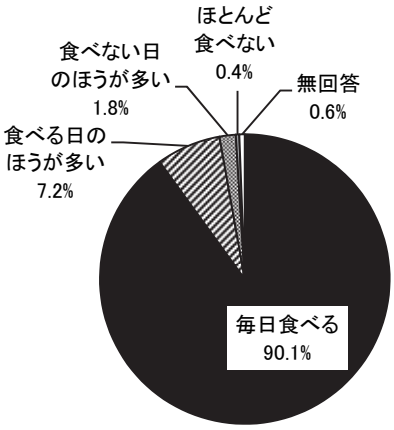
（１）お子さんの生活習慣

問 33　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

■①朝ごはんを食べますか

「朝ごはんを食べていますか」は、「毎日食べる」が 90.1%で 9 割を占め、「食べる日のほうが多い」が 7.2%、「食べない日のほうが多い」が 1.8%、「ほとんど食べない」が 0.4%となっています。

図　朝ごはんを食べているか

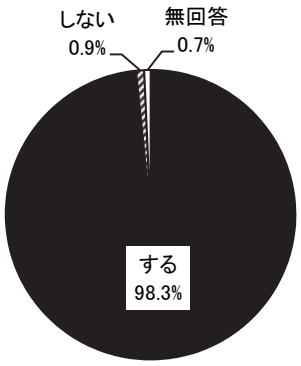


(n=544)

■②1 日 1 回は家族と一緒に食事をしますか

「1 日 1 回は家族と一緒に食事をしていますか」は、「する」が 98.3%、「しない」が 0.9%となっています。

図　1 日 1 回は家族と一緒に食事をしているか

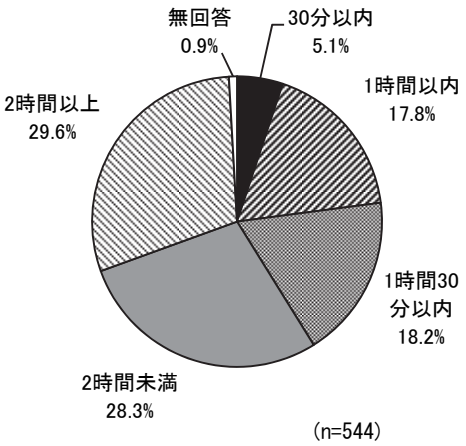


(n=544)

■③平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の１日当たり平均視聴時間は何時間ですか。

図　平日のテレビ・ビデオの１日当たり平均視聴時間

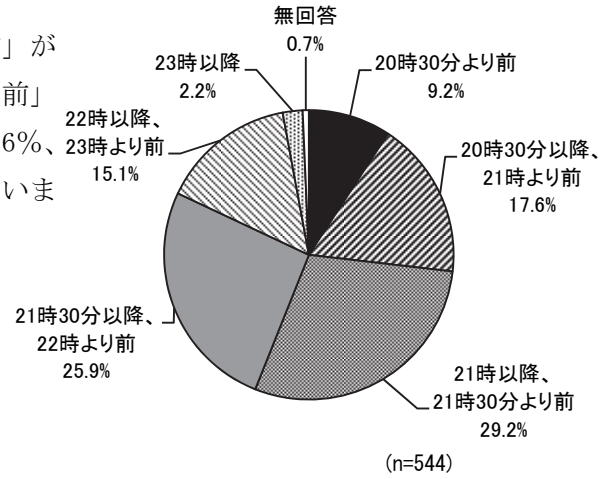
平日のテレビ・ビデオの 1 日当たり平均視聴時間は、「2 時間以上」が 29.6%で最も高く、次いで「2 時間未満」が 28.3%、「1 時間 30 分以内」が 18.2%、「1 時間以内」が 17.8%となっています。



■④就寝時刻は何時ですか。

図　就寝時刻

就寝時刻は、「21 時以降、21 時 30 分より前」が 29.2%で最も高く、「21 時 30 分以降、22 時より前」が 25.9%、「20 時 30 分以降、21 時より前」が 17.6%、「22 時以降、23 時より前」が 15.1%となっています。

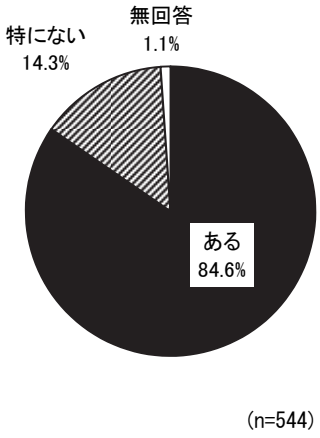


12. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

（1）子どもとの外出時に、困ること、困ったこと

問 34　封筒のあて名のお子さんと外出される際、困ること、困ったことはありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

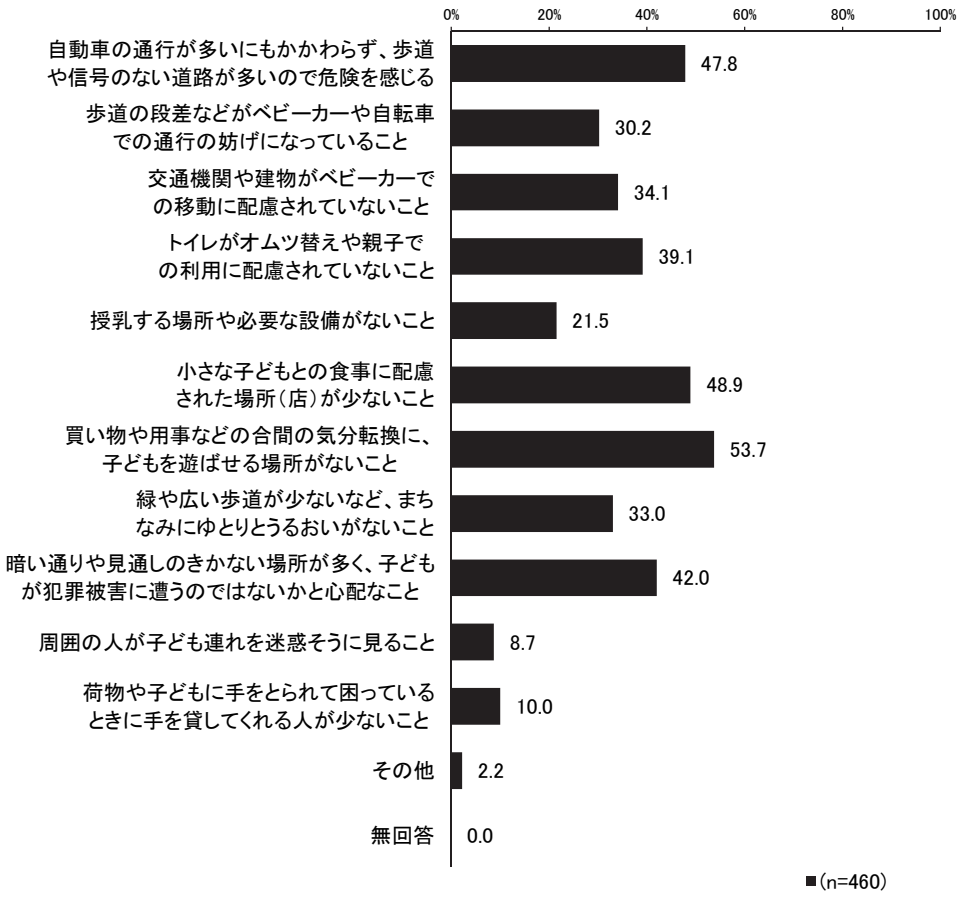
図　子どもとの外出時に困ること、困ったことの有無



子どもとの外出時に困ること、困ったことの有無は、「ある」が 84.6%で、「特にない」が 14.3%となっています。

子どもとの外出時に困ること、困ったことの内容は、「買い物や用事などの合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 53.7%で半数強を占め、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ないこと」が 48.9%、「自動車の通行が多いにもかかわらず、歩道や信号のない道路が多いので危険を感じる」が 47.8%となっています。

図　子どもとの外出時に困ること、困ったことの内容

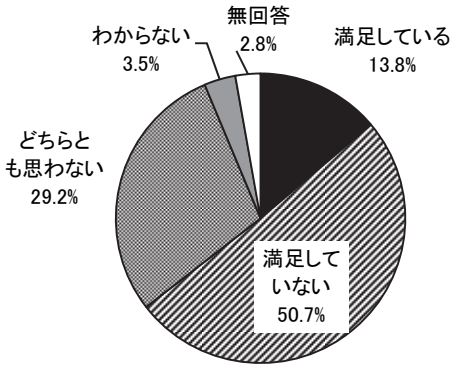


（２）地域の遊び場に関する満足度

問 35　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

地域の遊び場に関する満足度は、「満足していない」が 50.7%で最も高く、「どちらとも思わない」が 29.2%、「満足している」が 13.8%となっています。

図　地域の遊び場に関する満足度



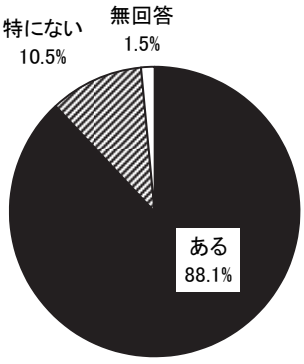
(n=544)

（３）地域の遊び場について感じていること

問 36　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることはありますか。ある場合、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

地域の遊び場について感じていることの有無は、「ある」が 88.1%で多数を占め、「特にない」が 10.5%となっています。

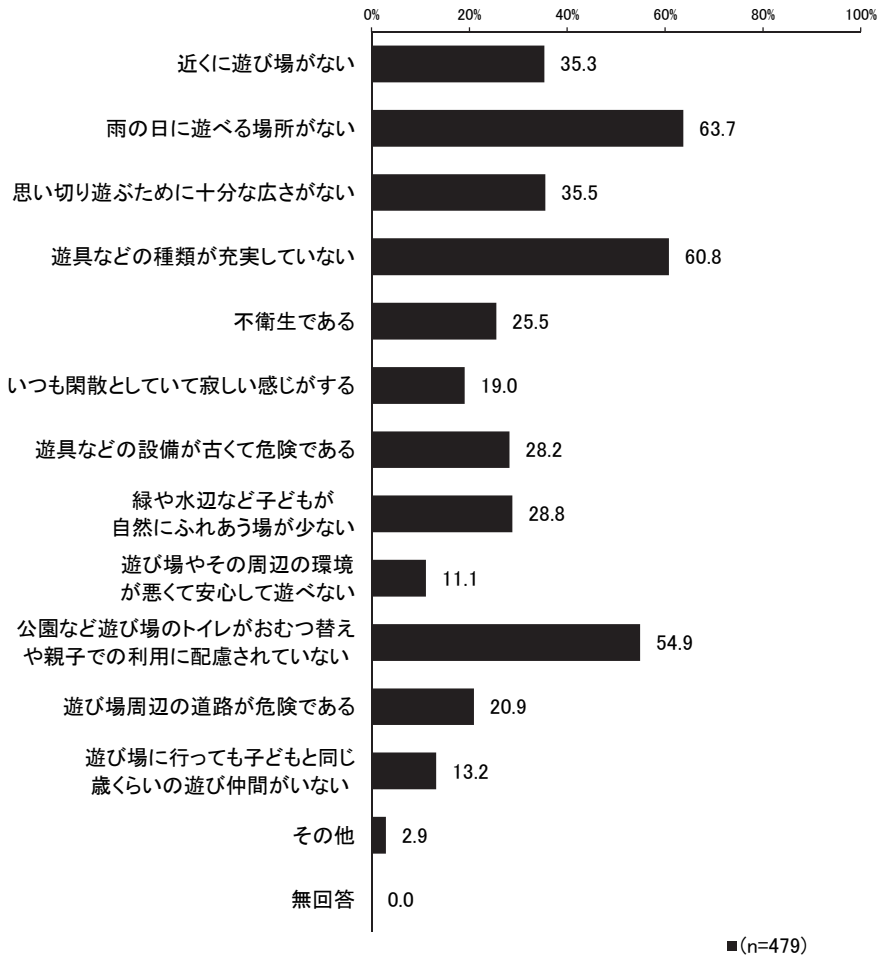
図　地域の遊び場について感じていることの有無



(n=544)

地域の遊び場について感じている内容は、「雨の日に遊べる場所がない」が 63.7%で最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が 60.8%、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が 54.9%の順となっています。

図　地域の遊び場について感じている内容



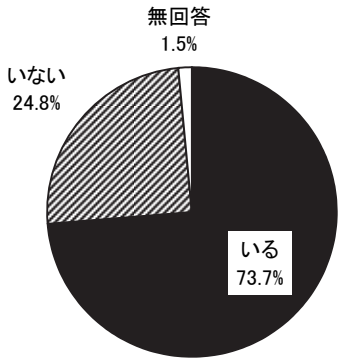
13. 子育てに対する意識について

（１）近所に日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいるか

問 37　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　近所に日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいるか

「近所に日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいますか」は、「いる」が 73.7%、「いない」が 24.8%となっています。



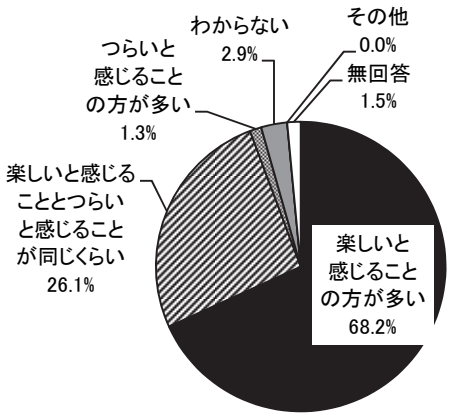
(n=544)

（２）子育ては楽しいことが多いか、つらいことが多いか

問 38　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　子育ては楽しいことが多いか、つらいことが多いか

子育ては楽しいことが多いか、つらいことが多いかは、「楽しいと感じることの方が多い」が 68.2%で約 7 割を占め、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が 26.1%、「わからない」が 2.9%、「つらいと感じることの方が多い」が 1.3%となっています。



(n=544)

（３）有効な、必要な子育て支援・対策

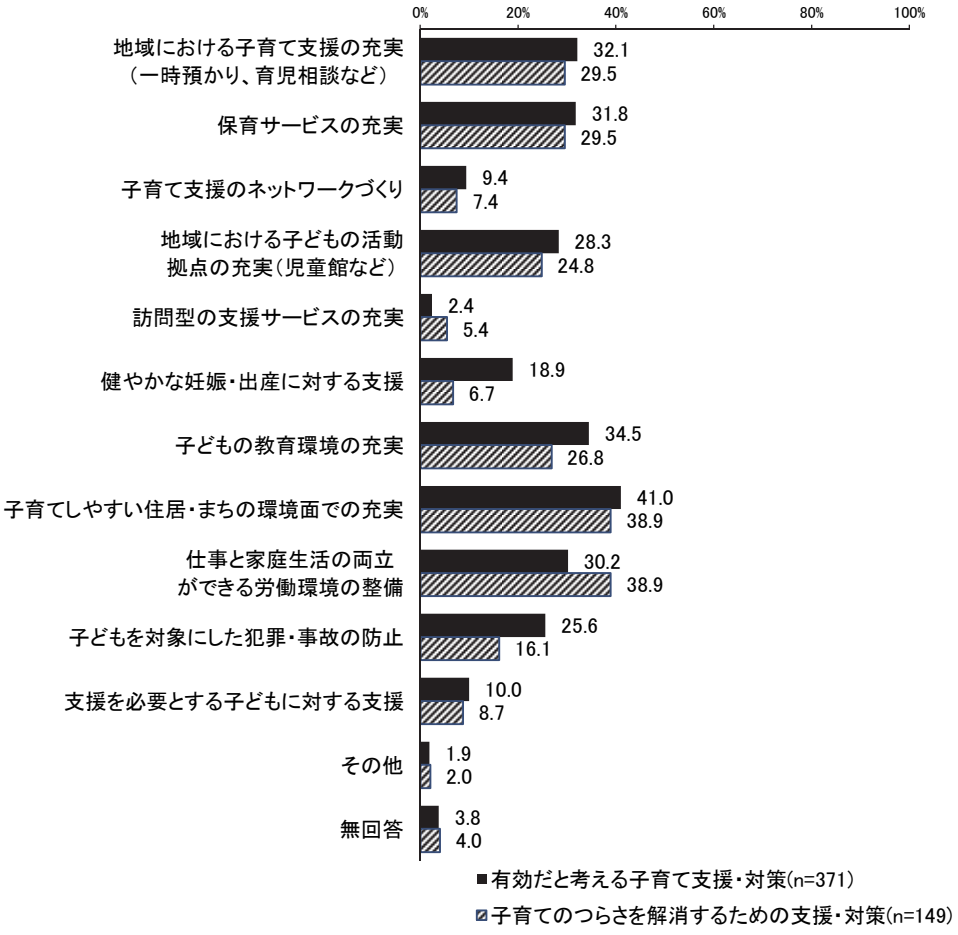
問 38-1　子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

問 38-2　あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

有効な、必要な子育て支援・対策は、有効だと考える子育て支援・対策では、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 41.0%で最も高く、次いで「子どもの教育環境の充実」が 34.5%、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が 32.1%、「保育サービスの充実」が 31.8%、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 30.2%の順となっています。

子育てのつらさを解消するための支援・対策では、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」と「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」がともに 38.9%で最も高く、次いで「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」と「保育サービスの充実」がともに 29.5%、「子どもの教育環境の充実」が 26.8%の順となっています。

図　有効な、必要な子育て支援・対策



（4）子育てに関して、日ごろ悩んでいること

問 39　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることはありますか。ある場合、それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して、日ごろ悩んでいることの有無は、「ある」が 74.6%、「ない」が 23.0%となっています。

悩んでいる内容は、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 45.1%で最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が 37.7%、「食事や栄養に関すること」と「子育てにかかる出費がかさむこと」がともに 37.4%となっています。

図　子育てに関して、日ごろ悩んでいることの有無

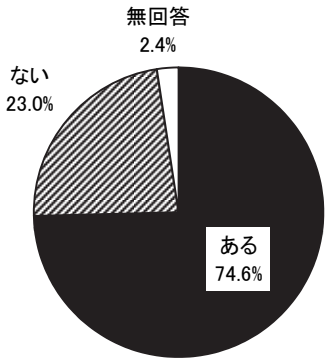
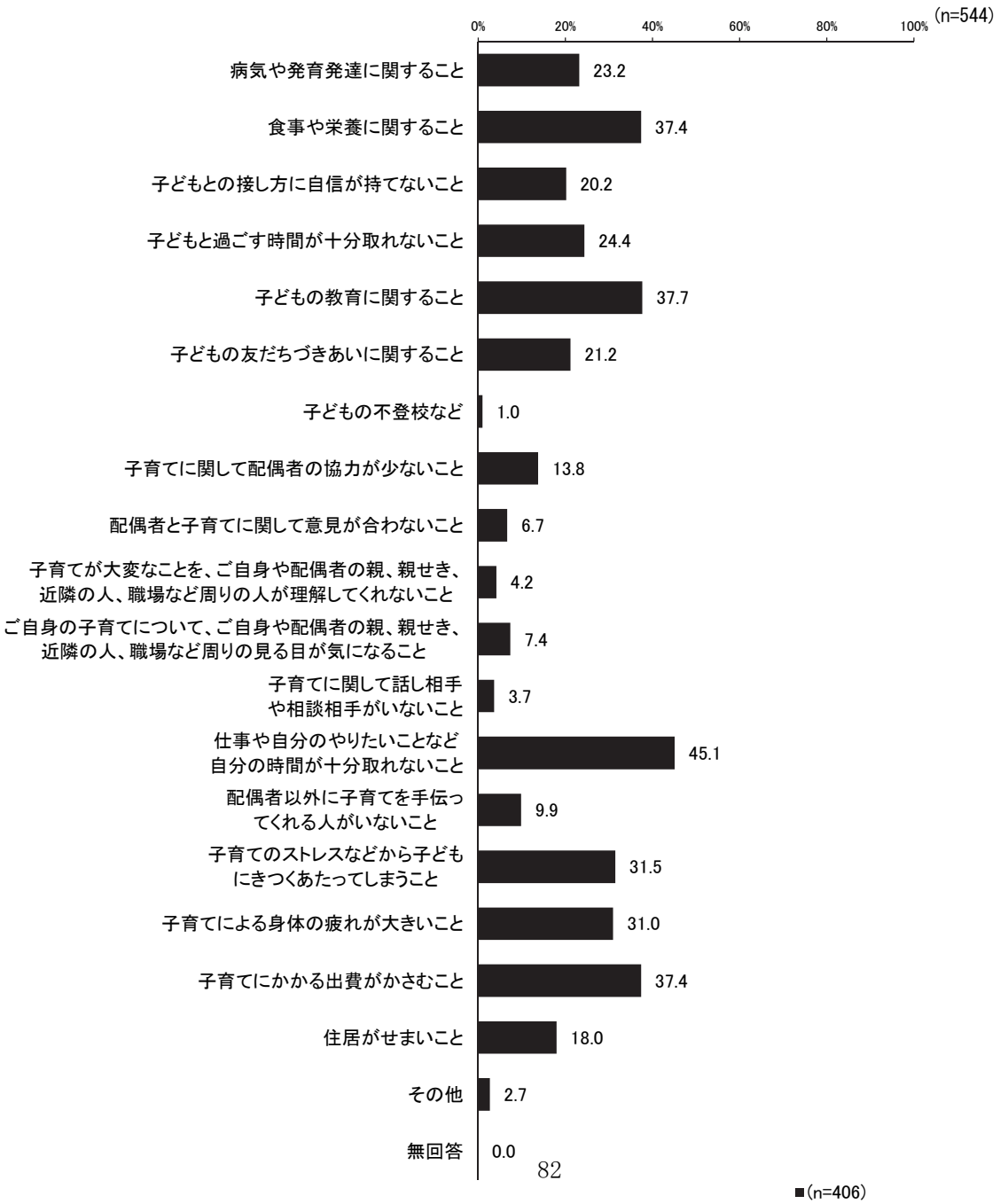


図　悩んでいる内容

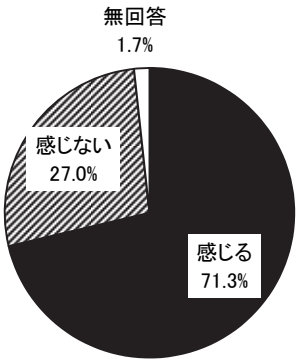


（５）子育てを地域の人に支えられていると感じるか

問 40　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　子育てを地域の人に支えられていると感じるか

子育てを地域の人に支えられていると感じるかは、「感じる」が 71.3%で 7 割を超え、「感じない」が 27.0%となっています。



(n=544)

（６）特に誰から支えられていると感じているか、支えてほしいと感じているか

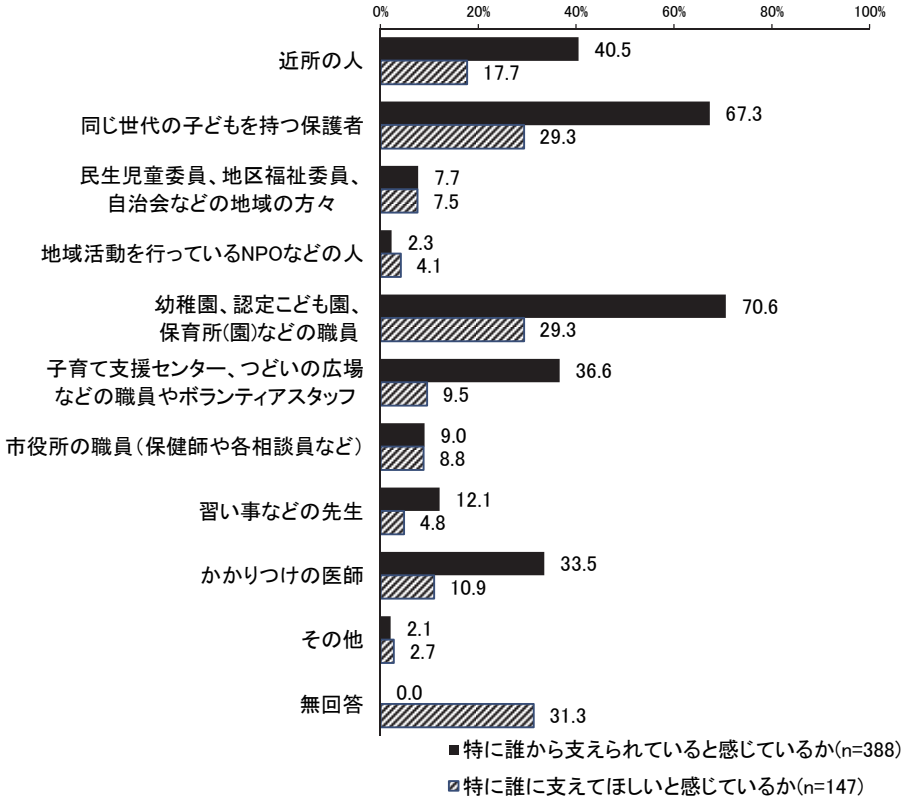
問 40-1　ご自身の子育ては、特に地域の誰から支えられていると感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問 40-2　ご自身の子育ては、特に誰に支えてほしいと感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

特に誰から支えられていると感じているかは、「幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの職員」が 70.6%、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 67.3%でともに約 7 割を占め、次いで「近所の人」が 40.5%、「子育て支援センター、つどいの広場などの職員やボランティアスタッフ」が 36.6%、「かかりつけの医師」が 33.5%となっています。

特に誰に支えてほしいと感じているかは、「同じ世代の子どもを持つ保護者」と「幼稚園、認定こども園、保育所(園)などの職員」がともに 29.3%で最も高く、次いで「近所の人」が 17.7%、「かかりつけの医師」が 10.9%、「子育て支援センター、つどいの広場などの職員やボランティアスタッフ」が 9.5%の順となっています。

図　特に誰から支えられていると感じているか、支えてほしいと感じているか



第３章　小学生調査の結果

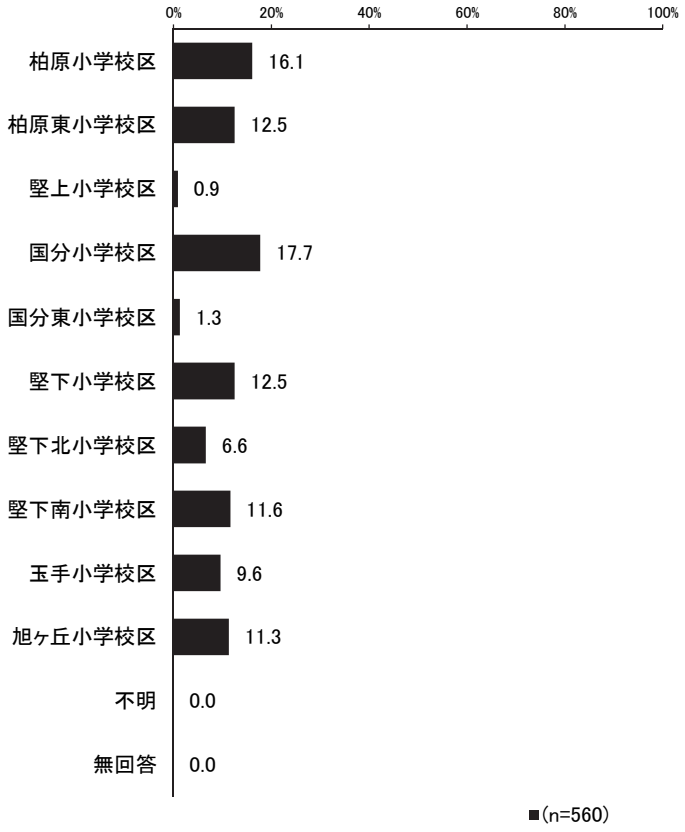
１．ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

（１）小学校区

問１　あなたがお住まいの小学校区はどれにあたりますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

小学校区は、「国分小学校区」が 17.7％で最も高く、次いで「柏原小学校区」が 16.1％、「柏原東小学校区」と「堅下小学校区」がともに 12.5％、「堅下南小学校区」が 11.6％、「旭ヶ丘小学校区」が 11.3％、「玉手小学校区」が 9.6％、「堅下北小学校区」が 6.6％となっています。

図　小学校区

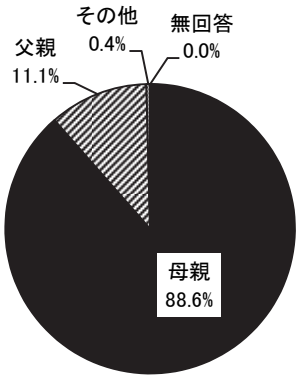


（２）回答者の続柄

問２　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

回答者の続柄は、「母親」が 88.6%、「父親」が 11.1%となっています。

図　回答者の続柄

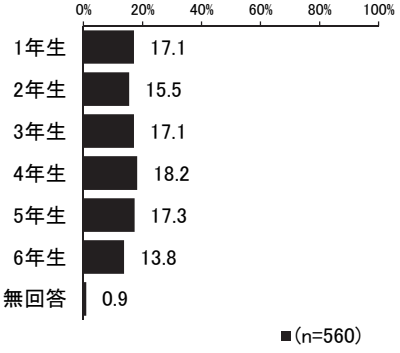


(n=560)

（３）子どもの学年

問３　封筒のあて名のお子さんの生年月について、（　　）内に数字を入れてください。

図　子どもの学年



子どもの生年月から算出した学年は、「4 年生」が 18.2%で最も高く、次いで「5 年生」が 17.3%、「1 年生」と「3 年生」がともに 17.1%、「2 年生」が 15.5%、「6 年生」が 13.8%となっています。

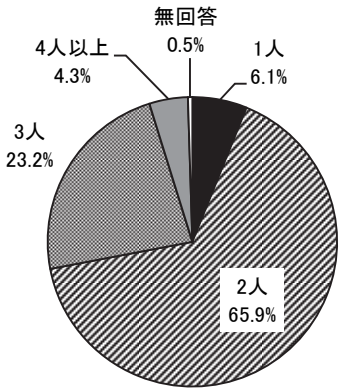
（４）子どもの人数と末子の年齢

問４　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成 30 年４月１日現在の年齢）を記入してください。

■子どもの人数

子どもの人数は、「2 人」が 65.9%で最も高く、次いで「3 人」が 23.2%、「1 人」が 6.1%となっています。

図　子どもの人数

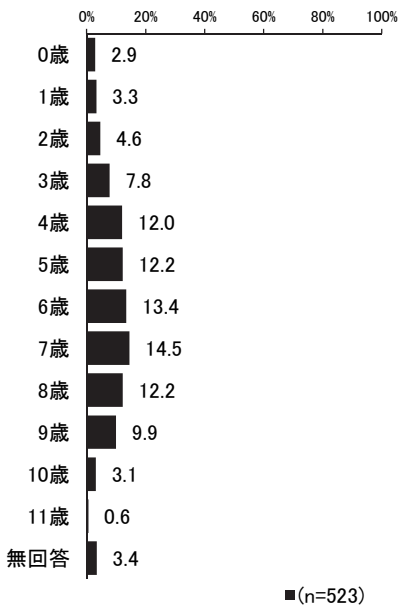


(n=560)

■末子の年齢

末子の年齢は、「7 歳」が 14.5%で最も高く、次いで「6 歳」が 13.4%、「5 歳」と「8 歳」がともに 12.2%、「4 歳」が 12.0%、「9 歳」が 9.9%となっています。

図　末子の年齢



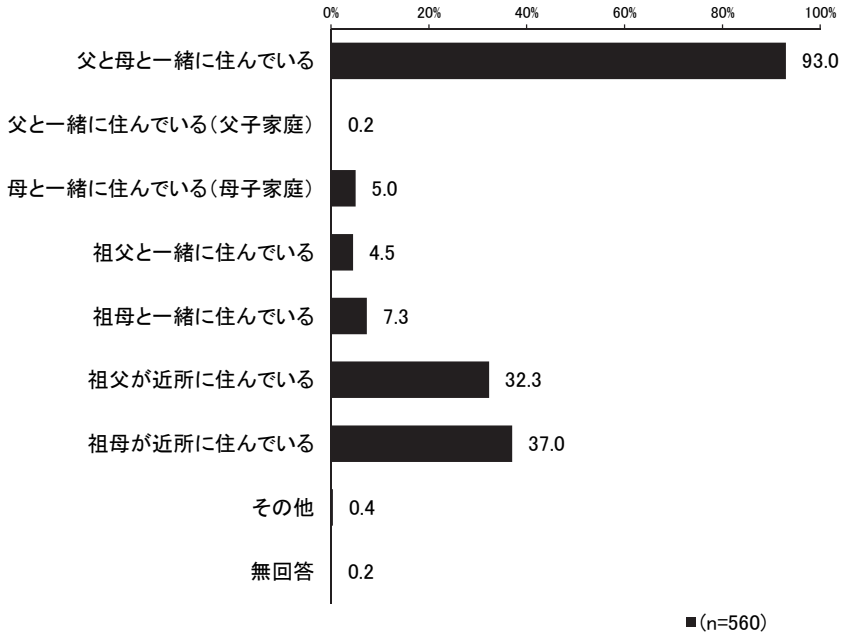
■(n=523)

（５）家族構成・祖父母の状況

問５　封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

家族構成・祖父母の状況は、「父と母と一緒に住んでいる」が 93.0％で最も高く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が 37.0％、「祖父が近所に住んでいる」が 32.3％となっています。

図　家族構成・祖父母の状況

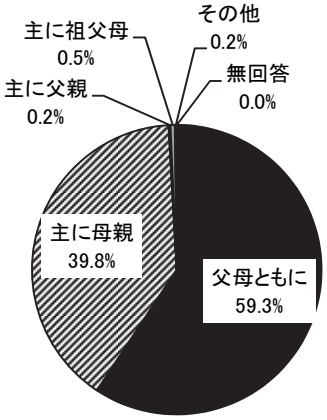


（６）主に子育て・教育をしている人

問６　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

主に子育て・教育をしている人は、「父母ともに」が 59.3％で約 6 割を占め、「主に母親」が 39.8％となっています。

図　主に子育て・教育をしている人



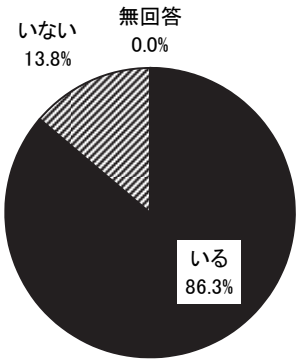
(n=560)

（7）子どもの面倒をみてくれる人

問7　日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。いる場合、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

図　子どもの面倒をみてくれる人の有無

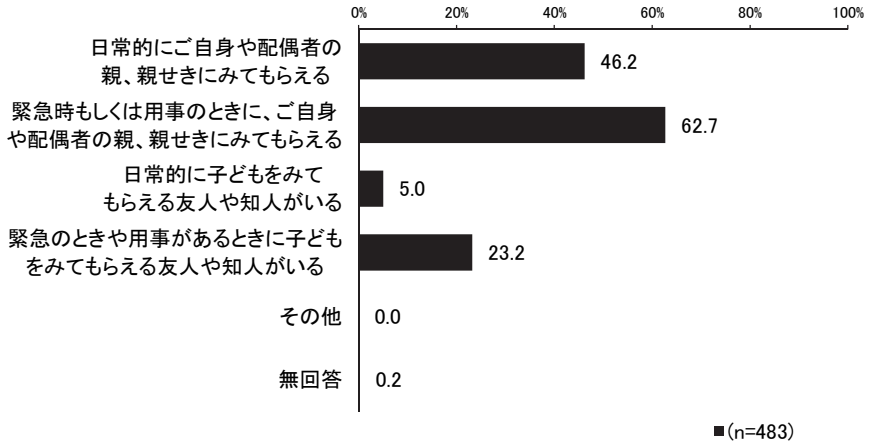
子どもの面倒をみてくれる人の有無は、「いる」が 86.3%、「いない」が 13.8%となっています。



(n=560)

面倒をみてくれる人は、「緊急時もしくは用事のときに、ご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 62.7%で最も高く 6 割を超え、次いで「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が 46.2%、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が 23.2%となっています。

図　面倒をみてくれる人



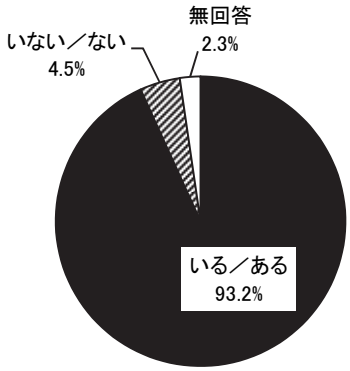
■(n=483)

（８）子育てや教育に関する相談の状況

問８　あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　子育てや教育に関する相談相談をできる人・場所の有無

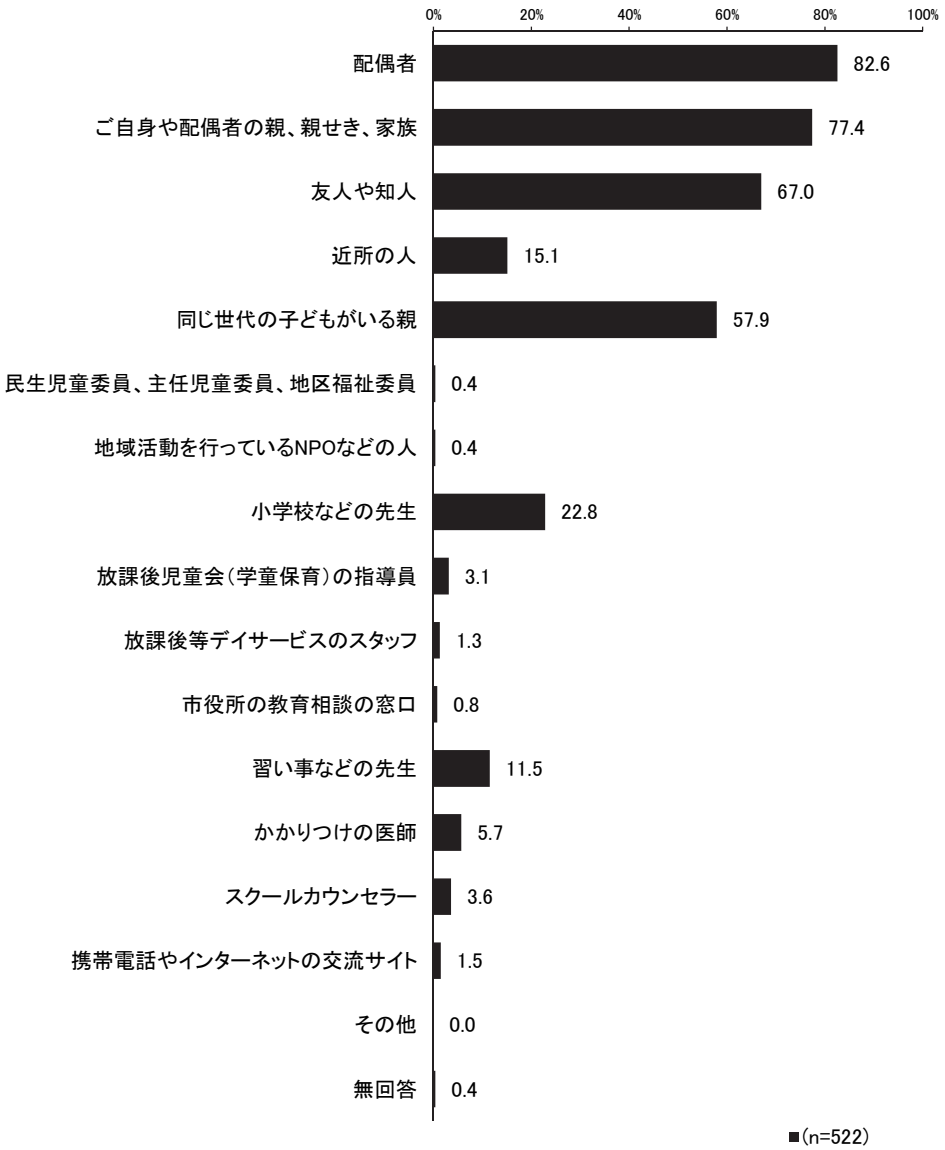
子育てや教育に関する相談相談をできる人・場所の有無は、「いる／ある」が 93.2%、「いない／ない」が 4.5%となっています。



(n=560)

相談をできる人・場所は、「配偶者」が 82.6%で最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」が 77.4%、「友人や知人」が 67.0%となっています。

図　相談をできる人・場所



■(n=522)

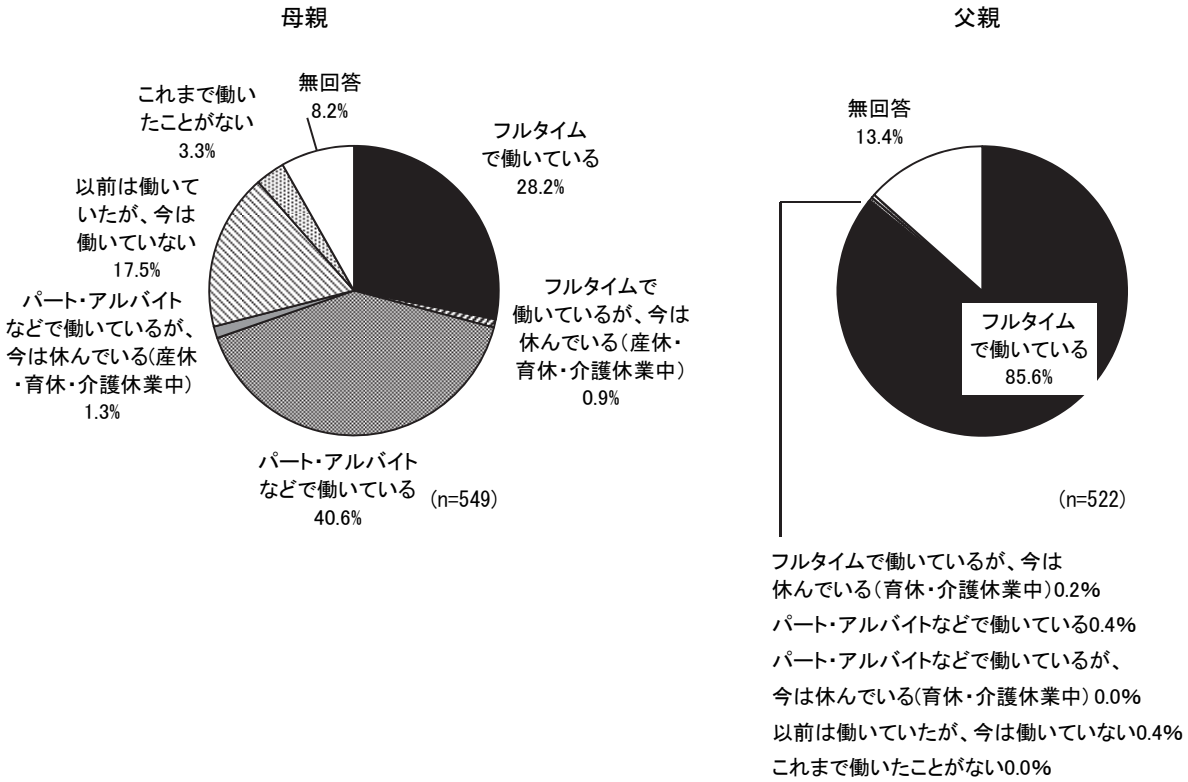
（９）父母の就労状況

問９・問 10　お子さんの「母親」「父親」の働いている状況は、次のうちどれですか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。（自営業や自営業を手伝っている場合も含みます）

父母の就労状況は、母親では「パート・アルバイトなどで働いている」が 40.6%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が 28.2%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が 17.5%となっています。

父親では「フルタイムで働いている」が 85.6%で最も高くなっています。

図　父母の就労状況



（10）父母の就労時間帯

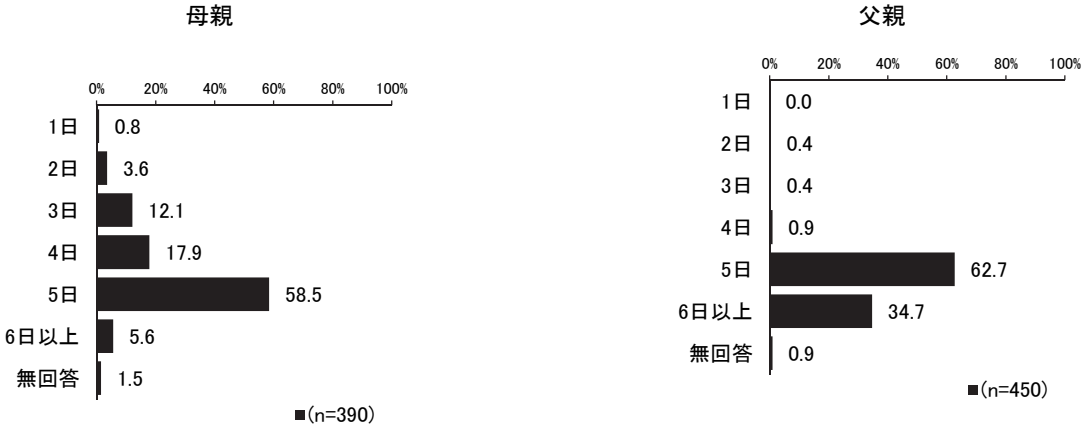
問9-1・問 10-1　1週間にどのくらいの日数を働きますか。また、1日当たりどのくらいの時間を働きますか。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。現在休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。現在休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24 時間制でお答えください。

■1 週あたりの就労日数

1 週あたりの就労日数は、母親では「5 日」が 58.5%で最も高く、次いで「4 日」が 17.9%、「3 日」が 12.1%となっています。

父親では、「5 日」が 62.7%で最も高く、次いで「6 日以上」が 34.7%となっています。

図　1 週あたりの就労日数

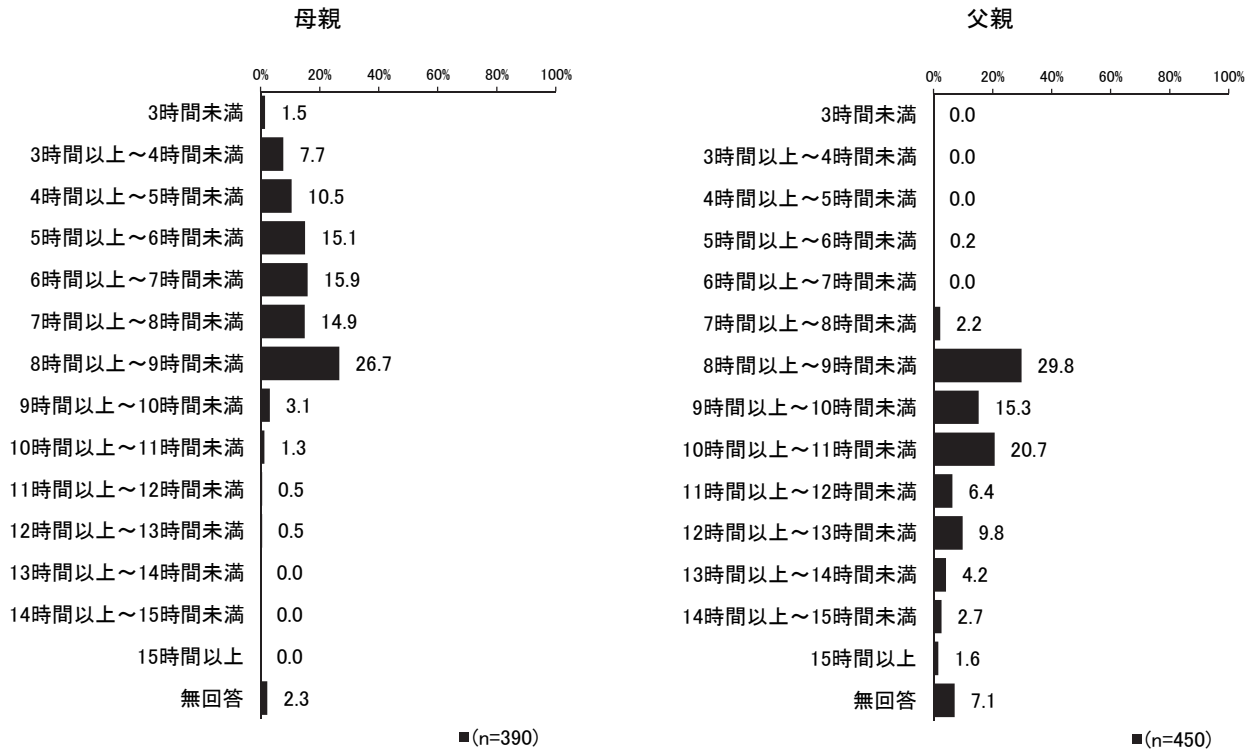


■1 日あたりの労働時間

1 日あたりの労働時間は、母親では、「8 時間以上～9 時間未満」が 26.7%で最も高く、次いで「6 時間以上～7 時間未満」が 15.9%、「5 時間以上～6 時間未満」が 15.1%、「7 時間以上～8 時間未満」が 14.9%となっています。

父親では、「8 時間以上～9 時間未満」が 29.8%で最も高く、次いで「10 時間以上～11 時間未満」が 20.7%、「9 時間以上～10 時間未満」が 15.3%となっています。

図　1 日あたりの労働時間

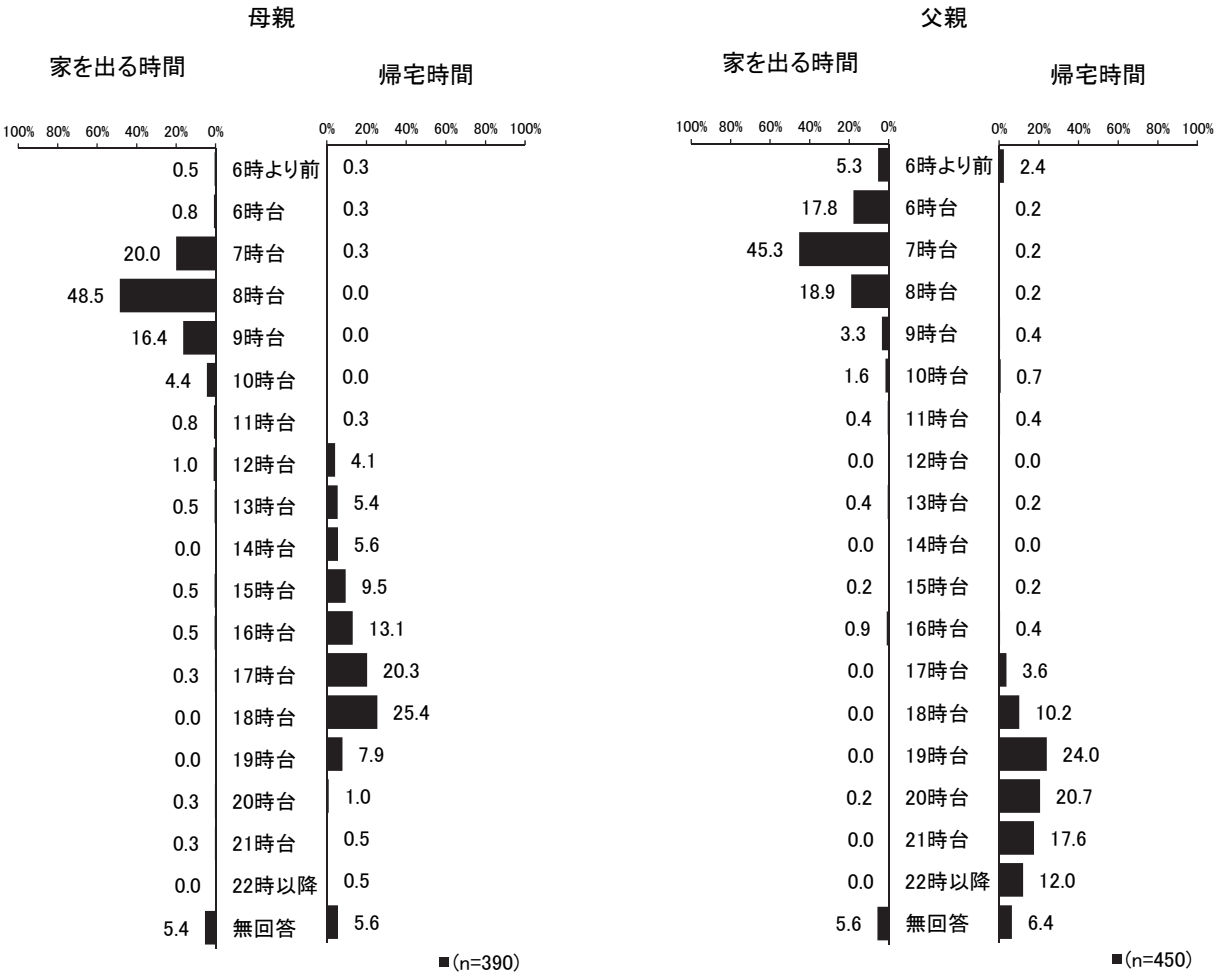


■就労時間帯

就労時間帯は、母親では、家を出る時間は「8 時台」が 48.5%で最も高く、次いで「7 時台」が 20.0%、「9 時台」が 16.4%となっています。帰宅時間は「18 時台」が 25.4%で最も高く、次いで「17 時台」が 20.3%、「16 時台」が 13.1%となっています。

父親では、家を出る時間は「7 時台」が 45.3%で最も高く、次いで「8 時台」が 18.9%、「6 時台」が 17.8%となっています。帰宅時間は「19 時台」が 24.0%で最も高く、次いで「20 時台」が 20.7%、「21 時台」が 17.6%となっています。

図　就労時間帯

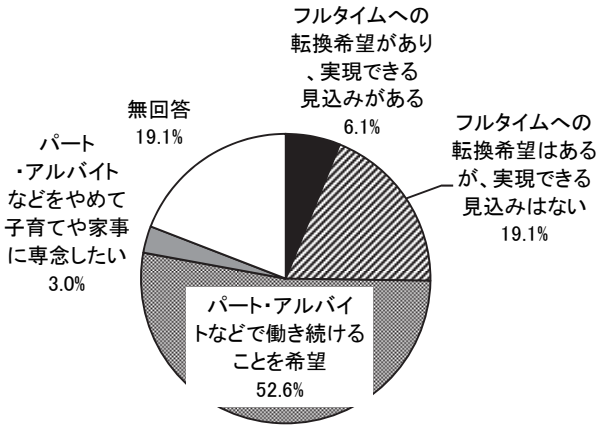


（11）父母の就労形態転換希望

問9-2・問 10-2　フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　母親の就労形態転換希望

母親の就労形態転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が 52.6%で半数強を占め、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 19.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 6.1%、「パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」が 3.0%となっています。



(n=230)

※父親の就労形態転換希望は回答者数が少ない（2 人）ためグラフを省略しています。

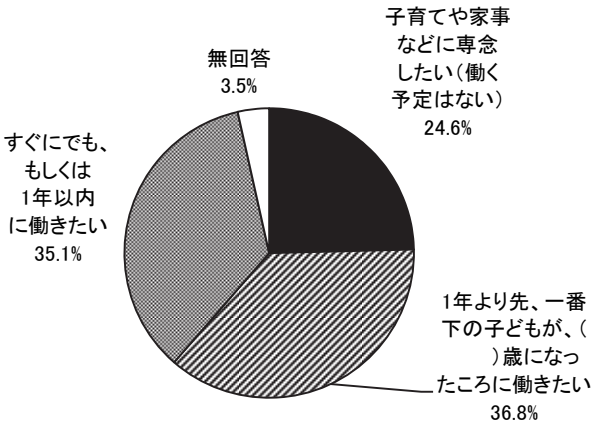
（12）父母の就労希望

問9-3・問 10-3　働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。
「2.」「3.」を選択した方は、（　　）内に具体的な数字を入れてください。

母親の就労希望は、「1 年より先、一番下の子どもが、（　　）歳になったころに働きたい」が 36.8%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に働きたい」が 35.1%、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が 24.6%となっています。

※父親の就労希望は回答者数が少ない（2 人）ためグラフを省略しています。

図　母親の就労希望

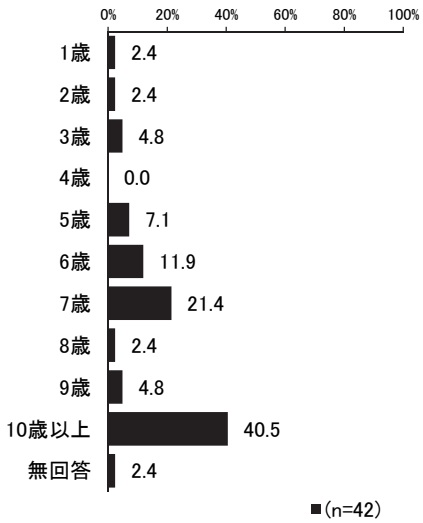


(n=114)

■就労希望時の子の年齢

母親の就労希望時の子の年齢は、「10 歳以上」が 40.5%で最も高く、次いで「7 歳」が 21.4%、「6 歳」が 11.9%、「5 歳」が 7.1%となっています。

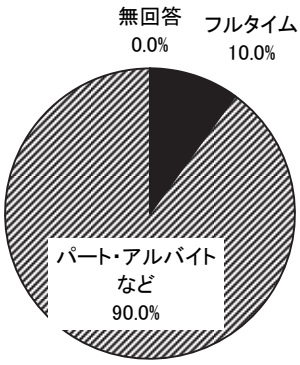
図　母親の就労希望時の子の年齢



■希望する就労形態

図　母親の希望する就労形態

母親の希望する就労形態は、「フルタイム」が 10.0%、「パート・アルバイトなど」が 90.0%となっています。



(n=40)

※父親の希望する就労形態は回答者数が少ない（1 人）ためグラフを省略しています。

■1 週あたりの希望労働日数・

1 週あたりの希望労働日数は、母親では「3 日」が 45.0%で最も高く、次いで「4 日」が 20.0%、「2 日」と「5 日」がともに 10.0%となっています。

母親の 1 日あたりの希望労働時間は、「5 時間以上～6 時間未満」が 45.0%で最も高く、次いで「4 時間以上～5 時間未満」が 17.5%、「3 時間以上～4 時間未満」が 12.5%、「6 時間以上～7 時間未満」が 10.0%となっています。

図　母親の 1 週あたりの希望労働日数

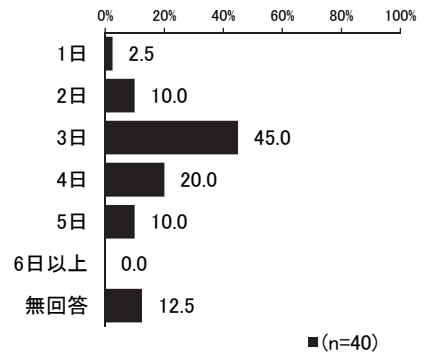
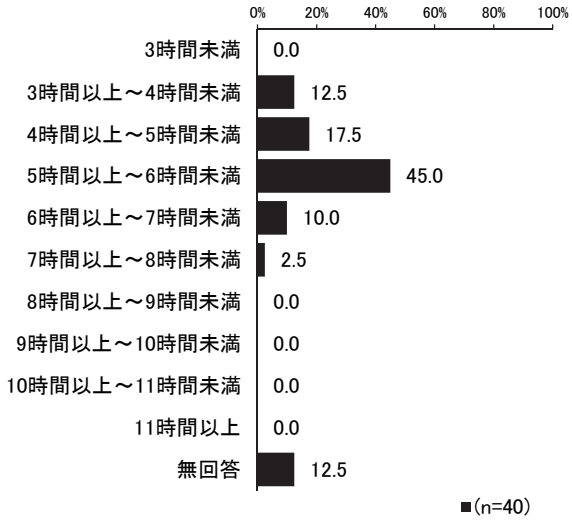


図　母親の 1 日あたりの希望労働時間



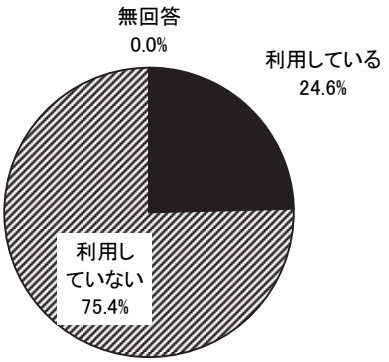
2. 封筒のあて名のお子さんの放課後児童会の利用について

（１）放課後児童会の利用の有無

問 11　現在、放課後児童会（学童保育）を利用されていますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　放課後児童会の利用の有無

放課後児童会の利用の有無は、「利用している」が 24.6%、「利用していない」が 75.4%となっています。



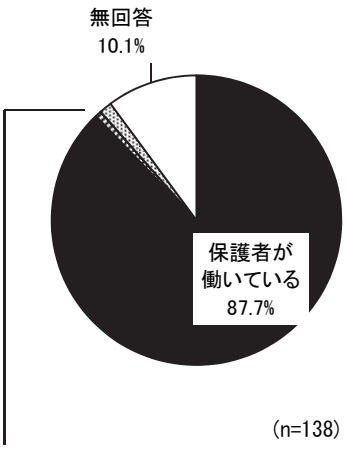
(n=560)

（２）放課後児童会を利用している理由

問 12　放課後児童会（学童保育）を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　放課後児童会を利用している理由

放課後児童会を利用している理由は、「保護者が働いている」が 87.7%で最も高く、「その他」が 1.4%となっています。



(n=138)

保護者が働く予定である、または、仕事を探している 0.7%
保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている 0.0%
保護者に病気や障害がある 0.0%
保護者が学生である 0.0%
その他 1.4%

（３）放課後児童会の利用状況と希望状況

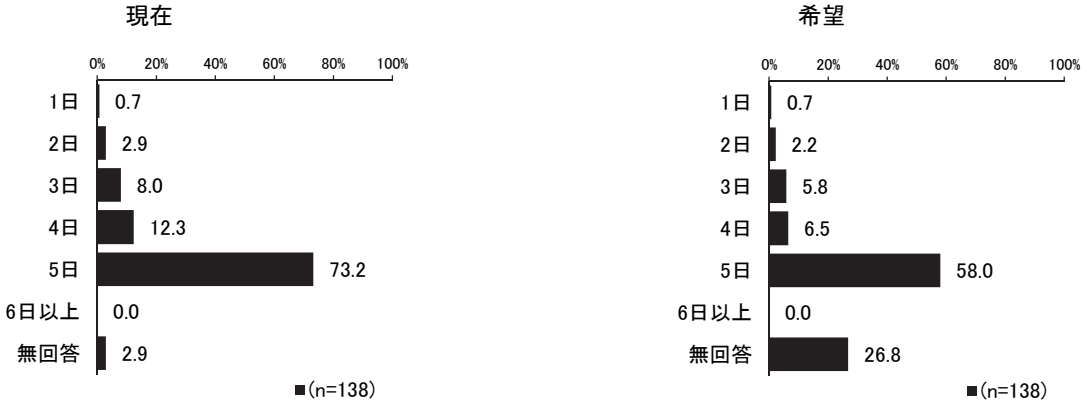
問 12-1　放課後児童会（学童保育）の現在の利用状況と今後の希望状況（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）について、もっとも多いパターンを（　　）内に具体的に記入してください。また、土曜日、日曜日・祝日については、あてはまる番号に１つだけ○をつけ、「２.」「３.」を選んだ場合は、（　　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように２４時間制で記入してください。

■平日の放課後児童会利用日数

平日の放課後児童会利用日数は、現在では「5 日」が 73.2%で最も高く、次いで「4 日」が 12.3%、「3 日」が 8.0%となっています。

希望では、「5 日」が 58.0%で最も高く、次いで「4 日」が 6.5%、「3 日」が 5.8%となっています。

図　平日の放課後児童会利用日数

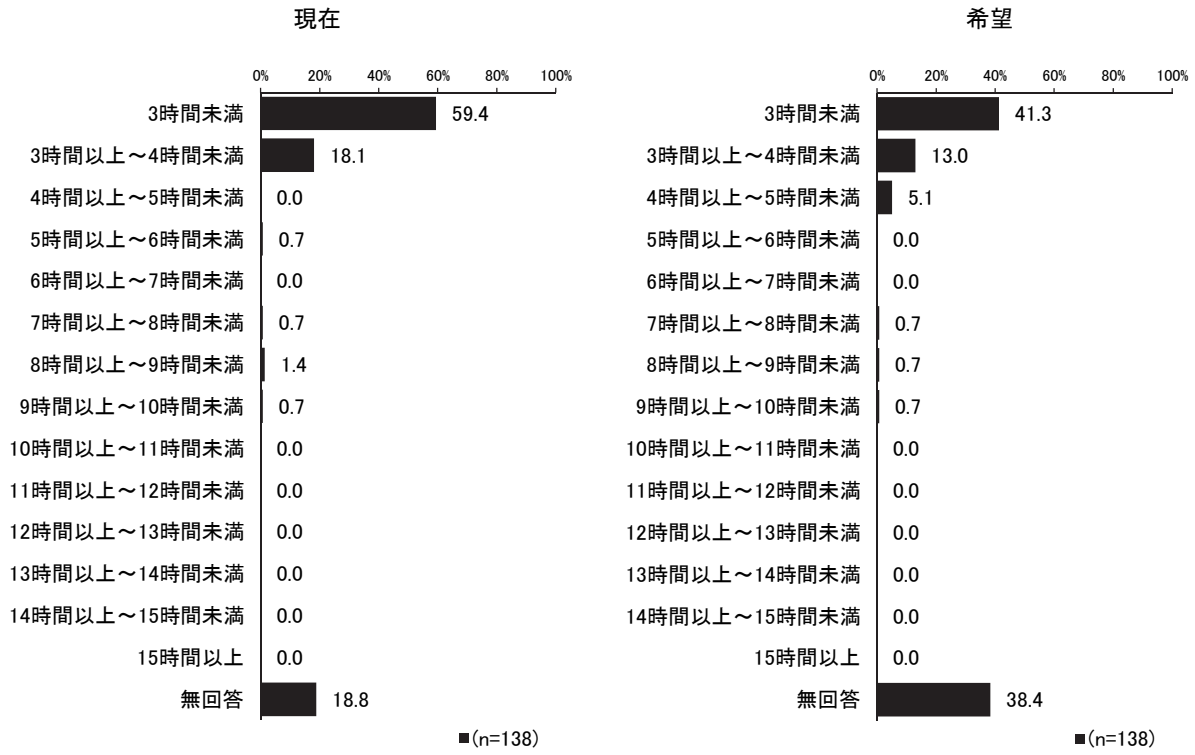


■平日の放課後児童会利用時間

平日の放課後児童会利用時間は、現在では「3 時間未満」が 59.4％で約 6 割を占め、次いで「3 時間以上～4 時間未満」が 18.1％となっています。

希望では「3 時間未満」が 41.3％で最も高く、次いで「3 時間以上～4 時間未満」が 13.0％、「4 時間以上～5 時間未満」が 5.1％となっています。

図　平日の放課後児童会利用時間

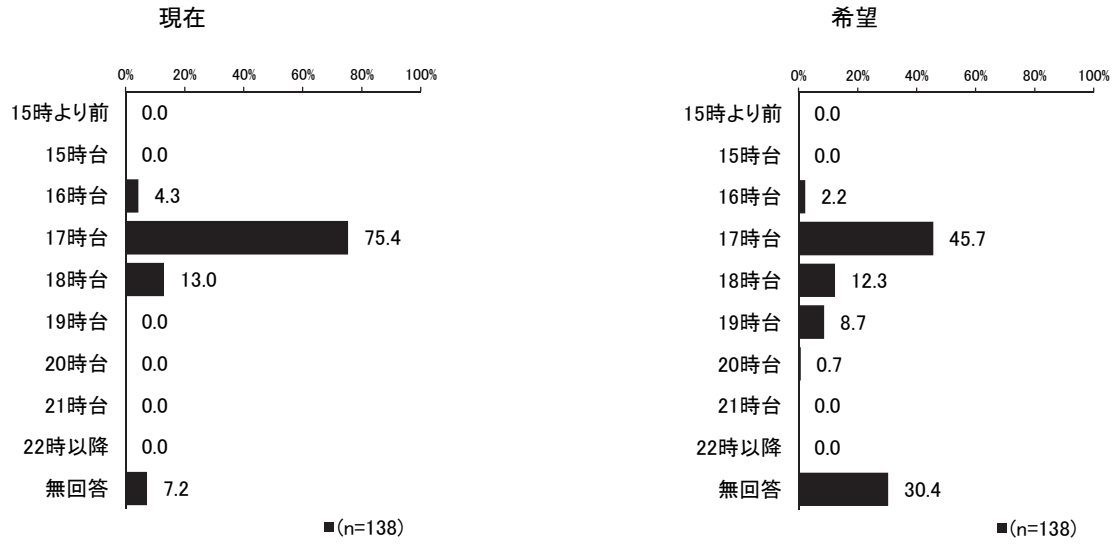


■平日の放課後児童会利用終了時間

平日の放課後児童会利用終了時間は、現在では「17 時台」が 75.4%で最も高く、次いで「18 時台」が 13.0%、「16 時台」が 4.3%となっています。

希望では「17 時台」が 45.7%で最も高く、次いで「18 時台」が 12.3%、「19 時台」が 8.7%となっています。

図　平日の放課後児童会利用終了時間

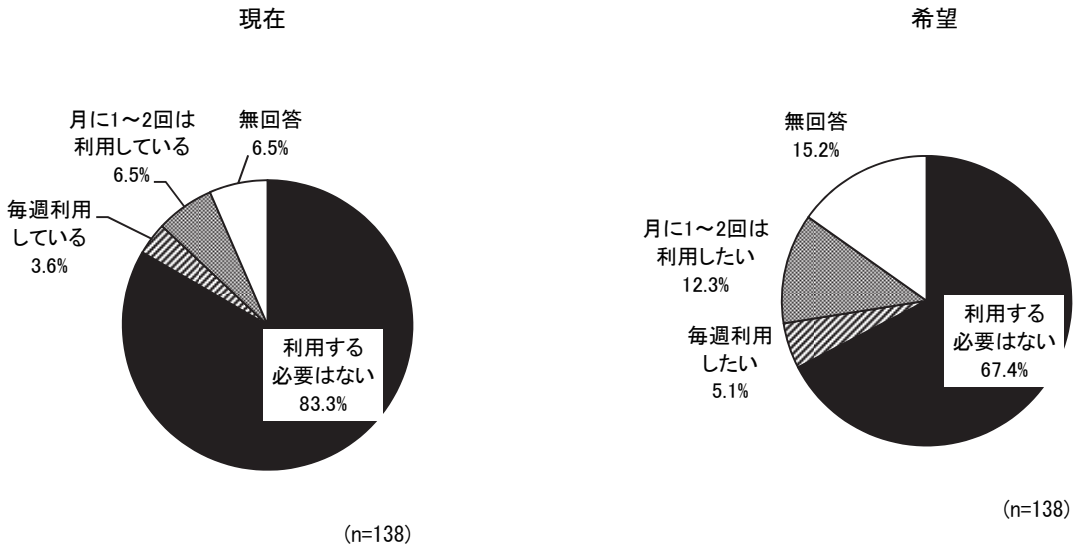


■土曜日の放課後児童会利用有無

土曜日の放課後児童会利用有無は、現在では「利用する必要はない」が 83.3%で多数を占め、「月に 1～2 回は利用している」が 6.5%、「毎週利用している」が 3.6%となっています。

「利用する必要はない」が 67.4%で最も高く、次いで希望では「月に 1～2 回は利用したい」が 12.3%、「毎週利用したい」が 5.1%となっています。

図　土曜日の放課後児童会利用有無



■土曜日の放課後児童会利用時間（毎週利用している・したい場合）

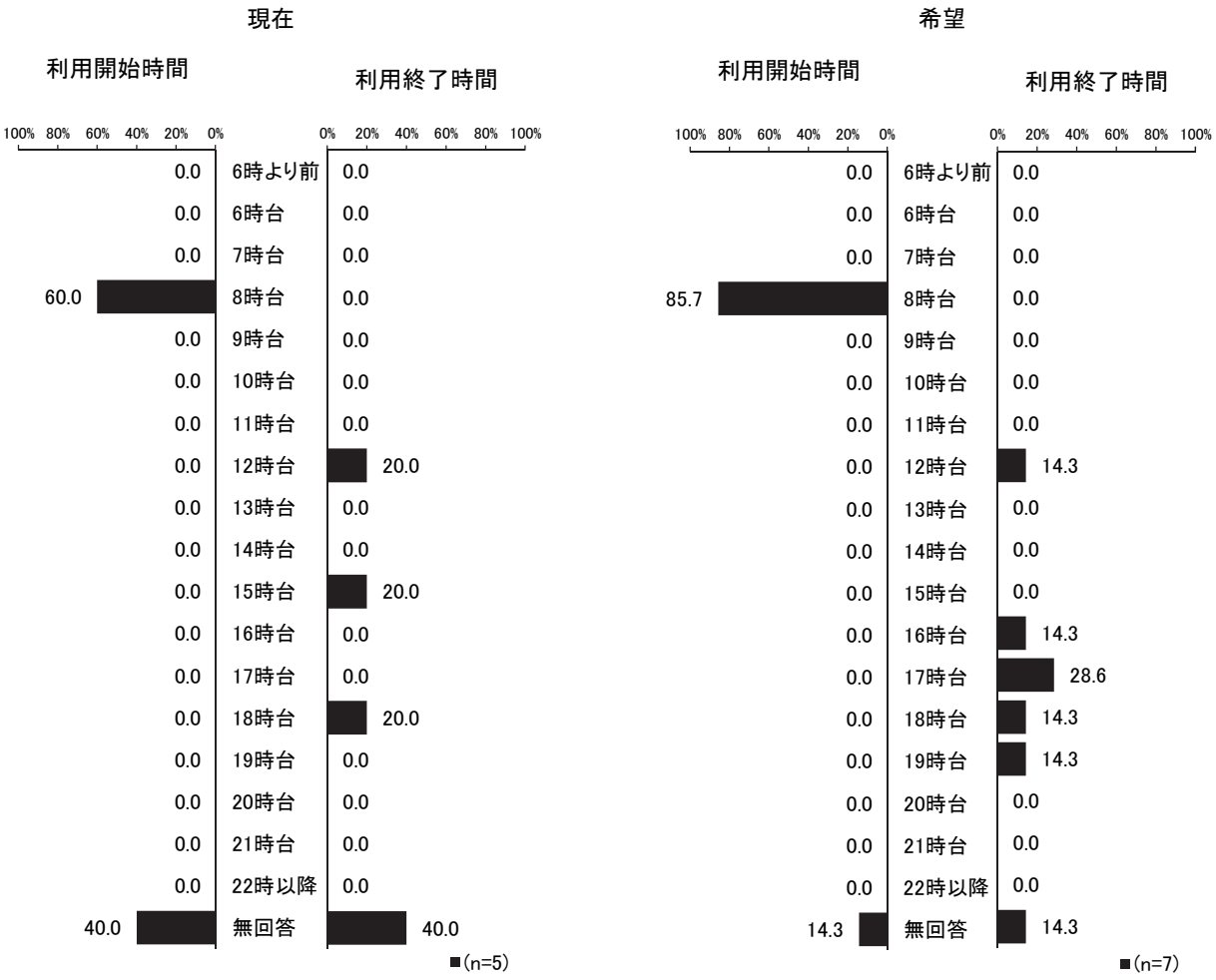
土曜日の放課後児童会利用時間（毎週利用している・したい場合）は、現在では、利用開始時間は「8 時台」が 60.0%となっています。

利用終了時間は「12 時台」、「15 時台」、「18 時台」がいずれも 20.0%となっています。

希望では、利用開始時間は「8 時台」が 85.7%で最も高くなっています。

利用終了時間は「17 時台」が 28.6%で最も高く、「12 時台」、「16 時台」、「18 時台」、「19 時台」はいずれも 14.3%となっています。

図　土曜日の放課後児童会利用時間（毎週利用している・したい場合）



■土曜日の放課後児童会利用時間（月に 1～2 回利用している・したい場合）

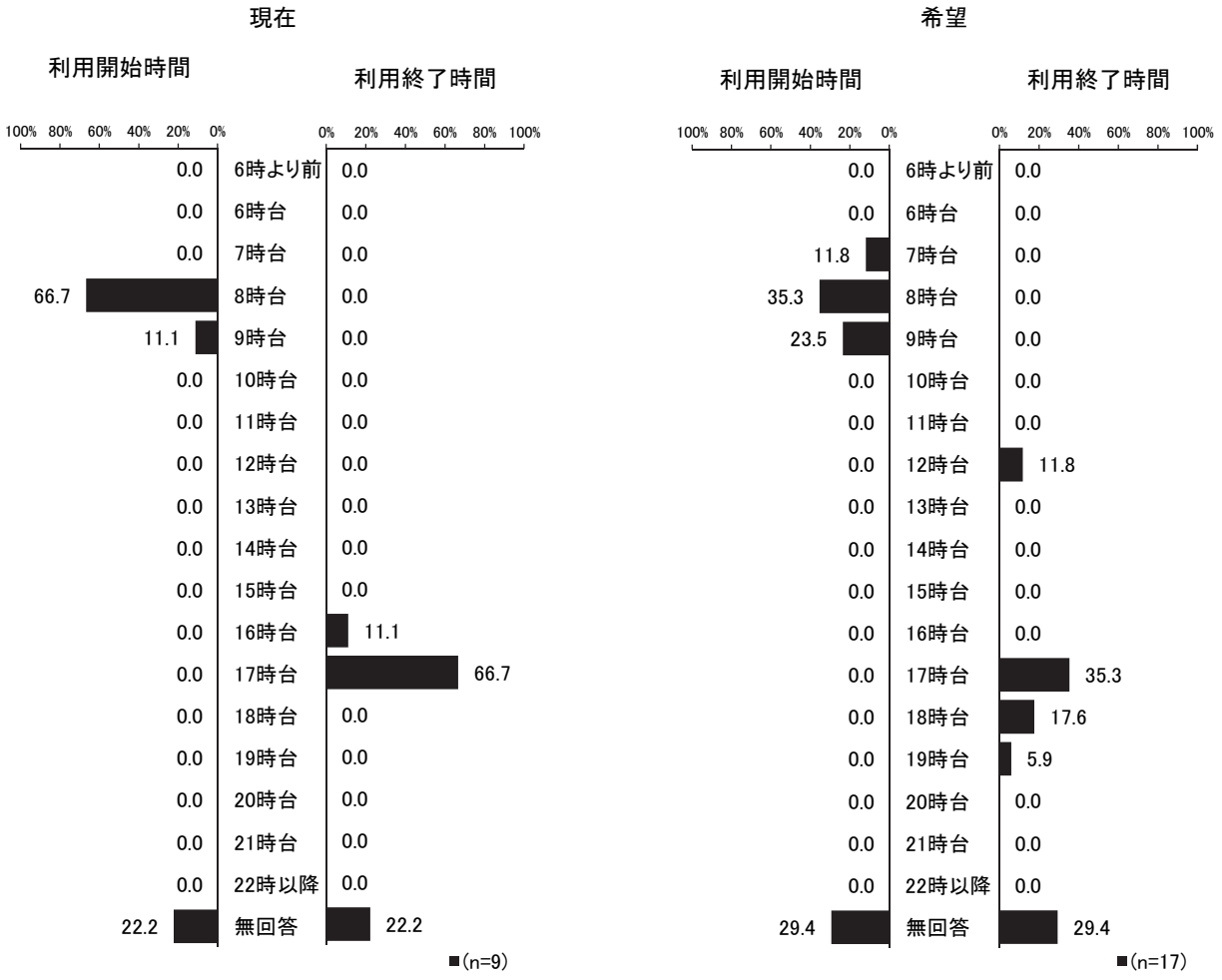
土曜日の放課後児童会利用時間は、現在では、利用開始時間は「8 時台」が 66.7%で最も高く、「9 時台」が 11.1%となっています。

利用終了時間は「17 時台」が 66.7%で最も高く、次いで「16 時台」が 11.1%となっています。

希望では、利用開始時間は「8 時台」が 35.3%で最も高く、次いで「9 時台」が 23.5%、「7 時台」が 11.8%となっています。

利用終了時間は「17 時台」が 35.3%で最も高く、次いで「18 時台」が 17.6%、「12 時台」が 11.8%となっています。

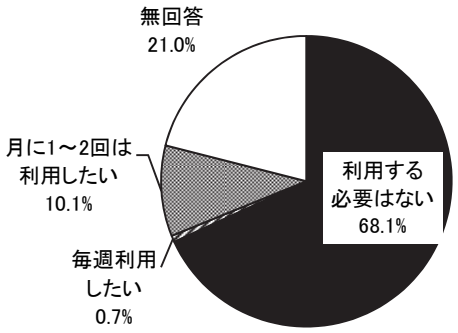
図　土曜日の放課後児童会利用時間（月に 1～2 回利用している・したい場合）



■日曜日の放課後児童会利用意向有無

図　日曜日の放課後児童会利用意向

日曜日の放課後児童会利用意向有無は、「利用する必要はない」が 68.1%で約 7 割を占め、「月に 1～2 回は利用したい」が 10.1%、「毎週利用したい」が 0.7%となっています。



(n=138)

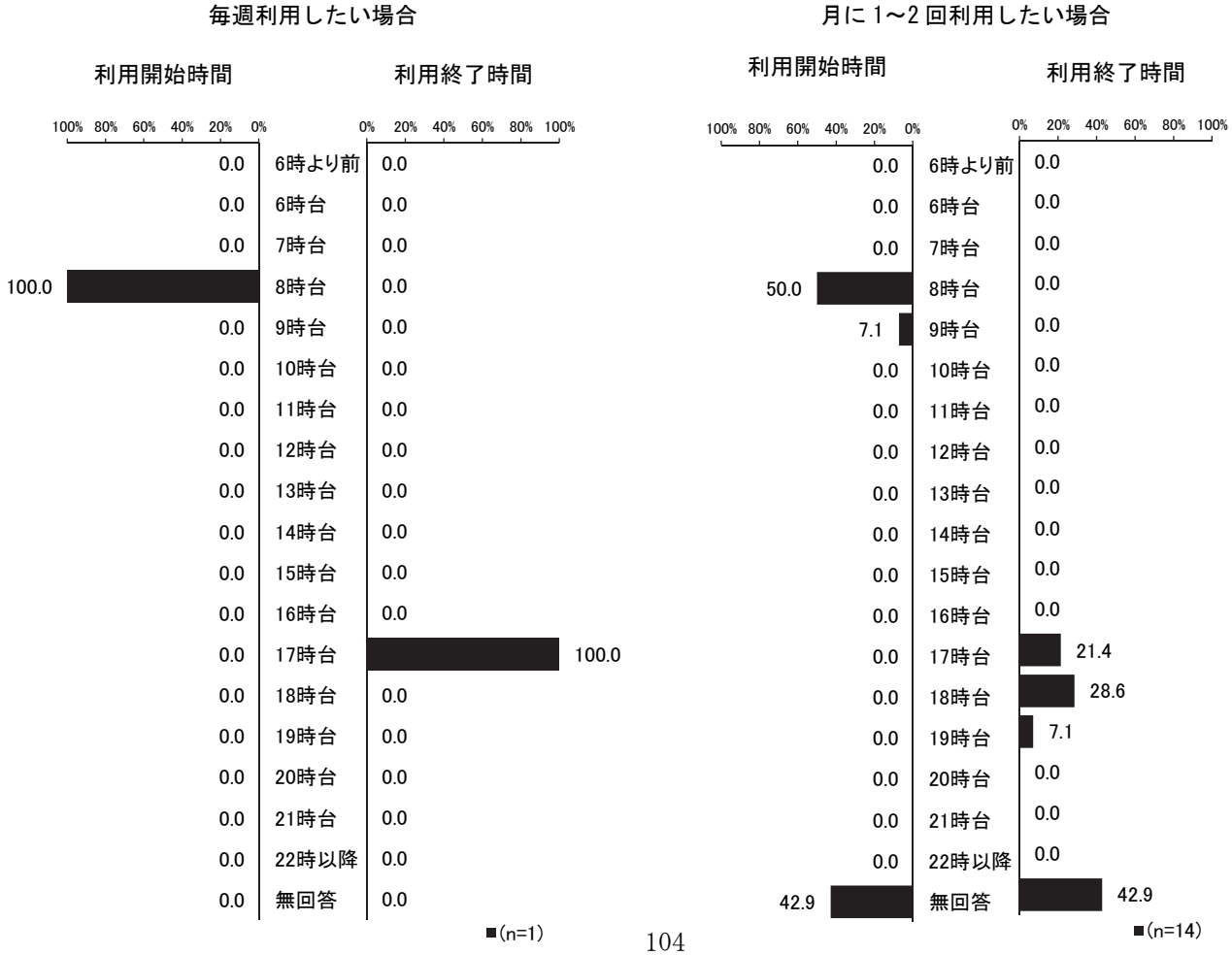
■日曜日の放課後児童会利用時間

日曜日の放課後児童会利用時間は、毎週利用したい人（1 人）の利用開始時間は「8 時台」で、利用終了時間は「17 時台」となっています。

月に 1～2 回利用したい場合では、利用開始時間は「8 時台」が 50.0%で最も高く、次いで「9 時台」が 7.1%となっています。

利用終了時間は「18 時台」が 28.6%で最も高く、次いで「17 時台」が 21.4%、「19 時台」が 7.1%となっています。

図　日曜日の放課後児童会利用時間

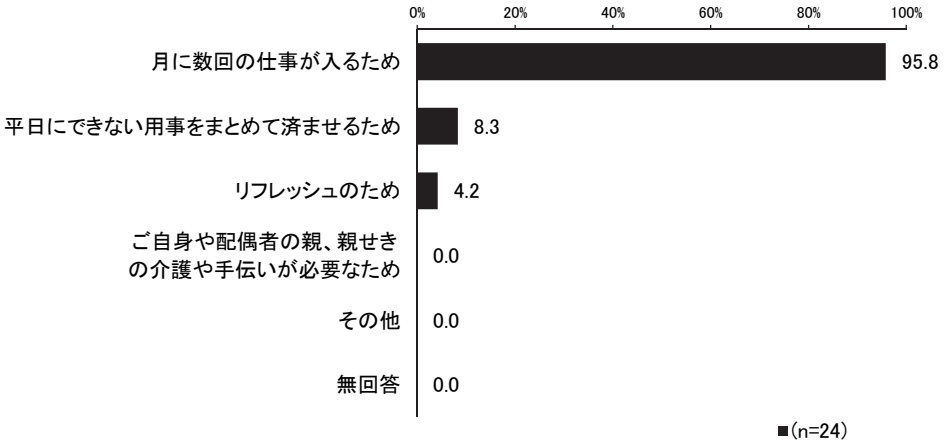


（４）放課後児童会をたまに利用したい理由

問 12-2　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

放課後児童会をたまに利用したい理由は、「月に数回の仕事が入るため」が 95.8%で多数を占め、「平日にできない用事をまとめて済ませるため」が 8.3%、「リフレッシュのため」が 4.2%となっています。

図　放課後児童会をたまに利用したい理由

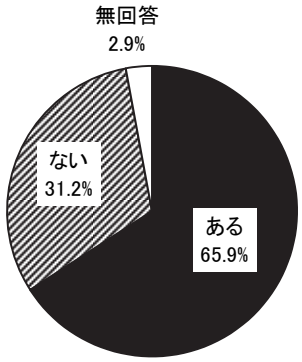


（５）放課後児童会への要望

問 12-3　現在通っている放課後児童会（学童保育）に対し、希望はありますか。ある場合、どのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

放課後児童会への要望の有無は、「ある」が 65.9%、「ない」が 31.2%となっています。

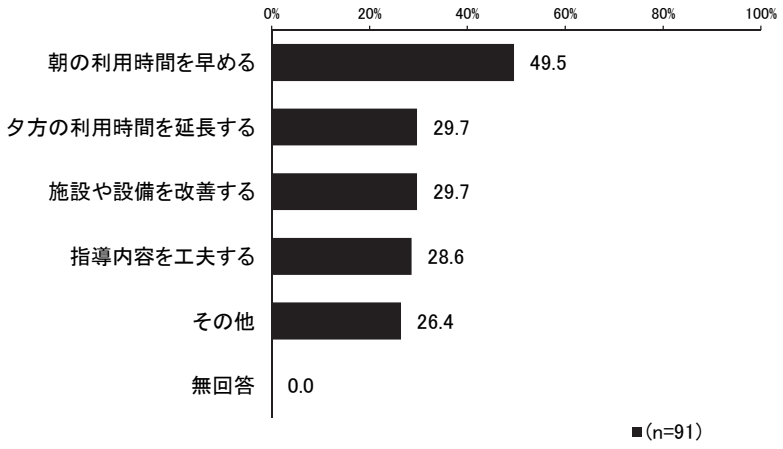
図　放課後児童会への要望の有無



(n=138)

要望の内容は、「朝の利用時間を早める」が 49.5%で最も高く、次いで「夕方の利用時間を延長する」と「施設や設備を改善する」がともに 29.7%、「指導内容を工夫する」が 28.6%、「その他」が 26.4%とほぼ同率で続いています。

図　要望の内容

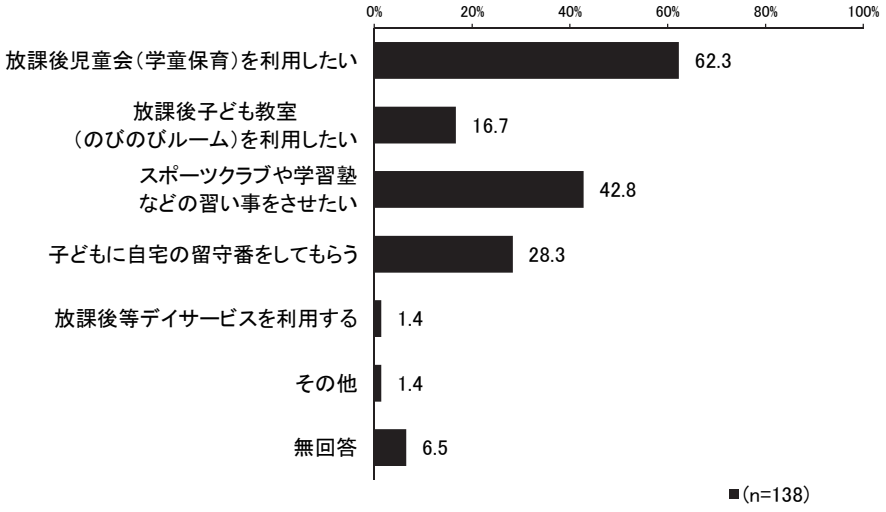


（６）放課後児童会利用者の小学４年生以降の過ごし方

問 12-4　小学４年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「１.」を選択した場合は、（　　）内に具体的な数字を入れてください。

放課後児童会利用者の小学 4 年生以降の過ごし方は、「放課後児童会（学童保育）を利用したい」が 62.3%で 6 割強を占め、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が 42.8%、「子どもに自宅の留守番をしてもらう」が 28.3%となっています。

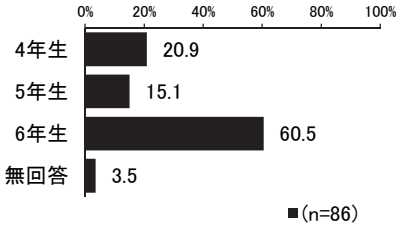
図　放課後児童会利用者の小学 4 年生以降の過ごし方



■利用を続けたい学年

利用を続けたい学年は、「6 年生」が 60.5%で最も高く、次いで「4 年生」が 20.9%、「5 年生」が 15.1%となっています。

図　利用を続けたい学年

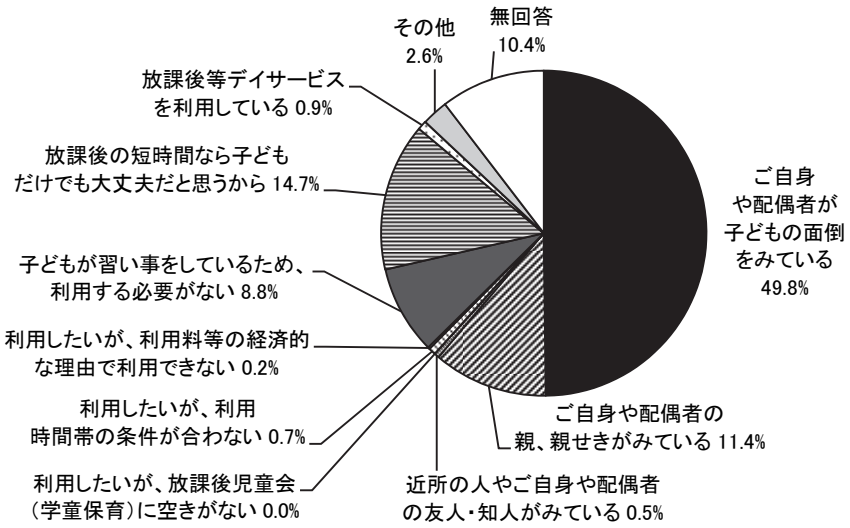


（７）放課後児童会を利用していない理由

問 13　放課後児童会（学童保育）を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

放課後児童会を利用していない理由は、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみている」が 49.8%で最も高く、次いで「放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 14.7%、「ご自身や配偶者の親、親せきがみています」が 11.4%、「子どもが習い事をしているため、利用する必要がない」が 8.8%となっています。

図　放課後児童会を利用していない理由



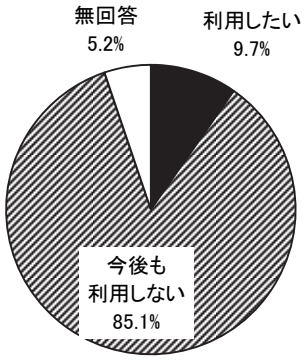
(n=422)

（８）放課後児童会の利用意向

問 13-1　封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、放課後児童会（学童保育）を利用したいとお考えですか。利用したいとお考えの場合は、あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（　　）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの施設やサービスを利用するにあたっては、一定の利用料が発生します。

図　放課後児童会の利用意向

放課後児童会の利用意向は、「利用したい」が 9.7%、「今後も利用しない」が 85.1%となっています。

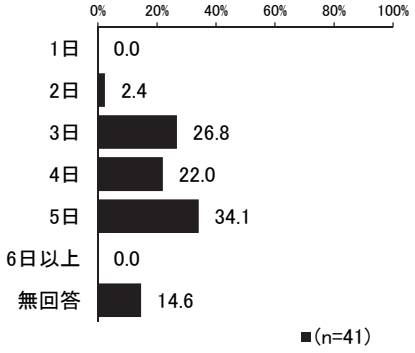


(n=422)

■1 週あたりの利用日数（平日）

図　放課後児童会の利用意向がある人の 1 週あたりの利用日数（平日）

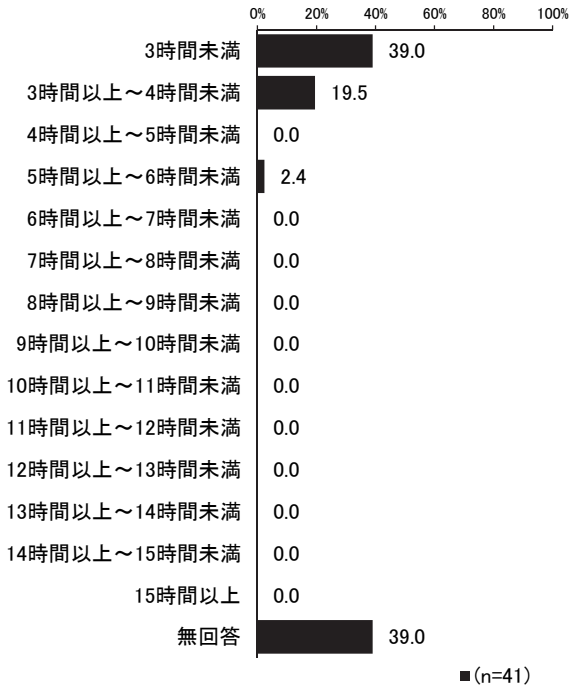
放課後児童会の利用意向がある人の１週あたりの利用日数（平日）は、「5 日」が 34.1%で最も高く、次いで「3 日」が 26.8%、「4 日」が 22.0%となっています。



■1 日あたりの利用時間（平日）

図　放課後児童会の利用意向がある人の 1 日あたりの利用時間（平日）

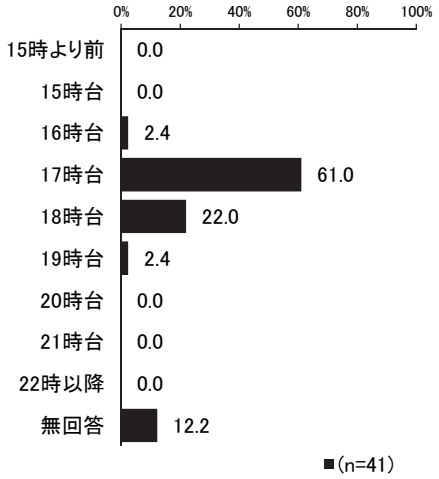
放課後児童会の利用意向がある人の 1 日あたりの利用時間（平日）は、「3 時間未満」が 39.0％で最も高く、次いで「3 時間以上～4 時間未満」が 19.5％、「5 時間以上～6 時間未満」が 2.4％となっています。



■利用終了時間（平日）

図　放課後児童会の利用意向がある人の利用終了時間（平日）

放課後児童会の利用意向がある人の利用終了時間（平日）は、「17 時台」が 61.0％で約 6 割を占め、次いで「18 時台」が 22.0％となっています。



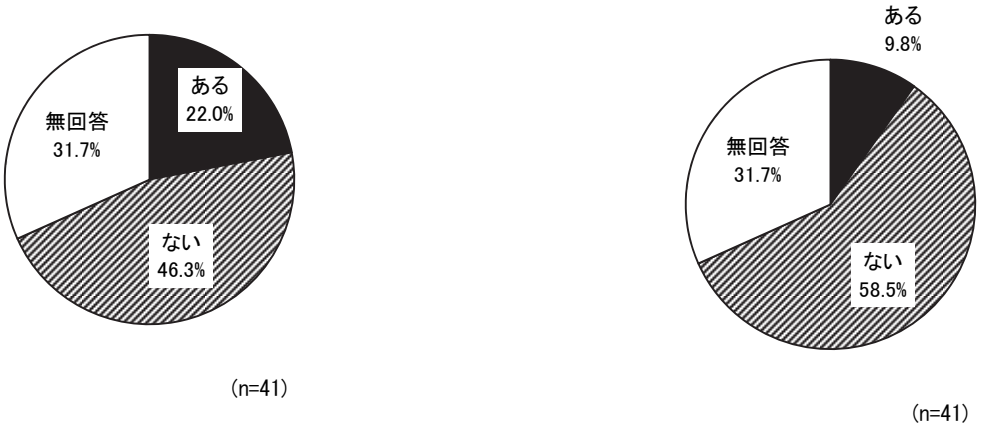
■土曜日、日曜日・祝日の利用意向

放課後児童会の利用意向がある人は、土曜日では「ある」が 22.0%、「ない」が 46.3%となっています。

日曜日・祝日では、「ある」が 9.8%、「ない」が 58.5%となっています。

日曜日・祝日は放課後児童会の利用意向のある人が土曜日の半分以下になっています。

図　放課後児童会の利用意向がある人の土曜日、日曜日・祝日の利用意向

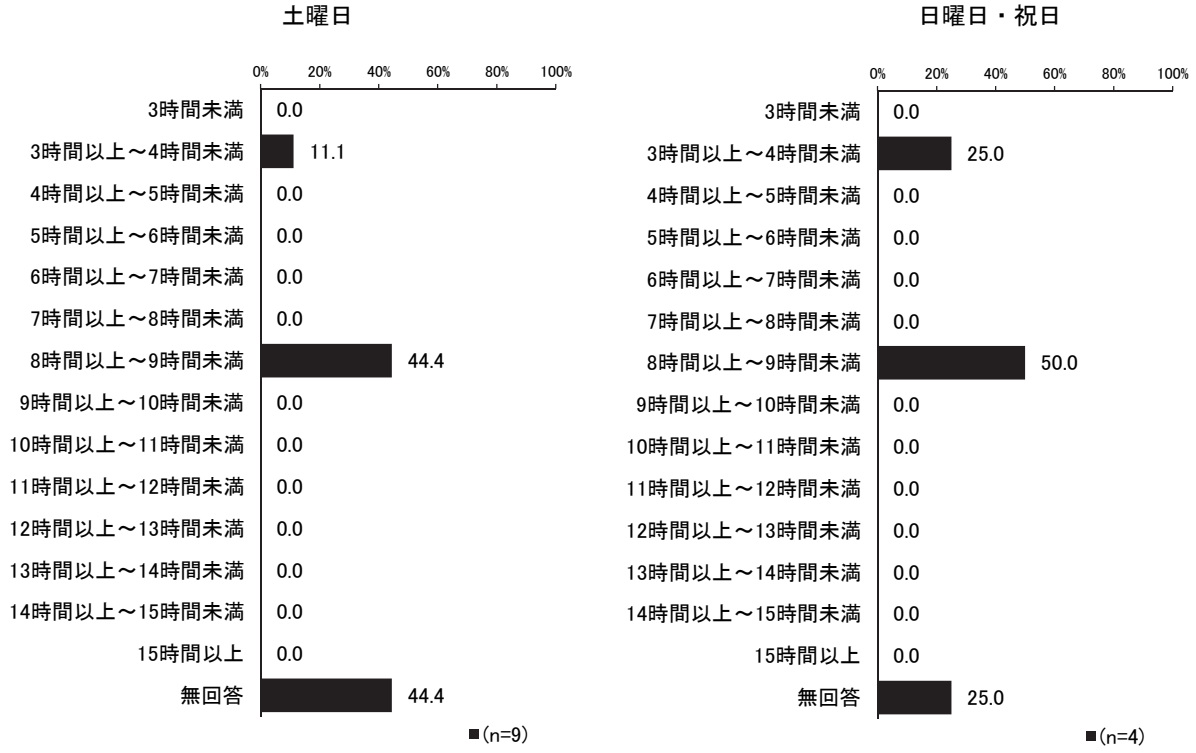


■1 週あたりの利用日数（土曜日、日曜日・祝日）

放課後児童会の利用意向がある人の 1 週あたりの利用日数は、土曜日では、「8 時間以上～9 時間未満」が 44.4%で最も高く、次いで「3 時間以上～4 時間未満」が 11.1%となっています。

日曜日・祝日では、「8 時間以上～9 時間未満」が 50.0%で半数を占め、「3 時間以上～4 時間未満」が 25.0%となっています。

図　放課後児童会の利用意向がある人の 1 週あたりの利用日数（土曜日、日曜日・祝日）

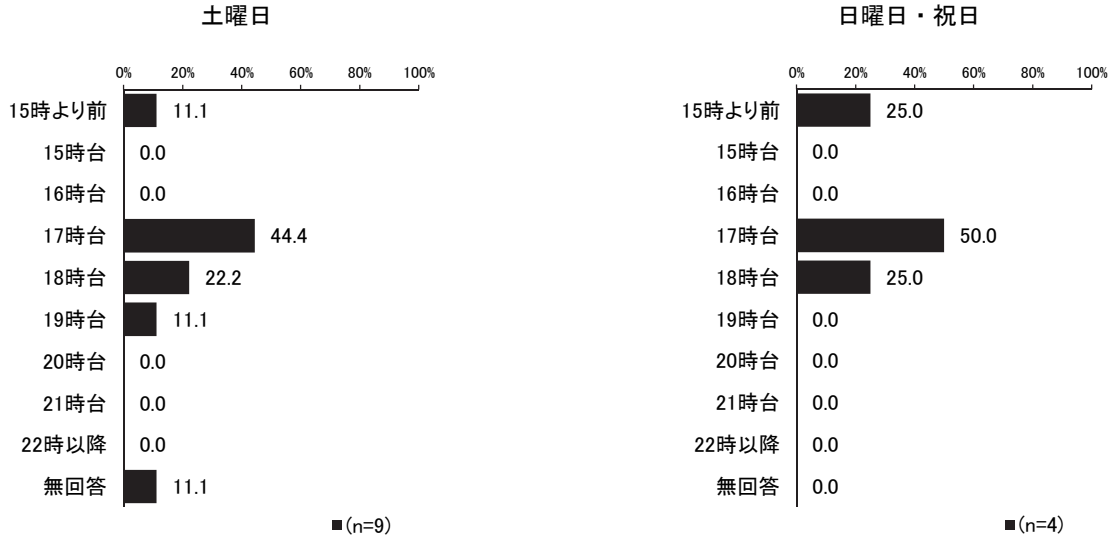


■利用終了時間（土曜日、日曜日・祝日）

放課後児童会の利用意向がある人の利用終了時間は、土曜日では、「17 時台」が 44.4%で最も高く、次いで「18 時台」が 22.2%、「15 時より前」と「19 時台」がともに 11.1%となっています。

日曜日・祝日では、「17 時台」が 50.0%で最も高く、次いで「15 時より前」と「18 時台」がともに 25.0%となっています。

図　放課後児童会の利用意向がある人の利用終了時間（土曜日、日曜日・祝日）



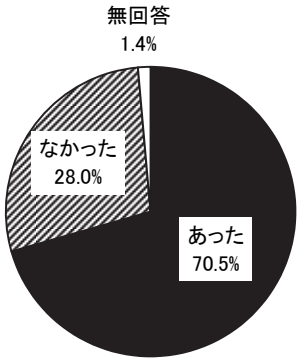
3. 病気になったときの対応や、一時預かりについて

（１）この一年に病気・ケガで学校を休んだ経験の有無

問 14　封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

この一年に病気・ケガで学校を休んだ経験の有無は、「あった」が 70.5%、「なかった」が 28.0%となっています。

図　この一年に病気・ケガで学校を休んだ経験の有無



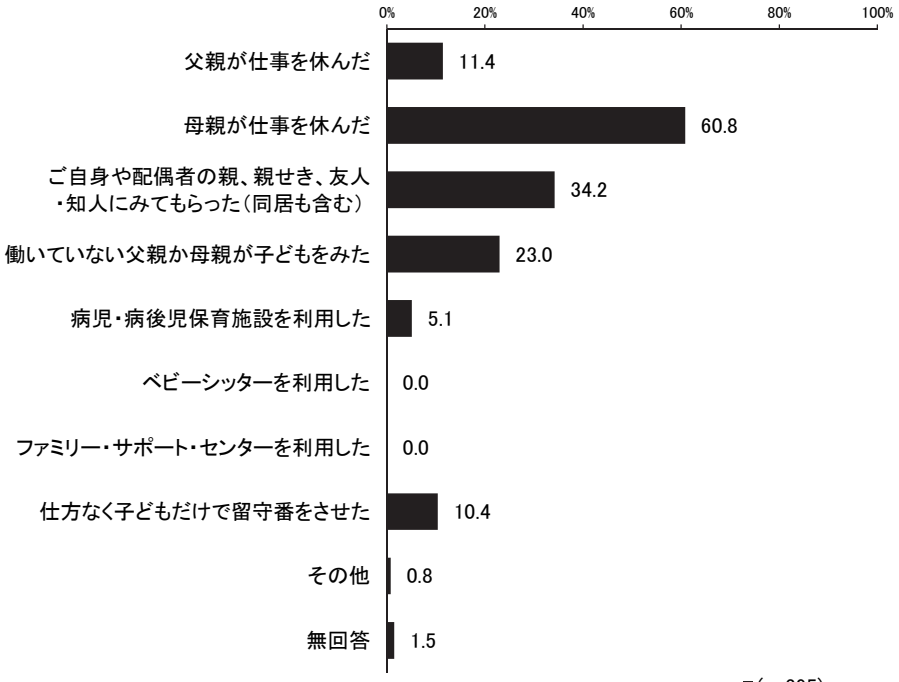
(n=560)

（２）病気・ケガで学校を休んだ時の対処方法

問 14-1　この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法はどれですか。あてはまる対処方法の番号すべてに○をつけ、その日数について（　　）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

病気・ケガで学校を休んだ時の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が 60.8%で最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居も含む）」が 34.2%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が 23.0%となっています。

図　病気・ケガで学校を休んだ時の対処方法



■(n=395)

■病気・ケガで学校を休んだ時の対処方法の日数

「1.病気・ケガで学校を休んだ時の対処方法の日数は、「父親が仕事を休んだ」では、「1 日」が 46.7%で最も高く、次いで「2 日」が 22.2%、「3 日」が 13.3%となっています。

「2.母親が仕事を休んだ」では、「1 日」が 28.3%で最も高く、次いで「2 日」が 19.2%、「3 日」が 14.6%、「5 日」が 12.1%となっています。

「3.ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居も含む）」では、「1 日」が 28.9%で最も高く、次いで「3 日」が 20.7%、「2 日」が 20.0%となっています。

「4.働いていない父親か母親が子どもをみた」では、「2 日」が 20.9%で最も高く、次いで「1 日」が 18.7%、「3 日」が 14.3%、「5 日」が 12.1%なっています。

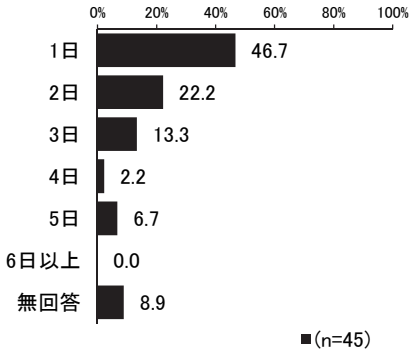
「5.病児・病後児保育施設を利用した」では、「1 日」と「2 日」がともに 30.0%で最も高く、次いで「3 日」と「5 日」がともに 15.0%となっています。

「8.仕方なく子どもだけで留守番をさせた」では、「1 日」が 41.5%で最も高く、次いで「2 日」が 24.4%、「3 日」が 9.8%となっています。

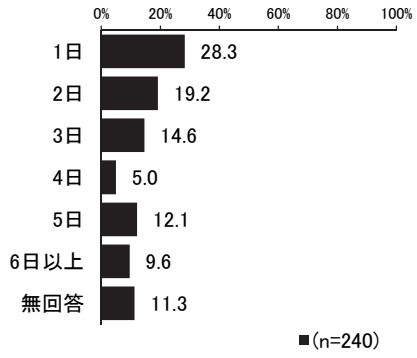
「9.その他」では、「1 日」と「2 日」がともに 33.3%となっています。

図　病気・ケガで学校を休んだ時の対処方法の日数

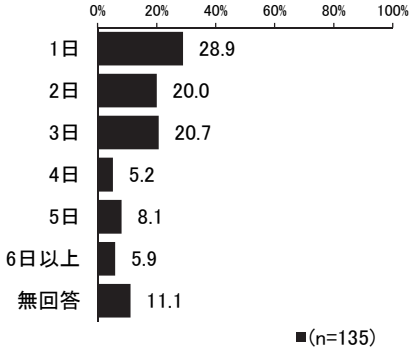
1. 父親が仕事を休んだ



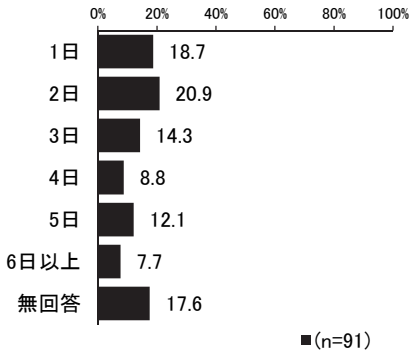
2. 母親が仕事を休んだ



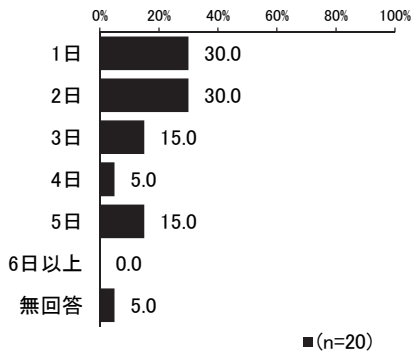
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居も含む）



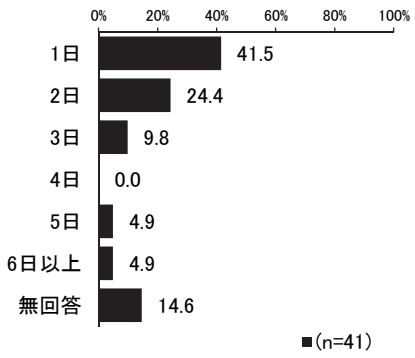
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた



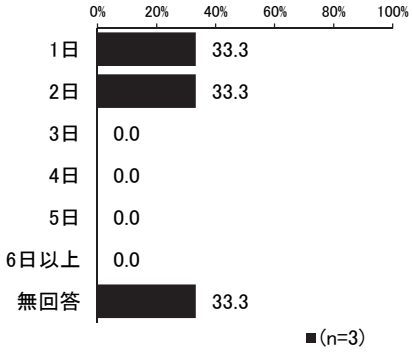
5. 病児・病後児保育施設を利用した



8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



9. その他



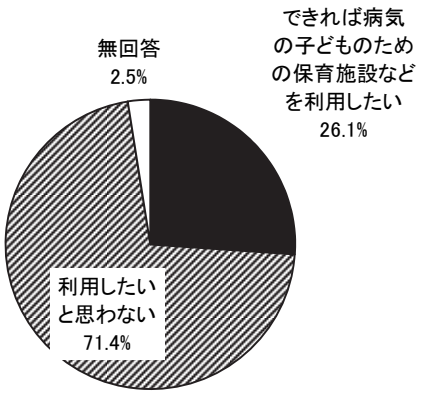
※「6.ベビーシッターを利用した」「7.ファミリー・サポート・センターを利用した」は回答がないためグラフを省略しています。

（3）仕事を休んだ時、病気の子どものための保育施設などを利用したいと思ったか

問 14-2　お子さんの病気のために仕事を休んだ際、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に１つだけ○をつけ、希望がある方は（　　）内に具体的な数字を入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するにあたっては、一定の利用料が発生します。

図　仕事を休んだ時、病気の子どものための保育施設などを利用したいと思ったか

「仕事を休んだ時、病気の子どものための保育施設などを利用したいと思ったか」は、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が 26.1%、「利用したいと思わない」が 71.4%となっています。

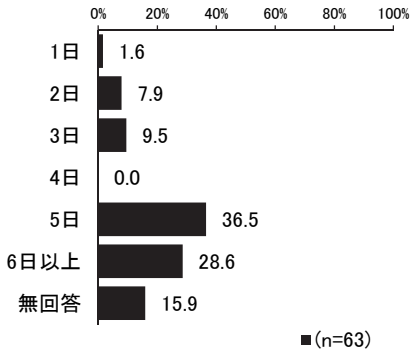


(n=241)

■年間日数

図　病気の子どものための保育施設の年間利用希望日数

病気の子どものための保育施設の年間利用希望日数は、「5 日」が 36.5%で最も高く、次いで「6 日以上」が 28.6%、「3 日」が 9.5%、「2 日」が 7.9%となっています。

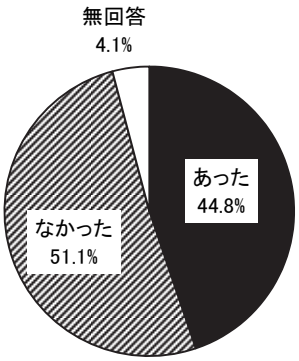


（４）年間で家族以外に子どもを預けた経験

問 15　私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あった場合は、あてはまる対処方法の番号すべてに○をつけ、その対処方法ごとに１年間のおおよその日数を記入してください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

図　年間で家族以外に子どもを預けた経験の有無

年間で家族以外に子どもを預けた経験の有無は、「あった」が 44.8%、「なかった」が 51.1%と「なかった」のほうが高くなっています。

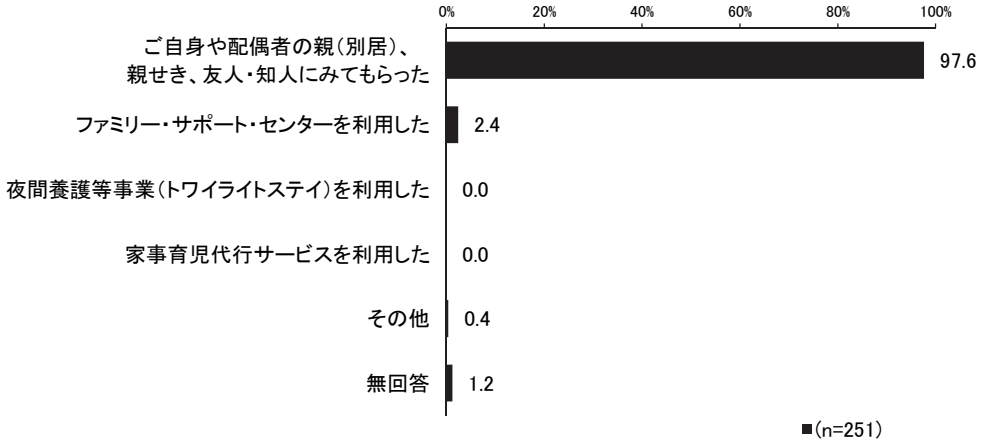


(n=560)

■子どもを家族以外に預けた時の対処方法

子どもを家族以外に預けた時の対処方法は、「ご自身や配偶者の親（別居）、親せき、友人・知人にみてもらった」が 97.6%で多数を占めています。

図　子どもを家族以外に預けた時の対処方法



■(n=251)

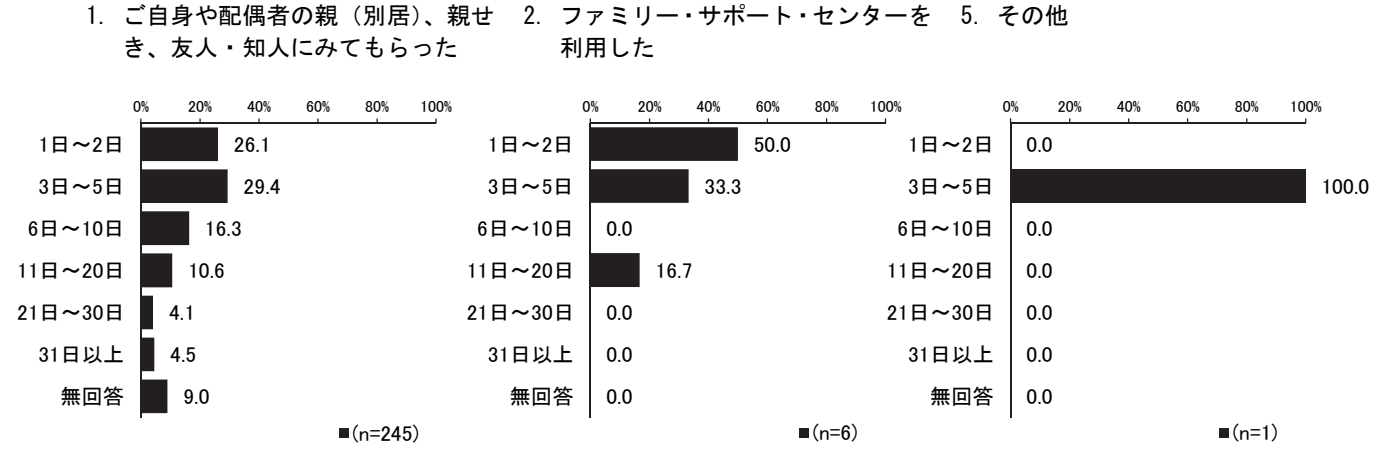
■子どもを家族以外に預けた時の対処方法の日数

子どもを家族以外に預けた時の対処方法の日数は、「1.ご自身や配偶者の親（別居）、親せき、友人・知人にみてもらった」では、「3 日～5 日」が 29.4%で最も高く、次いで「1 日～2 日」が 26.1%、「6 日～10 日」が 16.3%となっています。

「2.ファミリー・サポート・センターを利用した」では、「1 日～2 日」が 50.0%で最も高く、次いで「3 日～5 日」が 33.3%、「11 日～20 日」が 16.7%となっています。

「5.その他」では、「3 日～5 日」が 100.0%となっています。

図　子どもを家族以外に預けた時の対処方法の日数



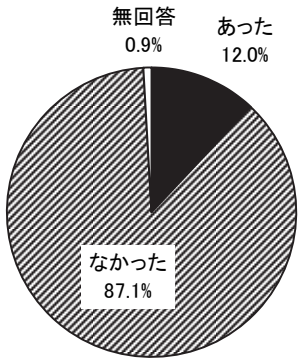
※「3.夜間養護等事業（トワイライトステイ）を利用した」「家事育児代行サービスを利用した」は、回答がないためグラフを省略しています。

（５）泊りがけで子どもを家族以外に預けた状況

問 16　この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、泊まりがけで家族以外の誰かにみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、あてはまる対処方法の番号すべてに○をつけ、その対処方法ごとに１年間のおおよその日数を記入してください。（半日程度についても１日としてカウントしてください）

泊りがけで子どもを家族以外に預けた状況の有無は、「あった」が 12.0%、「なかった」が 87.1%となっています。

図　泊りがけで子どもを家族以外に預けた状況の有無

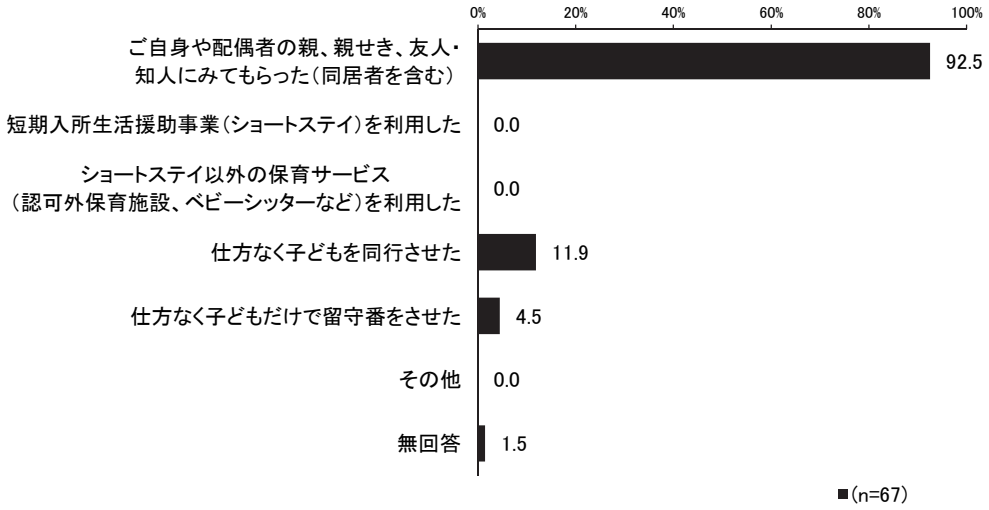


(n=560)

■泊りがけで家族以外に預けた時の対処方法

泊りがけで家族以外に預けた時の対処方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居者を含む）」が 92.5%で多数を占め、「仕方なく子どもを同行させた」が 11.9%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 4.5%となっています。

図　泊りがけで家族以外に預けた時の対処方法



■泊りがけで家族以外に預けた時の対処方法の日数

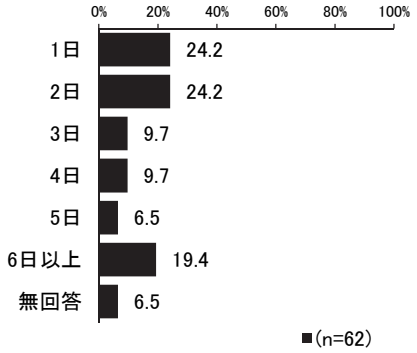
「1 日」と「2 日」がともに 24.2%で最も高く、次いで「6 日以上」が 19.4%、「3 日」と「4 日」がともに 9.7%、「5 日」が 6.5%となっています。

「1 日」が 50.0%で最も高く、次いで「3 日」が 25.0%、「4 日」が 12.5%となっています。

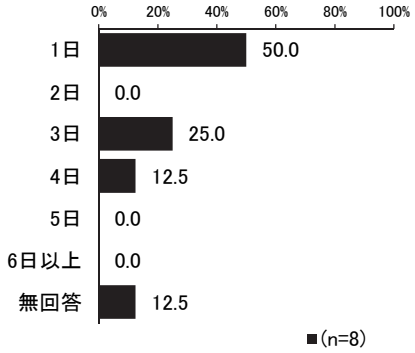
「1 日」、「2 日」、「4 日」がいずれも 33.3%で最も高く、次いで「3 日」、「5 日」、「6 日以上」がいずれも 0.0%となっています。

図　子どもを家族以外に預けた時の対処方法の日数

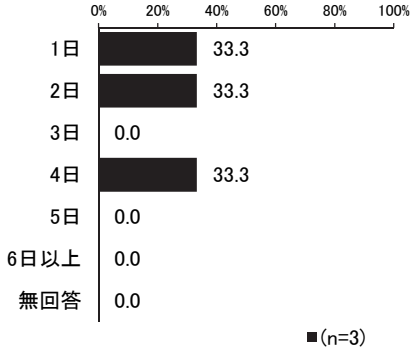
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居者を含む）



4. 仕方なく子どもを同行させた



5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



※「2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」「3. ショートステイ以外の保育サービス（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した」「6. その他」は、回答がないためグラフを省略しています。

4. 仕事と子育ての両立について

（1）子どもと過ごす時間

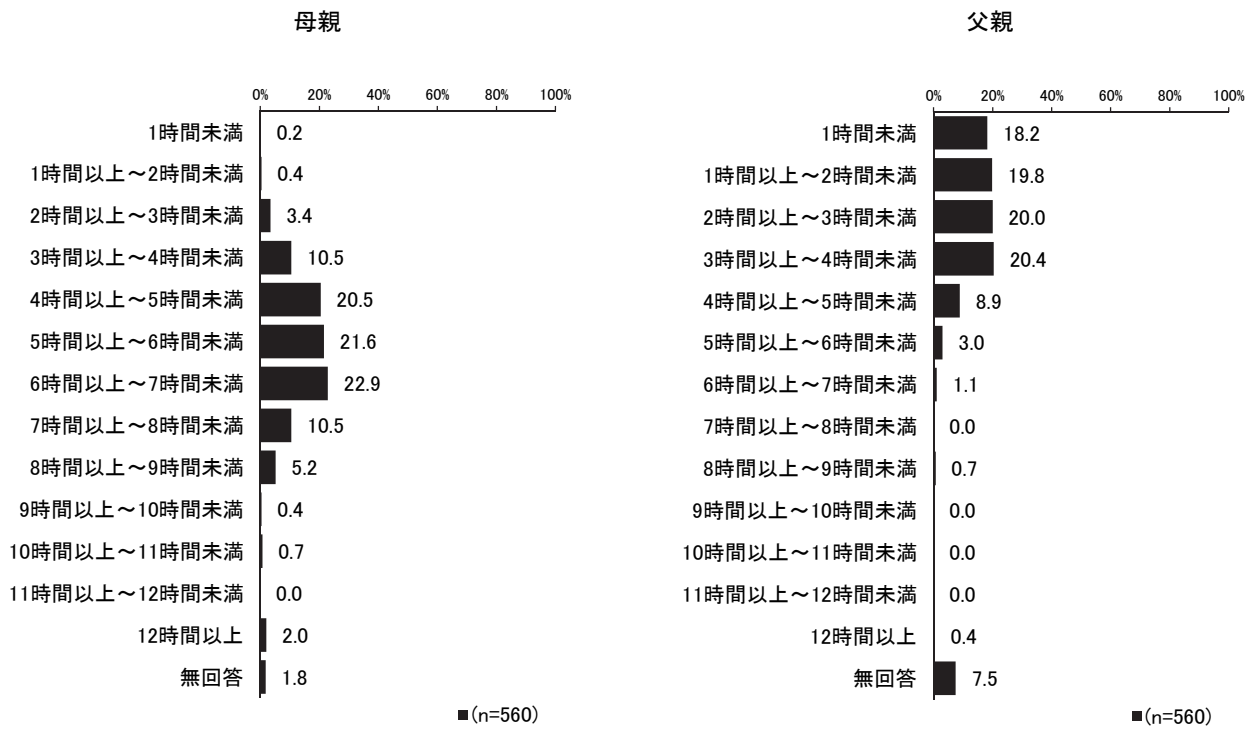
問 17　１日当たり、お子さんと一緒に過ごす時間（睡眠時間を含まない）はどのくらいですか。（　　）内に具体的な数字を記入してください。また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

■平日に子どもと過ごす時間

平日に子どもと過ごす時間は、母親では「6 時間以上～7 時間未満」が 22.9%で最も高く、次いで「5 時間以上～6 時間未満」が 21.6%、「4 時間以上～5 時間未満」が 20.5%となっています。

父親では「3 時間以上～4 時間未満」が 20.4%で最も高く、次いで「2 時間以上～3 時間未満」が 20.0%、「1 時間以上～2 時間未満」が 19.8%、「1 時間未満」が 18.2%となっています。

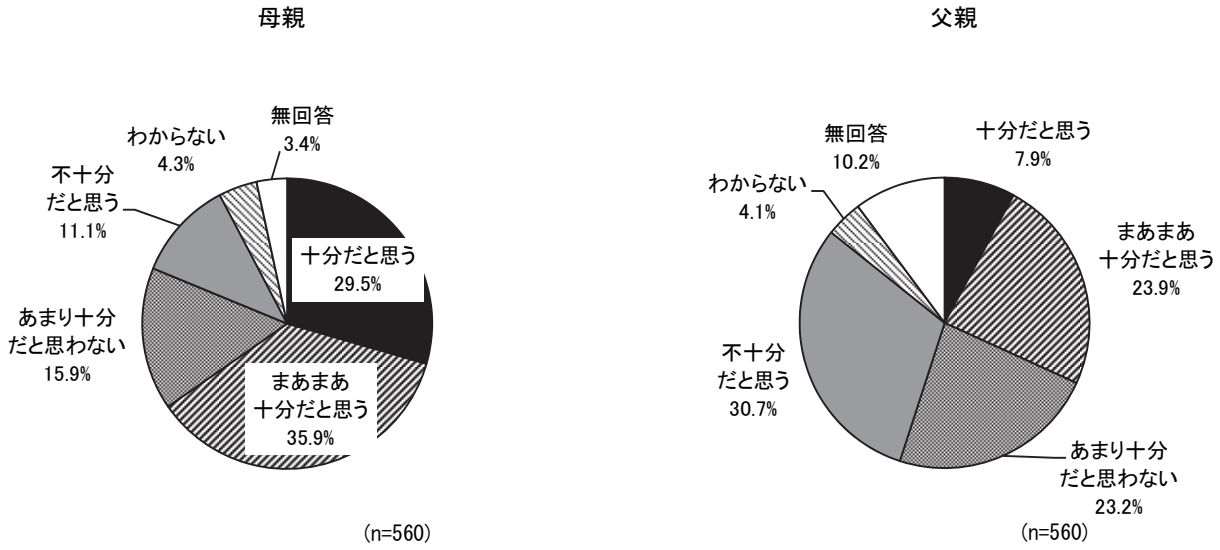
図　平日に子どもと過ごす時間



平日に子どもと過ごす時間への意識は、母親では「まあまあ十分だと思う」が 35.9%で最も高く、次いで「十分だと思う」が 29.5%、「あまり十分だと思わない」が 15.9%、「不十分だと思う」が 11.1%となっています。

父親では「不十分だと思う」が 30.7%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が 23.9%、「あまり十分だと思わない」が 23.2%となっています。

図　平日に子どもと過ごす時間への意識

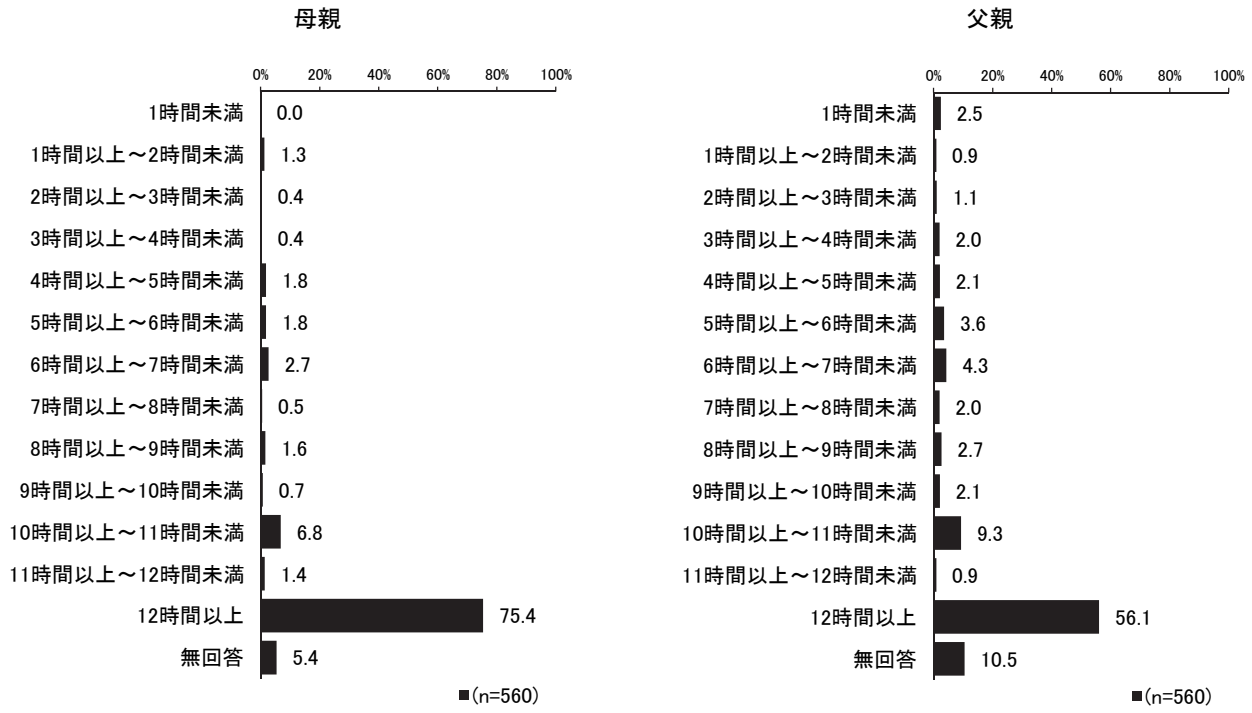


■休日に子どもと過ごす時間

休日に子どもと過ごす時間は、母親では「12 時間以上」が 75.4%で最も高くなっています。

父親では「12 時間以上」が 56.1%で最も高く、次いで「10 時間以上～11 時間未満」が 9.3%となっています。

図　休日に子どもと過ごす時間

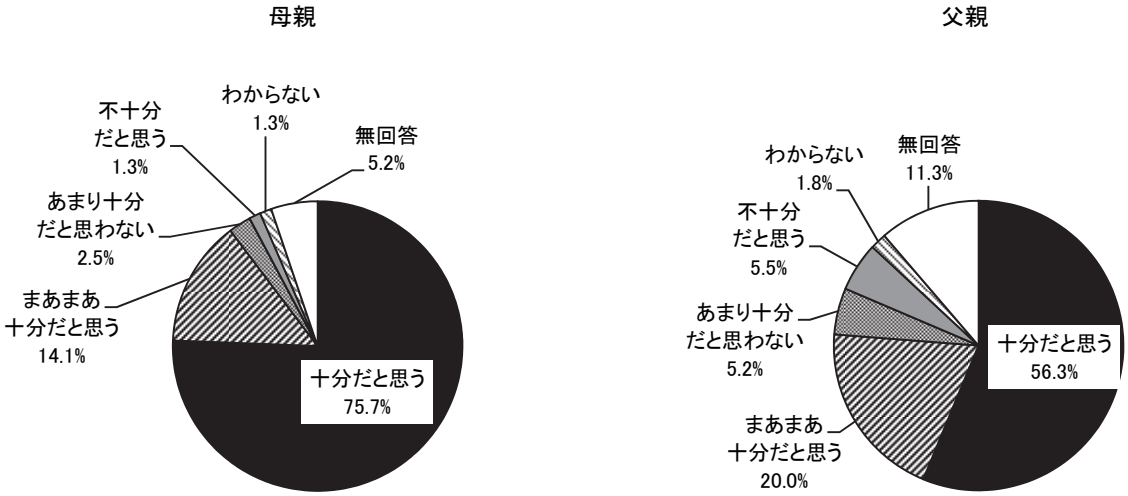


休日に子どもと過ごす時間への意識は、母親では、「十分だと思う」が 75.7%で最も高く、「まあまあ十分だと思う」が 14.1%、「あまり十分だと思わない」が 2.5%となっています。

父親では、「十分だと思う」が 56.3%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が 20.0%、「不十分だと思う」が 5.5%、「あまり十分だと思わない」が 5.2%となっています。

「十分だと思う」+「まあまあ十分だと思う」を合わせると、母親の約 9 割、父親の約 8 割が子どもと過ごす時間は十分であると感じているようです。

図　休日に子どもと過ごす時間への意識



（２）家事時間

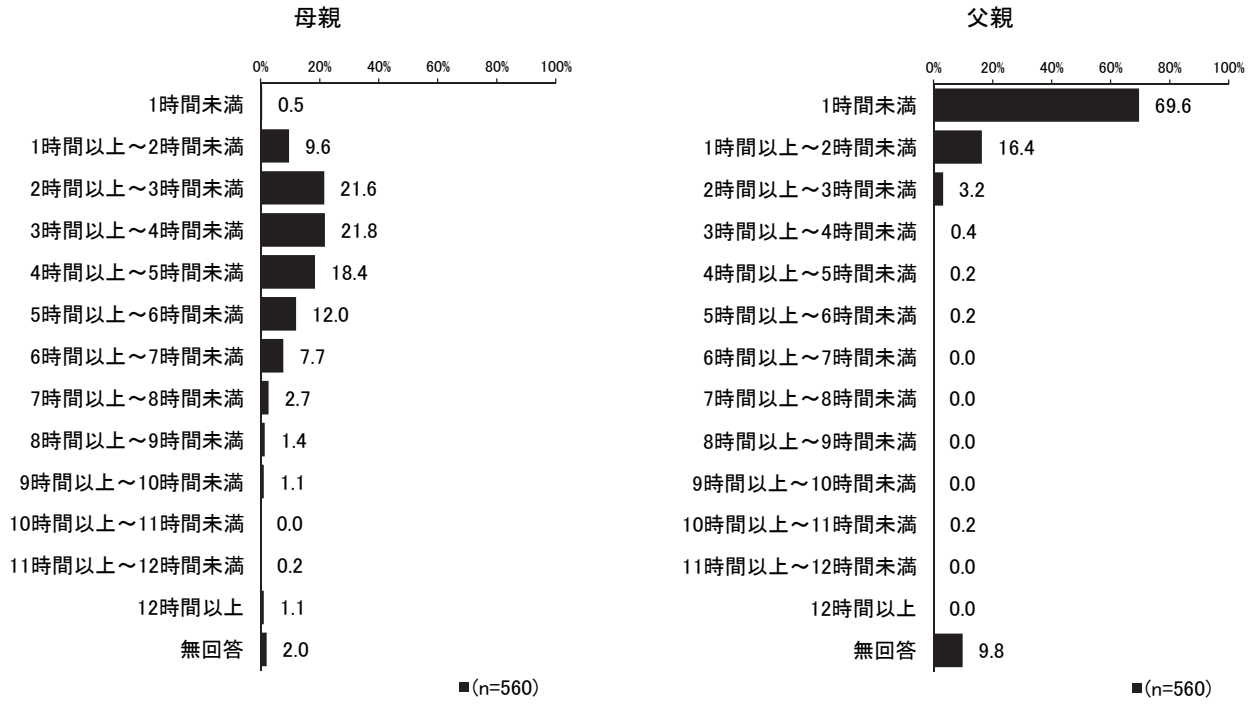
問 18　１日当たり、家事（育児は除く）を何時間くらいしますか。（　　）内に具体的な数字を記入してください。

■平日の家事時間

平日の家事時間は、母親では、「3 時間以上～4 時間未満」が 21.8％で最も高く、次いで「2 時間以上～3 時間未満」が 21.6％、「4 時間以上～5 時間未満」が 18.4％となっています。

父親では、「1 時間未満」が 69.6％で最も高く、次いで「1 時間以上～2 時間未満」が 16.4％となっています。

図　平日の家事時間

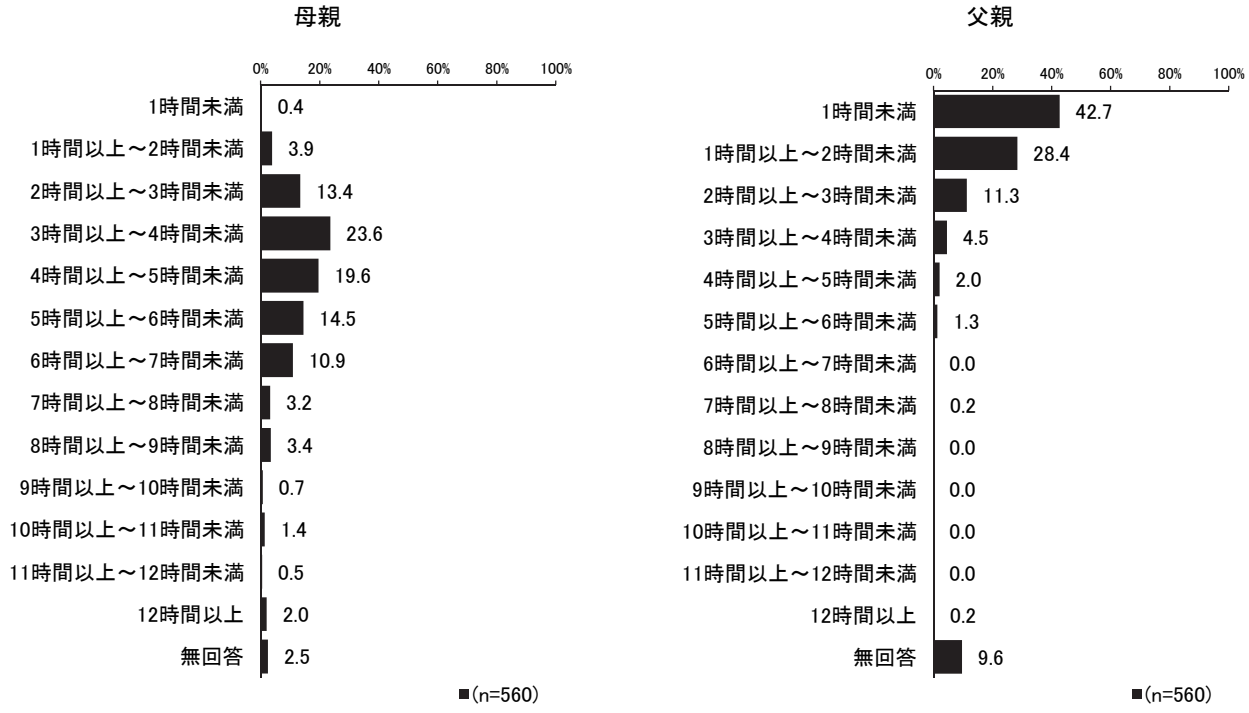


■休日の家事時間

休日の家事時間は、母親では、「3 時間以上～4 時間未満」が 23.6%で最も高く、次いで「4 時間以上～5 時間未満」が 19.6%、「5 時間以上～6 時間未満」が 14.5%、「2 時間以上～3 時間未満」が 13.4%、「6 時間以上～7 時間未満」が 10.9%となっています。

父親では、「1 時間未満」が 42.7%で最も高く、次いで「1 時間以上～2 時間未満」が 28.4%、「2 時間以上～3 時間未満」が 11.3%となっています。

図　休日の家事時間

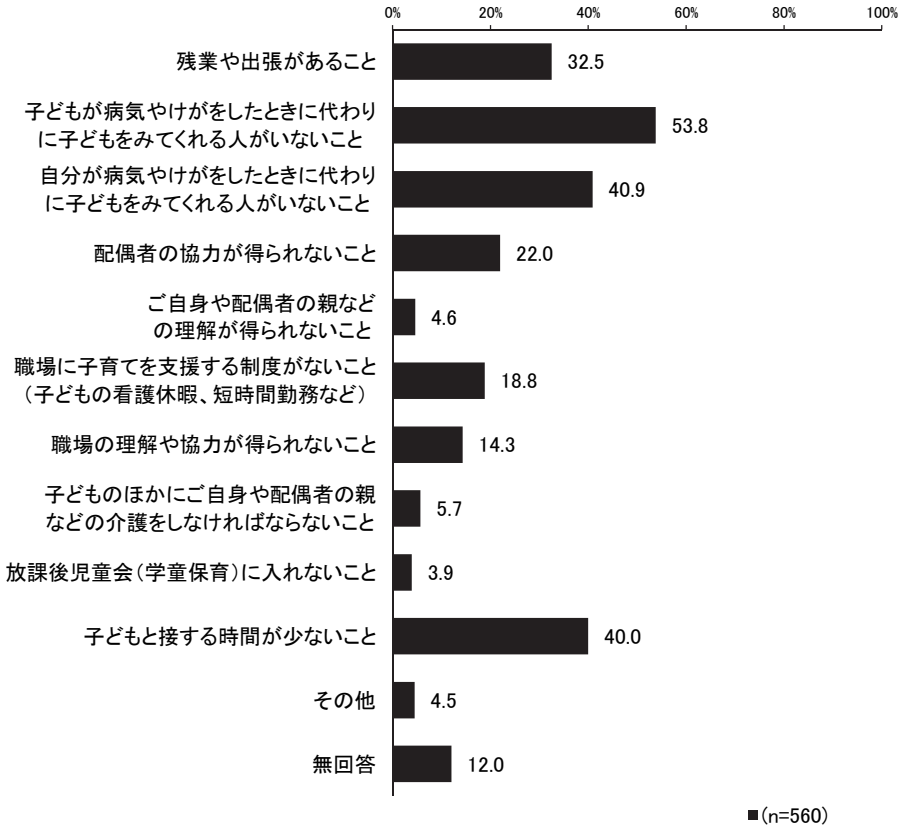


（3）仕事と子育てを両立させる上での大変だと思うこと

問 19　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事と子育てを両立させる上での大変だと思うことは、「子どもが病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 53.8%で最も高く、次いで「自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 40.9%、「子どもと接する時間が少ないこと」が 40.0%とほぼ同率となっています。

図　仕事と子育てを両立させる上での大変だと思うこと



5. 市役所などへの要望について

（1）子育て支援策への要望

問 20　柏原市の子育て支援策に対し、要望はありますか。ある場合、どのような子育て支援策を望みますか。あてはまる番号に５つまで○をつけてください。

子育て支援策への要望の有無は、「ある」が 87.1%、「特にない」が 11.4%となっています。

要望の内容は、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が 52.3%、次いで「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など)」が 49.2%、「子どもが病気やケガのときに安心して利用できる医療体制を整備する」が 48.8%と高くなっています。

図　子育て支援策への要望の有無

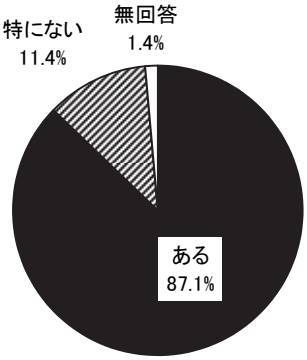
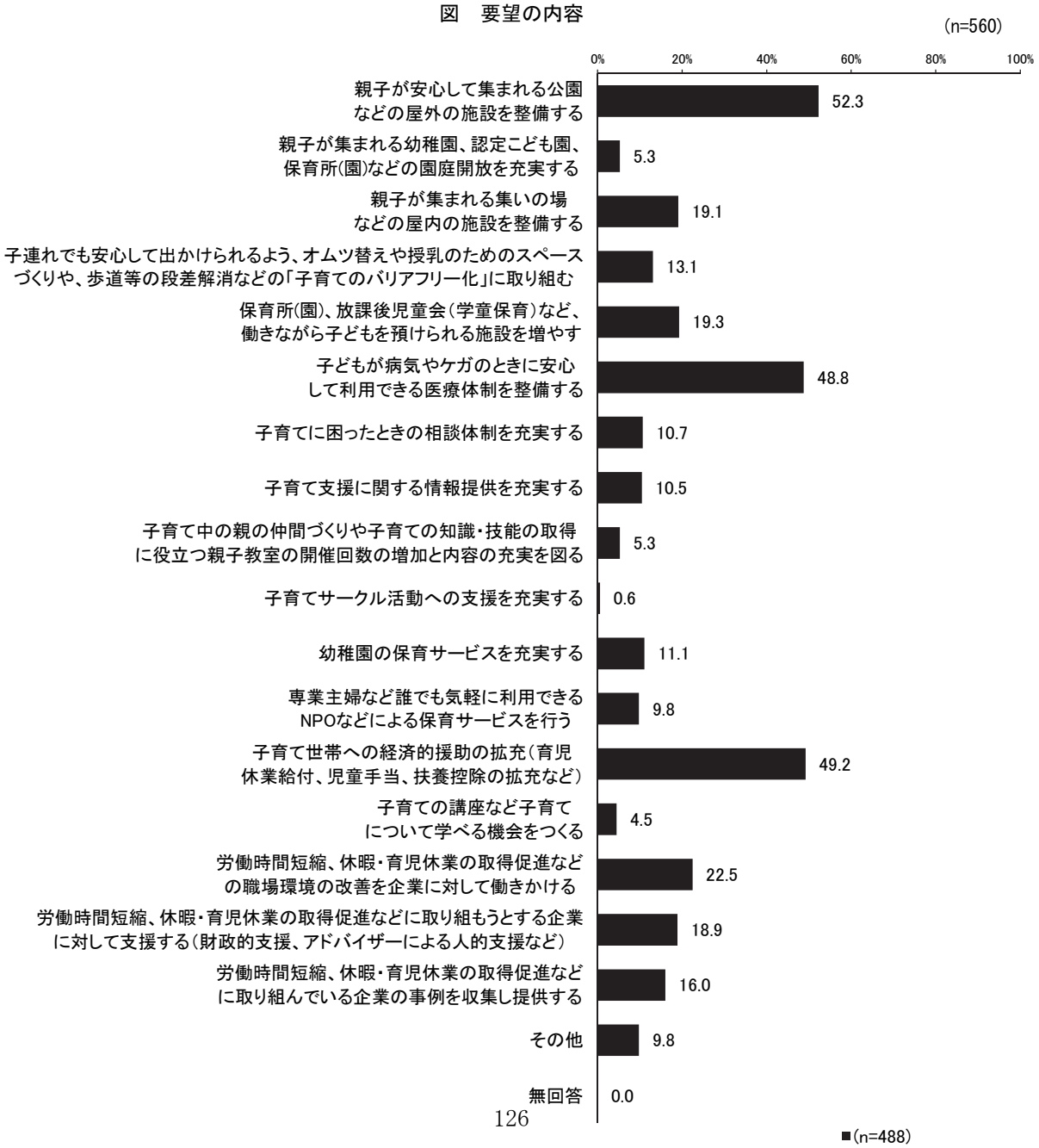


図　要望の内容



6. 生活習慣について

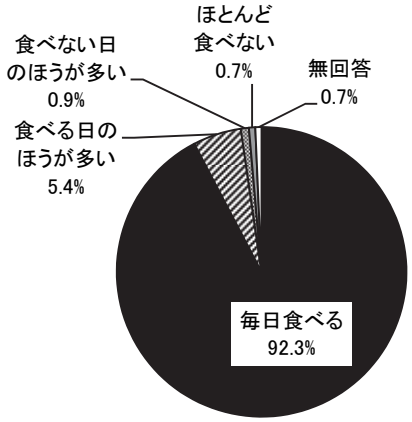
（１）お子さんの生活習慣

問21　お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

■①朝ごはんを食べますか

「朝ごはんを食べていますか」は、「毎日食べる」が 92.3%で多数を占め、「食べる日のほうが多い」が 5.4%、「食べない日のほうが多い」が 0.9%、「ほとんど食べない」が 0.7%となっています。

図　朝ごはんを食べているか

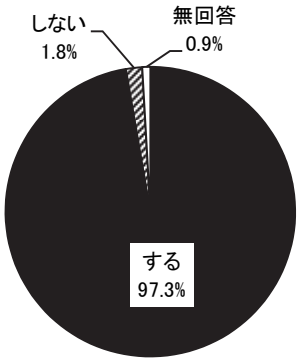


(n=560)

■②1 日 1 回は家族と一緒に食事をしますか

「1 日 1 回は家族と一緒に食事をしていますか」は、「する」が 97.3%、「しない」が 1.8%となっています。

図　1 日 1 回は家族と一緒に食事をしているか

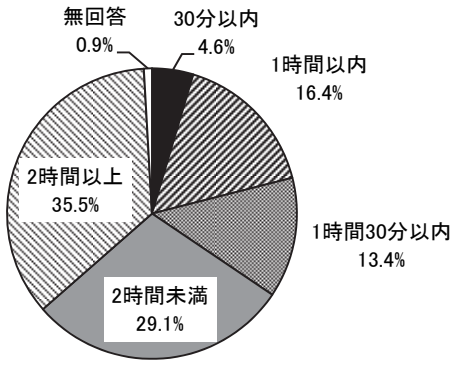


(n=560)

■③平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の１日当たり平均視聴時間は何時間ですか。

図　平日のテレビ・ビデオの１日当たり平均視聴時間

平日のテレビ・ビデオの 1 日当たり平均視聴時間は「2 時間以上」が 35.5%で最も高く、次いで「2 時間未満」が 29.1%、「1 時間以内」が 16.4%、「1 時間 30 分以内」が 13.4%となっています。

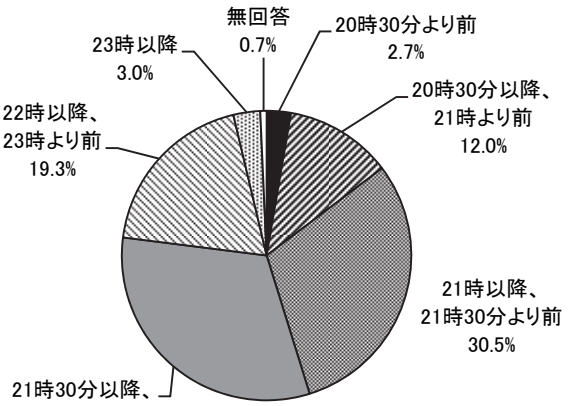


(n=560)

■④就寝時刻は何時ですか。

図　就寝時刻

就寝時刻は「21 時 30 分以降、22 時より前」が 31.8%で最も高く、次いで「21 時以降、21 時 30 分より前」が 30.5%、「22 時以降、23 時より前」が 19.3%となっています。



(n=560)

7. 普段の過ごし方について

（1）普段の過ごし方

問 22　平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で１番多いものについて、時間帯ごとに、（　　）内の選択肢の中からあてはまる番号を<u>１つだけ</u>選んで記入してください。

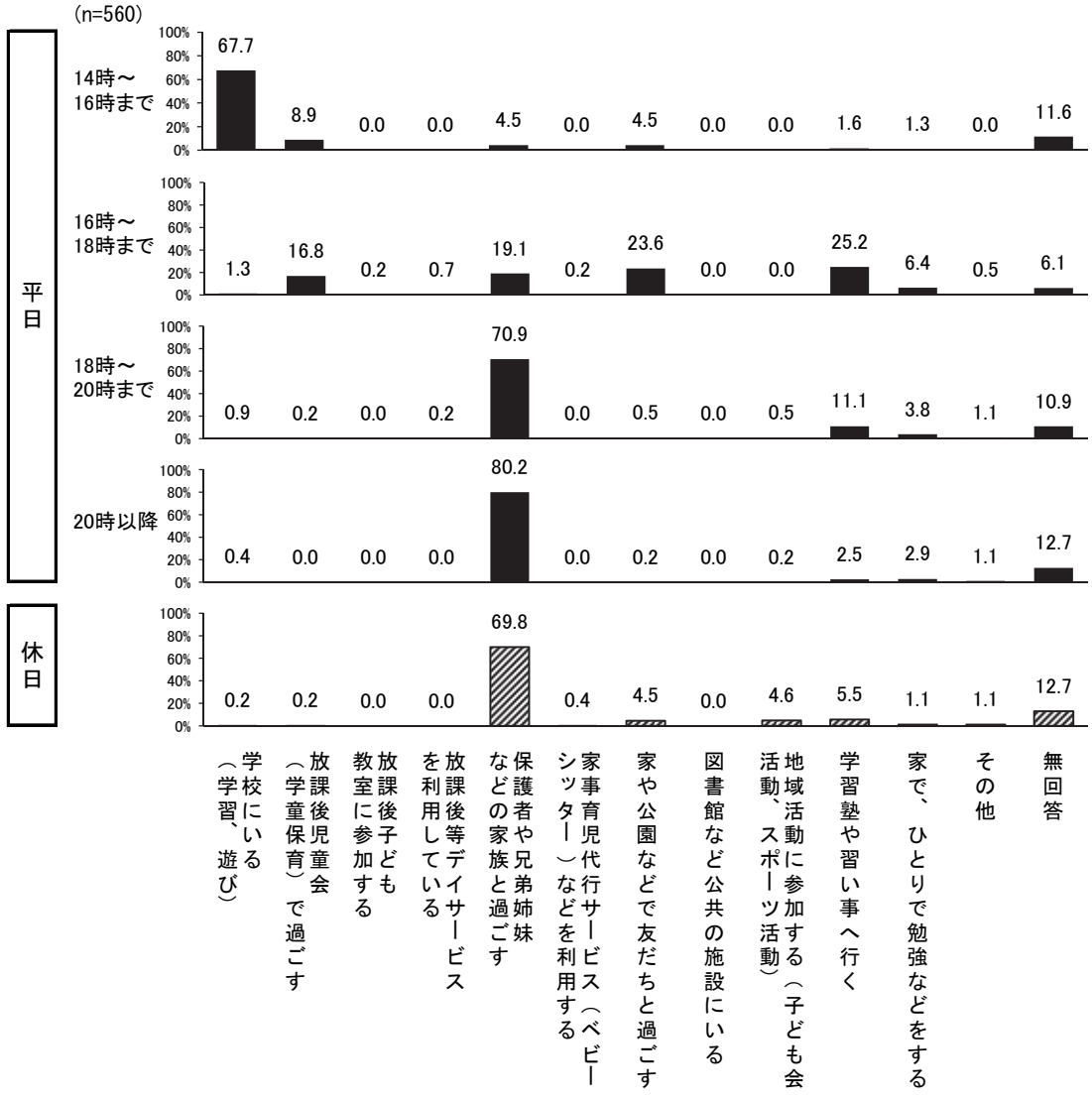
普段の過ごし方は、平日 14 時～16 時までは、「学校にいる（学習、遊び)」が 67.7%と高くなっています。

16 時～18 時までは、「学習塾や習い事へ行く」が 25.2%、「家や公園などで友だちと過ごす」が 23.6%、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が 19.1%、「放課後児童会（学童保育）で過ごす」が 16.8%となっています。

18 時～20 時までと 20 時以降では、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」がそれぞれ 70.9%、80.2%を占めています。

休日は、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が 69.8%で最も高く、次いで「学習塾や習い事へ行く」が 5.5%、「地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動)」が 4.6%、「家や公園などで友だちと過ごす」が 4.5%となっています。

図　普段の過ごし方



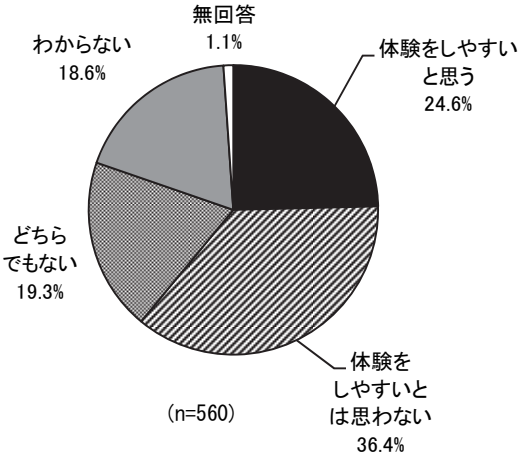
8. 地域での自然体験などへの参加などについて

（1）子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境か

問 23　お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境か

子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境かは、「体験をしやすいとは思わない」が 36.4%で最も高く、次いで「体験をしやすいと思う」が 24.6%、「どちらでもない」が 19.3%、「わからない」が 18.6%となっています。

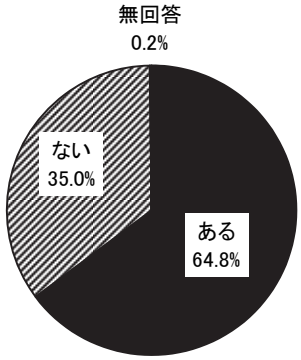


（２）自然体験、社会参加、文化活動などへの参加状況

問 24　地域での自然体験、社会参加、文化活動などに参加したことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

図　自然体験、社会参加、文化活動などへの参加の有無

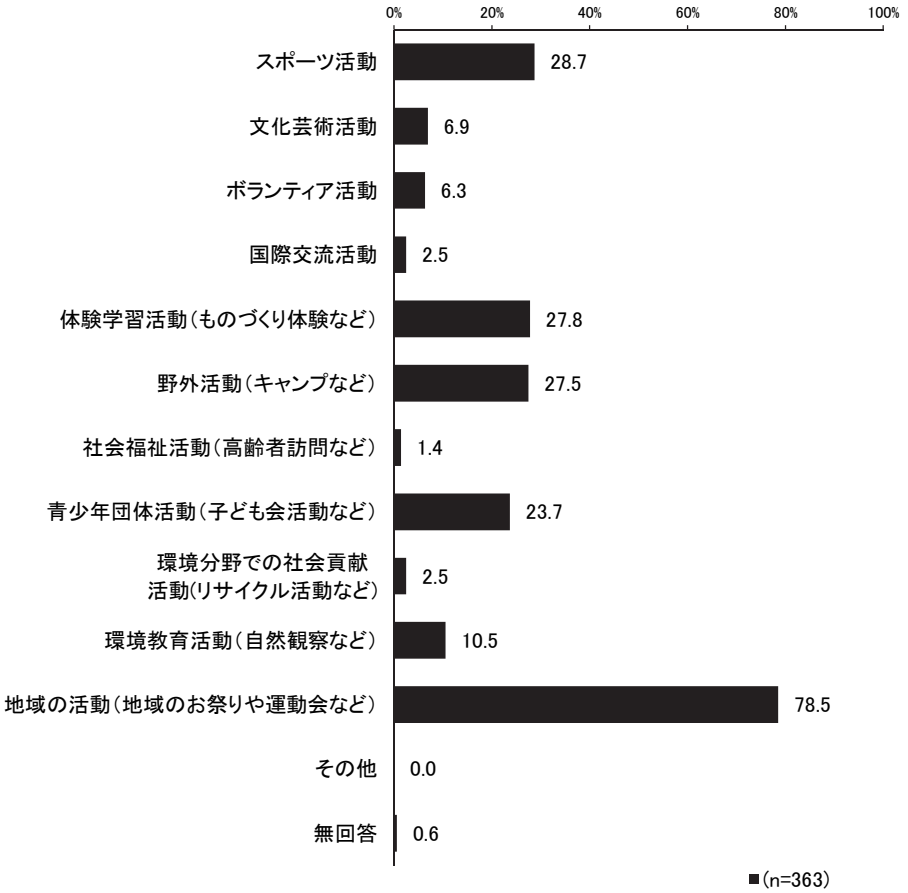
自然体験、社会参加、文化活動などへの参加の有無は、「ある」が 64.8%、「ない」が 35.0%となっています。



(n=560)

「地域の活動（地域のお祭りや運動会など)」が 78.5%で最も高く約 8 割を占め、次いで「スポーツ活動」が 28.7%、「体験学習活動（ものづくり体験など)」が 27.8%、「野外活動（キャンプなど)」が 27.5%、「青少年団体活動（子ども会活動など)」が 23.7%となっています。

図　参加の内容

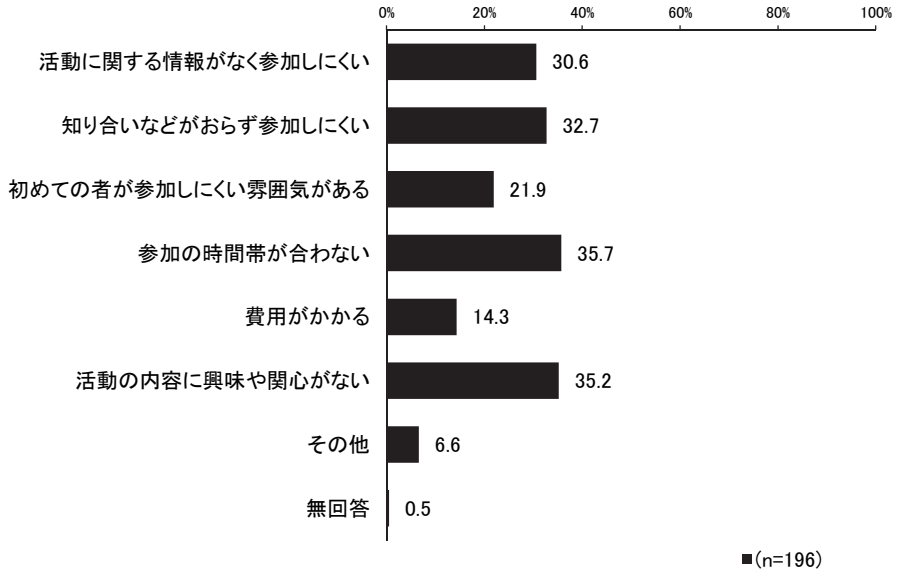


（３）自然体験、社会参加、文化活動などに参加していない理由

問 24-1　お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

自然体験、社会参加、文化活動などに参加していない理由は、「参加の時間帯が合わない」が 35.7%で最も高く、次いで「活動の内容に興味や関心がない」が 35.2%、「知り合いなどがおらず参加しにくい」が 32.7%、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が 30.6%となっています。

図　自然体験、社会参加、文化活動などに参加していない理由

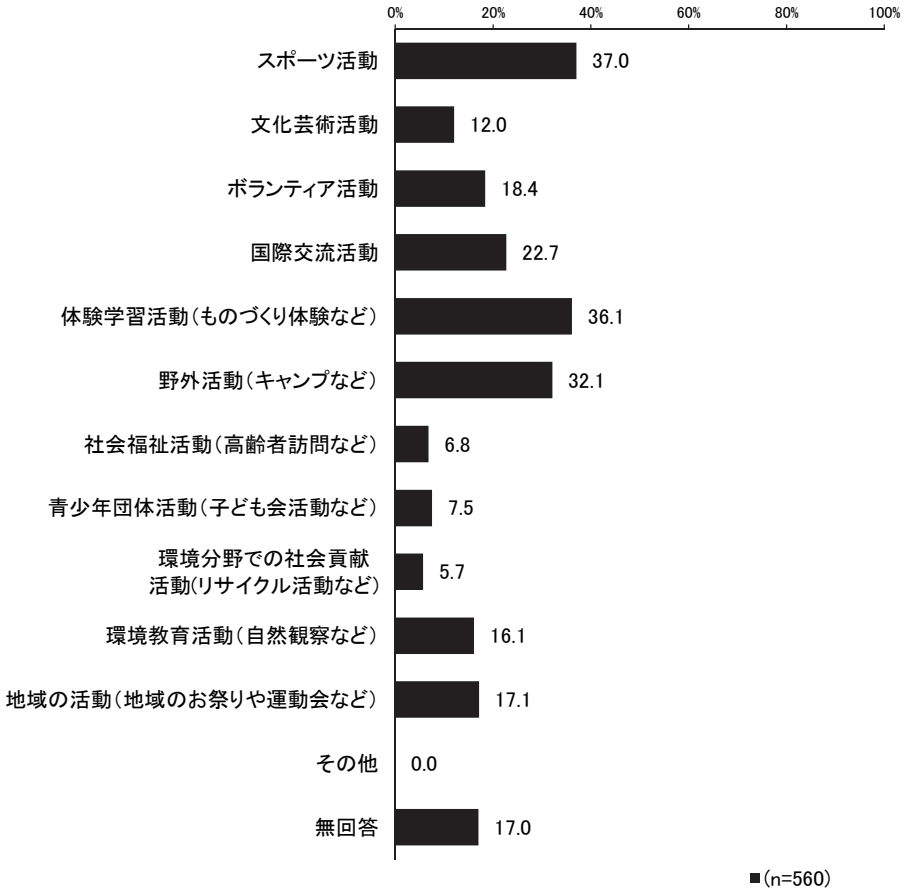


（４）参加させたい自然体験、社会参加、文化活動

問 25　お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

参加させたい自然体験、社会参加、文化活動は、「スポーツ活動」が 37.0％で最も高く、次いで「体験学習活動（ものづくり体験など)」が 36.1％、「野外活動（キャンプなど)」が 32.1％となっています。

図　参加させたい自然体験、社会参加、文化活動



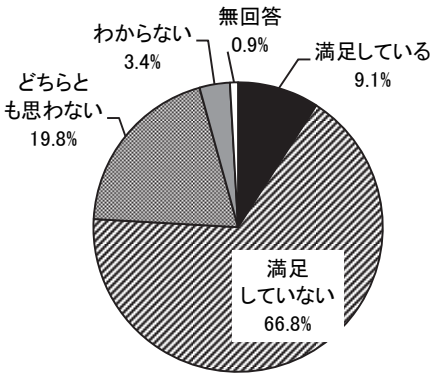
9. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

（１）地域の遊び場に関する満足度

問 26　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　地域の遊び場に関する満足度

地域の遊び場に関する満足度は、「満足していない」が 66.8%で最も高く、次いで「どちらとも思わない」が 19.8%、「満足している」が 9.1%となっています。



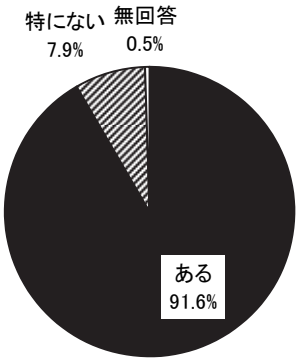
(n=560)

（２）地域の遊び場について感じていること

問 27　お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることはありますか。ある場合、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

図　地域の遊び場について感じていることの有無

地域の遊び場について感じていることは、「ある」が 91.6%、「特にない」が 7.9%となっています。

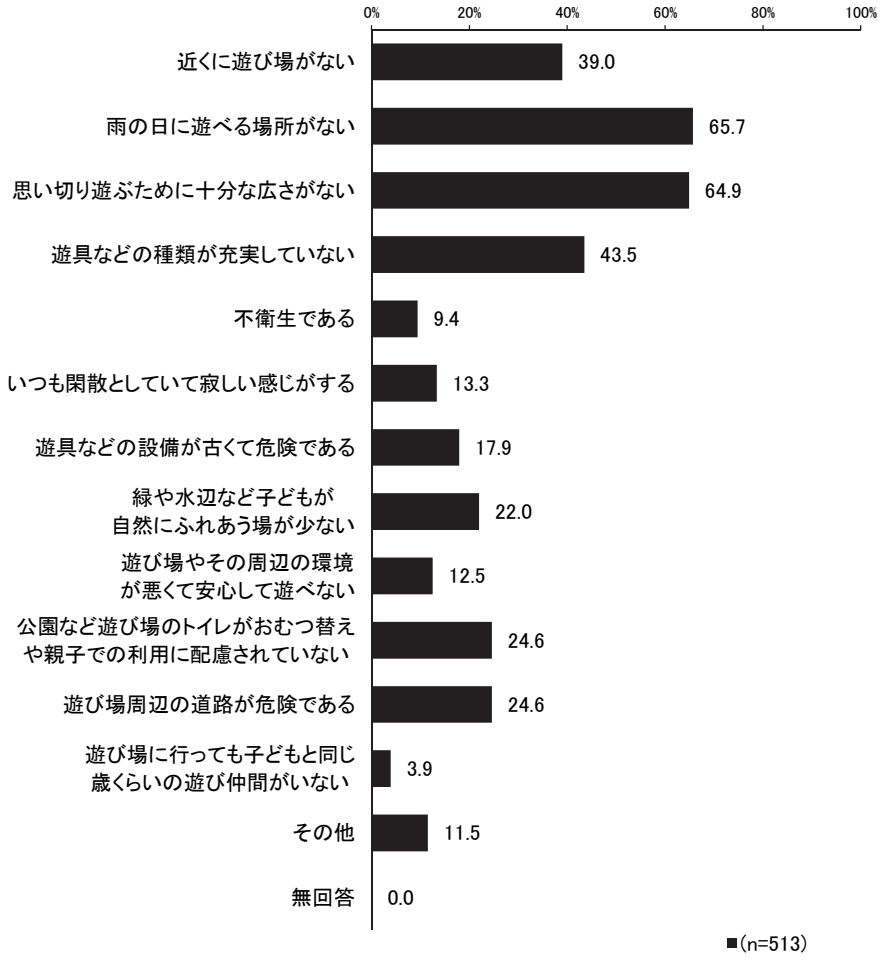


(n=560)

■感じているのことの内容

感じているのことの内容は「雨の日に遊べる場所がない」が 65.7%で最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が 64.9%、「遊具などの種類が充実していない」が 43.5%、「近くに遊び場がない」が 39.0%となっています。

図　感じているのことの内容



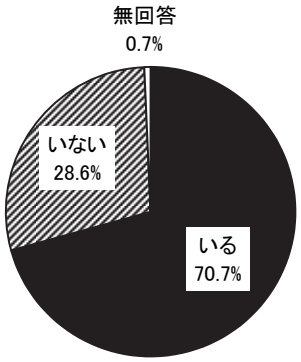
10. 子育てに対する意識について

（１）近所に日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいるか

問 28　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　近所に日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいるか

近所に日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいるかは、「いる」が 70.7%で 7 割を占め、「いない」が 28.6%となっています。



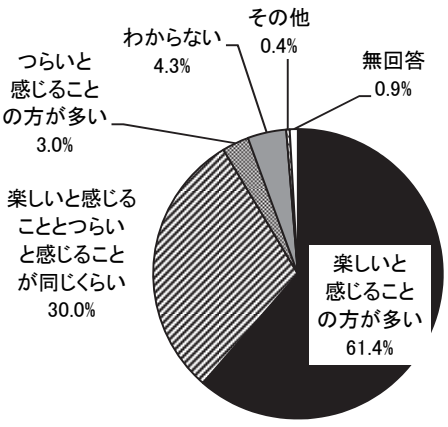
(n=560)

（２）子育ては楽しいことが多いか、つらいことが多いか

問 29　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　子育ては楽しいことが多いか、つらいことが多いか

子育ては楽しいことが多いか、つらいことが多いかは、「楽しいと感じることの方が多い」が 61.4%で 6 割強を占め、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が 30.0%、「わからない」が 4.3%、「つらいと感じることの方が多い」が 3.0%、「その他」が 0.4%となっています。



(n=560)

（３）有効な、必要な子育て支援・対策

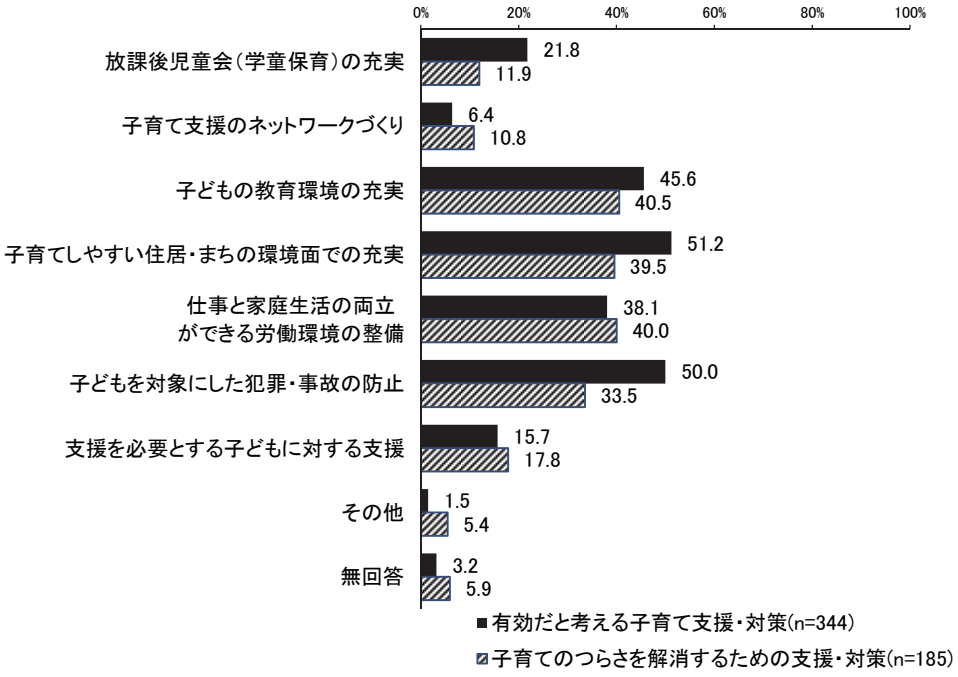
問 29-1　子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

問 29-2　あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に３つまで○をつけてください。

有効な、必要な子育て支援・対策は、「有効だと考える子育て支援・対策」は、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 51.2%で最も高く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の防止」が 50.0%、「子どもの教育環境の充実」が 45.6%となっています。

「子育てのつらさを解消するための支援・対策」は、「子どもの教育環境の充実」が 40.5%で最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 40.0%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 39.5%となっています。

図　有効な、必要な子育て支援・対策



（4）子育てに関して、日ごろ悩んでいること

問 30　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることはありますか。ある場合、それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関して、日ごろ悩んでいることの有無は、「ある」が 75.2%、「ない」が 23.2%となっています。

悩んでいる内容は、「子どもの教育に関すること」が 52.7%で最も高く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が 45.6%、「子どもの友だちづきあいに関すること」が 42.8%となっています。

図　子育てに関して、日ごろ悩んでいることの有無

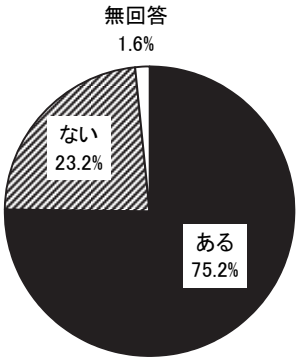
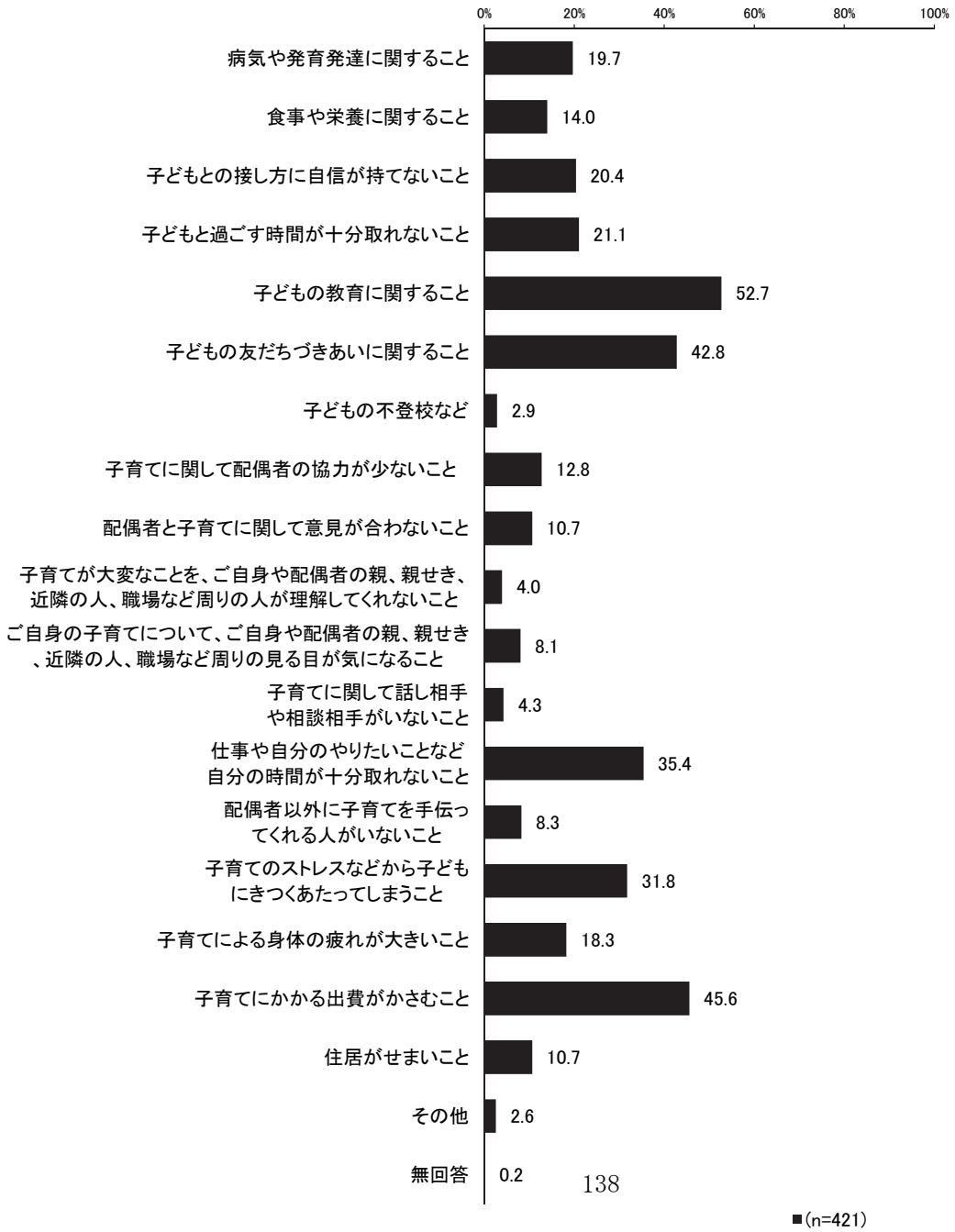


図　悩んでいる内容　(n=560)



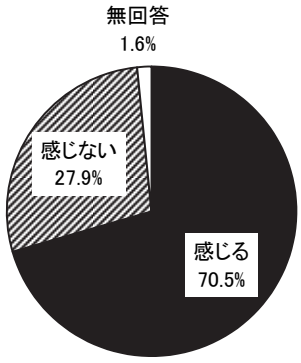
■(n=421)

（５）子育てを地域の人に支えられていると感じるか

問 31　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に１つだけ○をつけてください。

図　子育てを地域の人に支えられていると感じるか

子育てを地域の人に支えられていると感じるかは、「感じる」が 70.5%、「感じない」が 27.9%となっています。



(n=560)

（６）特に誰から支えられていると感じているか、支えてほしいと感じているか

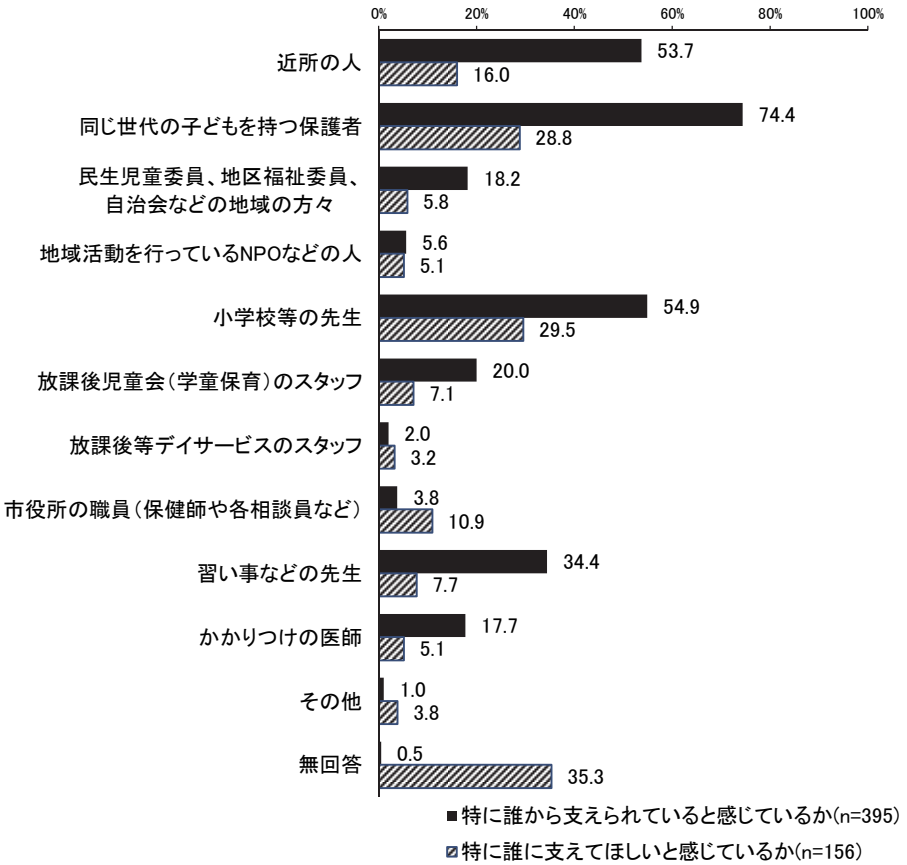
問 31-1　ご自身の子育ては、特に地域の誰から支えられていると感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問 31-2　ご自身の子育ては、特に誰に支えてほしいと感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に誰から支えられていると感じているか」は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 74.4%で最も高く、「小学校等の先生」（54.9%）「近所の人」（53.7%）はともに半数を超えています。

「特に誰に支えてほしいと感じているか」は、「小学校等の先生」が 29.5%で最も高く、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 28.8%、「近所の人」が 16.0%となっています。

図　特に誰から支えられていると感じているか、支えてほしいと感じているか



第4章　自由記述

子育ての環境や子育て支援に関して自由に記入してもらったところ、就学前児童調査では 275 人から 666 件、小学生調査では 273 人から 608 件、合わせて 548 人から 1,274 件の意見・要望が寄せられました。項目ごとに整理すると下記の通りです。

保育所（園）について	就学前児童	小学生
3歳から入れる保育所(園)が少ない	1	0
育休等で休んだ場合は保育料を返金するか、登園させてほしい	0	1
育休中も上の子を通園させてほしい	1	0
エアコンの設置を徹底してほしい	0	2
園内の遊具が安全性の面から低年齢向けのものになり残念	1	0
おはしの持ち方など家庭的なことも教えてほしい	1	0
休日保育を検討してほしい	1	1
給食やおやつを充実してほしい	5	1
兄弟姉妹を優先的に入園させる制度と定員はおかしい	1	0
きょうだいで同じ保育園に通えるようにしてほしい	7	2
公立保育所の車の送迎を認めてほしい	2	0
就労日数に関係なく預けられるようにしてほしい	1	2
所得による保育料の設定を見直してほしい	4	2
ならし保育を3月からさせてほしい	1	0
年中以上のお昼寝は必要ないと思う	2	0
年度途中の転所(園)ができるようにしてほしい	1	0
ふとんのレンタルをしてほしい	1	2
保育園に毎年出す資料が多すぎる	0	1
保育環境が悪い保育所(園)に対して市から指導してほしい	1	0
保育時間を長くしてほしい	1	6
保育士の確保、質の向上	6	3
保育所(園)等の無償化は必要ないと思う	1	0
保育所(園)を増やしてほしい	6	2
保育所の定員を増やしてほしい	8	0
保育所の老朽化が進んでいるので対策をしてほしい	5	3
保育料以外の費用も振り込みにしてほしい	0	1
保育料が高い、無償化を進めてほしい	3	5
保育料の返金の時期を早くしてほしい	1	0
保護者が感染症にかかった時の通園を柔軟に対応してほしい	1	0
無償化より保育所(園)を充実することを優先してほしい	0	3
保育所(園)にスロープを設置してほしい	1	0
保育所(園)入所基準を住んでいる地域も考慮してほしい	1	2
運動会の時など近くの小学校のグラウンドを利用できるようにしてほしい	0	1
延長保育利用者が少なく、利用すると子どもがさみしい思いをしている	0	1
給食を実施してほしい	1	0
公立保育所の入所年齢を見直してほしい	7	5
他の保護者と話をする時間がなく情報共有ができない	0	1
駐車場、駐輪場の充実	8	0
保育士の待遇や働く環境の改善	7	2
保育所で習い事の教室をしてほしい	2	1

待機児童対策	就学前児童	小学生
待機児童対策に力を入れてほしい	2	1
待機になった場合、次年度まで預かってくれるサービスがほしい	1	0
保育士の待遇改善、人材の確保	4	1

幼稚園	就学前児童	小学生
エアコンの設置を徹底してほしい	0	3
園庭開放を実施してほしい	1	0
給食を実施してほしい	3	1
公立幼稚園で1歳半未満保育をしてほしい	1	0
公立幼稚園で長期休暇中も保育をしてほしい	1	0
公立幼稚園の教育や育ちを大切にしてほしい	1	1
公立幼稚園を3年保育にしてほしい	5	0
公立幼稚園を平坦な土地につくってほしい	1	0
私立幼稚園で3歳児保育を導入してほしい	1	0
私立幼稚園の保育環境を市でチェックしてほしい	0	1
卒園後も3月末まで預かってほしい	1	0
手続きの書類が多すぎる	1	0
共働きでも幼稚園に預けられるようにしてほしい	1	0
年長最後のお泊り保育を必須としてほしい	0	1
保育時間の充実、延長保育をしてほしい	1	2
保育内容の充実、質の向上	6	1
幼稚園存続の有無の方針を示してほしい	1	0
幼稚園の無償化を進めてほしい	0	2
幼稚園の老朽化が進んでいるので対策をとってほしい	2	2
幼稚園を増やしてほしい	4	0
公立が減り私立が増えることでベテランの保育士が減ることが心配	1	0
公立幼稚園を地域に残してほしい	2	1
認定こども園ができるまでは公立幼稚園を存続してほしい	0	3
保護者会を縮小し親の負担を減らすべき	2	0
幼小中一貫教育が良い体験になるので公立幼稚園を存続してほしい	1	0

認定こども園について	就学前児童	小学生
1号認定と2号認定の差をつけるべき	1	0
説明会を開催し方向性を明確にしてほしい	2	2
近くの認定こども園にスムーズに入れるようにしてほしい	1	0
認定こども園への移行が強引すぎる	1	0
保育園、幼稚園それぞれの良さがあるのでこども園は反対	1	1
保育所(園)を必要としている人は少ないのでこども園は反対	0	1
認定こども園を早く開園してほしい	6	0
保育料の他にかかる費用が多い	3	0
預かり保育を土曜日や小学生になっても利用できるようにしてほしい	1	0

放課後児童会（学童保育）について	就学前児童	小学生
育休中も在籍できるようにしてほしい	1	0
開設時間を見直してほしい	5	11
学童で習い事ができるとよい	0	2
希望者が全員入ることができるのか心配している	1	0
希望状況調査は就学前児童の保護者の意思を聞くべき	0	1
緊急時等に一時的に預けられるようにしてほしい	0	1
高学年の子どもの態度が悪いので指導してほしい	0	1
校区外でも利用できるようにしてほしい	2	0

子どもの様子を教えてほしい	1	0
施設や設備を改善してほしい	1	9
指導員の質の向上	3	11
指導員の労働条件の改善	0	1
就労時間の入会基準を見直してほしい	6	9
就労してなくても利用できるようにしてほしい	1	1
就労の条件を保育所(園)と同じにしてほしい	1	0
送迎をしてほしい	0	1
長期休暇中だけでも利用できるようにしてほしい	2	16
長期休暇中の昼寝をやめてほしい	1	1
土曜日や長期休暇中に給食やお弁当を用意してほしい	4	2
内容を充実してほしい	1	2
役員の負担を減らしてほしい	0	1
利用料が高い	0	5
学校と連携し環境の向上を図ってほしい	1	2
学校と連携しているので安心感がある	1	0
学童保育の場所を増やしてほしい	1	0
大阪市の「いきいき教室」のような事業を検討してほしい	1	6
利用申請書類を入学説明会や HP で配布してほしい	0	1

小学校について	就学前児童	小学生
PTA 活動や役員選出方法の見直し	0	3
安心して通学できる環境づくりをしてほしい	2	0
いじめ対策を強化してほしい	0	2
運動会の時のお弁当は教室で食べるようにしてほしい	0	1
運動会は春のままで実施してほしい	0	1
エアコンを早急に設置してほしい	2	30
学級内での問題を事なかれ主義にせず指導してほしい	0	2
学校行事や参観日の日程を見直してほしい	1	5
学校の施設利用の制約が厳し過ぎる	0	2
感染予防対策を強化してほしい	0	3
給食の量が少ない	0	1
教師の質の向上等、教育に力を入れてほしい	0	24
行事の時のビデオ撮影を許可してほしい	0	1
クラスの人数を少なくしてほしい	0	1
校区が広すぎる	0	2
懇親会や家庭訪問等はインターネットを活用してはどうか	0	1
始業式の次の日から給食をスタートしてほしい	0	3
自然の生き物による被害への対応を教えてほしい	0	1
集団登校の集合時間等ルールを守るよう親に伝えてほしい	0	1
授業参観に自由参観デー制度を取り入れてほしい	0	1
小学校施設の整備(トイレ、校舎など)	3	8
小学校手続きの書類が多すぎる	1	0
小学校の合併計画の責任者は心ある対応をしてほしい	0	1
小中一貫校はやめるべきである	0	4
新任の先生は担任にしない、保護者対応等の研修が必要	0	2
水分補給の設備を置いてほしい	1	0
性教育は男女分けて保健の先生が行ってほしい	0	1
清掃をもっときれいに行ってほしい	0	1
生徒数が少ない	1	1
制服をつくってほしい	0	1

体育で下着の着用を認めるよう改善してほしい	0	1
トイレの石鹸をハンドソープに替えてほしい	0	1
図書館やパソコン等ハード・ソフト両面の充実をしてほしい	0	1
図書室の利用をもっと促してほしい	0	1
土曜日や夏休みを短くし授業時間を増やすべきである	0	2
夏休みの宿題を全小学校である程度そろえてほしい	0	1
入学説明会をもっと早くしてほしい	2	0
引っ越しても転校しなくてもすむ仕組みがほしい	0	1
プライバシー保護が重視され学校での写真販売が減ってさびしい	0	1
放課後小学校で習い事ができると便利である	0	2
無駄な研修等、先生の仕事の軽減を図るべきである	0	2
課外クラブ活動を実施してほしい	0	1
学力を上げることばかりで子どもと関わる時間が減っている	0	1
給食で個人のアレルギー対応食をつくってほしい	0	1
上下関係や正しい言葉使いを教えてほしい	0	1
冬休み開始を大阪市と合わせてほしい	0	1
動画サイトへの投稿をやめさせてほしい	0	1
柏原東高等学校の跡地に小中一貫校を設置してはどうか	1	0
半パン強制規則の廃止	0	1
不登校対策に積極的に取り組んでほしい	0	1
放課後に学習会を開いてほしい	0	1

中学校について	就学前児童	小学生
環境の悪い中学校があるので心配	0	1
中学校のクラブ活動の外部コーチを検討すべき	0	1
中学校のクラブ活動の種類が少ない	0	2
中学校の制服を市内統一にして安くしてほしい	0	1
中学校の弁当の要求が多すぎる	0	1
中学生の学力強化にもっと取り組んでほしい	0	2

一時預かりについて	就学前児童	小学生
公立保育園の一時保育を充実してほしい	4	0
公立幼稚園の預かり保育を充実してほしい	3	1
子どもを気軽に預けることができる施設をつくってほしい	4	2
子どもを泊りがけでみてもらえる施設への送迎をしてほしい	0	1
小学生の一時預かりの場所がほしい	5	7
私立幼稚園の預かり保育の時間を延長してほしい	1	0
のびのびルームの指導員の教育を徹底してほしい	0	1
保育園の長期休暇中の預かり保育を増やしてほしい	1	0
ほっとステーションの料金が高い	1	0
ほっとステーションを土曜日も開放してほしい	0	1
幼稚園で長期休暇中の一時預かりをしてほしい	2	0
保育所(園)で小学生の一時預かりをしてほしい	1	0
一時預かりの施設を増やしてほしい	9	0
一時預かりの時間を長くしてほしい	1	2
土日祝も預かってくれる施設を提供してほしい	2	0

障害児への支援について	就学前児童	小学生
支援学級の先生や介助者を増やしてほしい	0	2
児童相談所から各園への発達相談の先生の訪問を増やしてほしい	1	0
市内に療育施設がない	1	1
ショートステイを積極的に進めてほしい	1	0

発達障害に関する医療機関が少ない	0	1
発達障害について話し合える人や場がほしい	0	1
ペアレントトレーニングの施設が市内にない	0	1
マニュアル通りではない療育支援をしてほしい	1	0
発育・発達に関する教室や講演会を開催してほしい	0	1
発達や発育に関する専門の方に相談できる日を設定してほしい	0	1
診断書がなくてもデイサービスを利用できるようにしてほしい	0	1
保育所等に障害児のサポート枠をつくってほしい	0	2
療育教室の枠を増やしてほしい	0	1

子どもが病気のときの対応について	就学前児童	小学生
救急医療機関体制を充実してほしい	8	3
市民病院の診療体制を見直してほしい	0	1
常時受け入れてもらえる医療機関を増やしてほしい	1	0
適切な薬を処方してほしい	1	0
保育園に病児保育を併設してほしい	2	0
周りに頼れる人がいない	1	0
雨の日に病院まで送迎してもらえるサービスを充実してほしい	1	0
市民病院に小児耳鼻科を設置してほしい	1	0
小児科が少ない	2	1
病児保育施設の充実	10	5
放課後児童会で病児保育や同行受診をしてほしい	0	1

子育て支援センターなどについて	就学前児童	小学生
0歳児対象の内容を工夫してほしい	1	0
アゼリアの寝ぞうアートを毎月実施してほしい	1	0
いつでも利用できる日を増やしてほしい	1	0
子育て支援施設が遠い	3	0
子育て支援施設を小学生にも開放してほしい	0	2
子育て支援センターのイベントや講座を増やしてほしい	6	0
子育て支援センターの見学ツアーがあるとよい	1	0
子ども食堂をつくってほしい	0	1
0～3 歳児のための施設を各地域につくってほしい	0	1
自治会レベルでの子育て支援サービスを検討してはどうか	0	1
市主催の習い事の場所を地域に増やしてほしい	0	1
父親と子どもが遊べる場所がほしい	1	0
つどいの広場で外国人講師によるリトミックを行ってほしい	1	0
土日や長期休暇中に未就学児が遊べる施設がほしい	2	1
ファミリーサポートで習い事の送迎や病気の時の預かりをしてほしい	0	1
ゆうゆう広場の担当者の質の向上	1	0
リビエールの授乳スペースや空調を改善してほしい	1	0
子育て支援センターの利用者の交流を図ってほしい	3	0
子育て支援センターを土日祝も開けてほしい	8	0
子育て支援センターのイベントを予約制にしてほしい	1	0
子育て支援事業を午前中に実施してほしい	0	1
出張キッズペースを続けてほしい	1	0
親子教室の開設、拡大	2	0
未就学児と小学生が一緒に利用できる施設を増やしてほしい	6	2
連携を密にしてイベントが重ならないようにしてほしい	1	0

図書館や公共施設について	就学前児童	小学生
オアシスのような施設を増やしてほしい	1	0

公共施設のトイレを改善してほしい	3	0
子どもだけで校区外の図書館を利用できるようにしてほしい	0	1
サンヒルで定期的に子育てイベントをしてほしい	1	0
児童館を設置してほしい	2	5
ジョイフル国分に子どもが遊べるスペースをつくってほしい	1	0
図書館の本が古い	0	1
ひまわり号の冊数や回る回数を増やしてほしい	0	1
学校の近くに本を読んだり勉強ができる施設があるとよい	0	1
図書館で託児をしてほしい	1	0
図書館の施設を点検し整備してほしい	1	1

子どもの遊び場について	就学前児童	小学生
雨の日でも遊べる屋内施設の整備	14	4
屋外にバスケットコートやリングの設置をしてほしい	0	1
親子で一日楽しめる遊具のある施設をつくってほしい	0	1
公園に駐車場を設置してほしい	2	1
公園にトイレを設置してほしい	6	5
公園に日陰のある場所をつくってほしい	3	0
公園の健康遊具は子どもには危険なので対処してほしい	2	1
公園の遊具などを充実してほしい	27	8
公園をきれいにしてほしい（砂場、タバコ、動物の糞、草等）	9	1
公園を増やしてほしい	10	6
子どもが体を思いきり動かして遊べる場所をつくってほしい	0	6
子どもがのびのびと安心して遊べる公園をつくってほしい	19	16
子どもの遊び場を充実してほしい	3	1
自転車に乗れる交通公園をつくってほしい	0	1
小学校の開放の曜日や時間制限があり利用しづらい	0	1
小中学校のグラウンドを開放してほしい	1	5
スーパーに低料金で子どもが遊べる施設をつくってほしい	0	1
放課後や長期休暇中の遊び場を充実してほしい	0	3
ボール遊び等ができる公園や広場をつくってほしい	10	26
河川敷に子どもが遊べる遊具や噴水などを設置してほしい	1	0
空き家・空き店舗等を活用して子どもの居場所づくりをしてほしい	0	3
国分市場緑地広場は花や植木のスペースが広すぎて遊びにくい	1	0
子どもだけで遊べる場所をつくってほしい	1	0
大きなグラウンドのある公園をつくってほしい	1	0
緑の多い自然豊かな公園を整備してほしい	7	1

野外活動について	就学前児童	小学生
河川公園でバーベキューができるようにしてほしい	0	1
キャンプ施設の送迎をしてほしい	0	2
高尾山をトレッキングしやすくしてほしい	0	1
バーベキューやアスレチックなどができる場所をつくってほしい	0	1
野外活動を気軽に参加させられる料金にしてほしい	0	1

子ども向け教室などについて	就学前児童	小学生
学校の近くに習い事の場所や送迎付きの習い事があるとよい	0	1
スポーツの習い事を増やしてほしい	1	0
自治会館等でものづくり体験や宿題をみてほしい	0	1
小さな子どもが土日祝に学べる場所があるとよい	1	0
習い事を充実してほしい	0	1
保育園や幼稚園で英語や右脳教育等を実施してほしい	1	0

学校のグラウンドでサッカーや体操などの習い事をしてほしい	0	1
学校の体育館で子ども体操教室を開いてほしい	0	1
教育大の学生による SAS のような場を増やしてほしい	1	4
塾・習い事に行くのに交通の便が悪い	0	1
塾併設の子ども食堂がほしい	1	0
中学になっても気軽に教えてもらえる場があるとよい	0	1
長期休暇中に体験ができる施設があるとよい	0	1

親支援、親の状況について	就学前児童	小学生
「父はフルタイム、母はパート、土日祝休み」が前提の支援になっている	1	0
お宅訪問に連絡なしに来るので困っている	1	0
親は今しかない子どもの姿を見る時間をもっと持つべきだと思う	0	1
学校や習い事の宿題が多く、親のストレスがたまる	0	1
子育て支援と言いながら、保育所（園）等配慮が足りないことが多い	1	0
子どもを産みたいと思える環境の整備	8	0
サポートありきで保育園に預けている人が多い	1	0
仕事と子育ての両立で子どもとの時間がない	2	0
就労状況に関係なく希望の幼稚園や保育所（園）に入れてほしい	2	0
地域の方の手助けや子どもの見守りに感謝している	2	0
妊娠から就学前までは支援が手厚いが、小学校になると支援が少ない	0	1
保育所でのトラブルは加害者の親だけでなく被害者の親にも伝えるべき	1	0
ママ友サークルに入ったおかげで気軽に相談できるママ友ができた	1	0
ママ友とのつき合いは面倒くさいが、話をして救われることも事実である	0	1
周りの住人から子育てへの苦情が多く息が詰まる毎日である	1	0
見守りボランティアが必要以上に子育てに立ち入るのはやめてほしい	1	0
学校や地域の役員などが回ってくるのが負担	0	1
産後ケアのためのデイサービスや宿泊ができる場所がほしい	0	1
自分がやりたい事や仕事と子育ての両立ができるような支援を望む	0	1
親の愛情と世間の支援と理解がなければ健全な子は育たない	1	0
地域交流を図り近隣のつながりを増やすことが大切	1	0
父親がもっと子育てに関わる事ができるよう働きかけてほしい	0	3

働きたい、働いている人への支援	就学前児童	小学生
仕事と子育ての両立のためのサポートを充実してほしい	1	1
就労時間を短くしてほしい	2	0
出産で仕事を辞めても上の子を保育園で預かってほしい	2	0
パートや在宅で働ける市内企業求人を増やしてほしい	3	0
働きたいが保育料が高い	0	1
働きたいと思った時にすぐに預けられる体制を整えてほしい	2	0
フルタイムで働いているので小学校に入ってからのほうが不安	1	0
フルタイムで働きたいが、保育園の送迎があるので難しい	1	0
休園・休校時に子どもを預けられる体制を整えてほしい	1	0
子育て中の母親が働きやすい企業を増やしてほしい	3	0
時短申請をしても負担は軽減しないので仕事を続けられるか不安	1	0
職場の理解はあるが母親が子育てを担うものだという意識を感じる	0	1
長期休暇中も幼稚園や学校に預けて働ける環境にしてほしい	1	0
保育園と学童の年度末の休みを同じにしてほしい	0	1

情報や相談について	就学前児童	小学生
アンケートや SNS の発信等、子育て支援の方法が変わってきた	0	1
親に子どもの変化を気づかせてあげることが大切である	0	1
子育て支援の情報をもっと周知してほしい	2	0

子どもの教育に関わる詳細な情報がほしい	1	0
子どものトラブルに関わる保険の情報を周知してほしい	1	0
子どもの習い事の情報がほしい	0	1
子どもを取り巻く課題に専門家が取り組める体制を整備してほしい	0	1
自治会に入っていなくても市報を全戸配布してほしい	0	1
市ホームページは更新して最新の情報を掲載してほしい	2	0
市ホームページを改善してほしい	1	0
小学校のカウンセリングを利用しやすくしてほしい	0	2
母親が孤立しないシステムを充実してほしい	0	1
保育園、幼稚園にもっと様々な職種の人が関わってほしい	1	0
放課後児童会の情報を増やしてほしい	2	0
幼稚園の無償化の仕組みについて情報提供してほしい	1	0
保育所(園)の詳細な情報を提供してほしい	3	0
今どきの便利さを PR してほしい	0	1
私立幼稚園の学級閉鎖の状況をインターネットにのせてほしい	0	1
幼稚園や保育所の選び方等の説明会を開催してほしい	1	0

安全対策について	就学前児童	小学生
街灯や防犯カメラを増やしてほしい	7	3
子どもの飛び出し注意の看板を作る講習を実施してほしい	1	0
災害発生時には登校後も安否確認メールを送ってほしい	0	0
水路や河川の整備、安全対策	6	0
地域の危険な箇所を徹底的に調査して改善してほしい	0	2
通学路の整備、通学路の安全対策	8	8
登下校確認メールが届くシステムを導入してほしい	1	0
道路の安全対策に力を入れてほしい	5	0
踏切を高架してほしい	1	1
防犯を強化していほしい	5	0
交通ルール順守を徹底してほしい	0	2
地域の見守りをしてくれる人が少ない	1	0
幼小中共に防災、安全意識が低く、対策が不充分	0	1

外出について	就学前児童	小学生
駅や店にエレベーターの設備が少ない	4	0
大型商業施設を誘致してほしい	4	1
きらめき号を利用しやすくしてほしい	4	0
子育て施設への電車のアクセスをよくしてほしい	1	0
子育て中の親子や障害者に配慮したトイレを整備してほしい	7	0
子どもがよく通る道路を禁煙ゾーンにしてほしい	1	0
子どもと一緒に食事できる店がない	3	0
道路、歩道を整備してほしい	18	13
バス路線を充実してほしい	3	0
バリアフリーな場所を増やしてほしい	4	0
駅に地上改札を設置してほしい	1	0
商業施設に子どもを遊ばせる場所をつくってほしい	1	0
母目線、女性目線の店やショッピングモールの誘致をしてほしい	1	0

経済的支援について	就学前児童	小学生
5 歳児保育料無料を国に先駆けて続けてほしい	1	0
育休中も給与の支給などのサービスがあるとよい	0	1
育児休業手当の支給を延長してほしい	1	0
医療費助成を高校まで拡大してほしい	0	2

子育てにかかる経済的支援を増やしてほしい	4	12
子どもの年齢ではなく人数による保育料にしてほしい	2	3
児童手当の増額、拡大	2	5
ひとり親家庭への支援を充実してほしい	5	2
不妊治療を無料にしてほしい	1	0
保育園の無料化を4月からにしてほしい	0	1
保育園より幼稚園の無償化の優先順位が高いのは納得できない	3	0
保育料の減免、補助の拡充	2	1
予防接種や医療費の助成、無料化	2	1
子どもの医療費の支払方法を見直してほしい	0	1
子どもの人数に応じた支援を増やしてほしい	0	4
住宅購入の補助金を出してほしい	1	0
幼稚園の無償化は公立と私立で差別化を図るべき	1	0

その他について	就学前児童	小学生
飲食店の充実や街の活性化を望む	1	0
家事代行サービスを活用したい	0	1
河川敷や大和川沿いをもっときれいにしてほしい	1	1
公園にゴミ箱を設置してほしい	1	0
校区の保育所と幼稚園で交流の場があるとよい	1	0
トイレの浄化槽を水洗化してほしい	1	0
花火ができる場所がない	1	0
保健センターの健診の時間帯を見直してほしい	1	0
まちの美化を図ってほしい	1	0
緑の多いまちづくりをしてほしい	1	0
山や川をもっと整備してほしい	0	1
家庭教育を学ぶセミナーや講演会を開催してほしい	0	1
学校にナイターの設備をしてほしい	0	1
教育に関する専門家を呼んで教育の充実した街にしてほしい	1	0
教育機関を増やし選択できる幅を拡げてほしい	1	0
空き家や古い貸家等の対策をしてほしい	3	0
国分西のポンプ場を公園にするなど空き地を有効活用してほしい	0	1
子育ては地域の人とのコミュニケーションが大切である	0	1
主要駅からスクールバスを出してほしい	1	0
制服や文具等のレンタルやリサイクルを進めてほしい	1	2
学校施設や公共施設を個人で使える日を設定してほしい	1	0
大和川でのイベントを増やしてほしい	0	1
宅配サービスを充実してほしい	1	0
地域の夏祭りなどの時間帯をもっと早くしてほしい	0	1
保健センターでの健診の時間を短縮してほしい	0	1
隣人の嫌がらせを相談しても対処方法がない	1	0

市について	就学前児童	小学生
アンケートに関すること	9	12
市への意見、質問	15	20
満足や感謝	19	16

平成 30（2018）年度
子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

発　行：柏原市健康福祉部こども政策課
住　所：〒582-8555
　　大阪府柏原市安堂町 1-55
電　話：072-943-4811
ＦＡＸ：072-973-3782